

平成 25 年度

沖縄美ら海水族館年報

第 10 号



ANNUAL REPORT OF OKINAWA CHURAUMI AQUARIUM

No.10 April 2013—March 2014

目次

| | | |
|-----|-------------------------------|----|
| I | 名称・所在地・営業資料..... | 2 |
| II | 沿革..... | 2 |
| III | 管理・運営..... | 3 |
| | (1) 組織..... | 3 |
| | (2) 入館者数..... | 4 |
| | (3) 業務入館..... | 4 |
| | (4) 取材状況..... | 6 |
| | (5) 主な活動、出来事..... | 9 |
| | (6) 主な長期飼育動物・繁殖動物..... | 13 |
| | (7) 学会発表、講演等..... | 14 |
| IV | 業務報告..... | 16 |
| | (1) 調査研究活動..... | 16 |
| | (2) 教育普及活動..... | 30 |
| V | 付属資料..... | 40 |
| | (1) 飼育生物一覧（H25.12.31 現在）..... | 40 |
| | (2) 取水海水温..... | 49 |
| | (3) 水槽規格..... | 50 |

表紙写真

マダライルカ *Stenella attenuata* (撮影：野村有司)

裏表紙写真

ヒトスジコブヒトデ *Poraster superbus* (撮影：伊藝元)

I 名称・所在地・営業資料

名称 沖縄美ら海水族館
 所在地 〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川 424
 (国営沖縄記念公園海洋博覧会地区内)
 電話：0980-48-3748 FAX：0980-48-4444 (代表)
 HP：http://oki-churaumi.jp
 開館時間 通常期 (10月 - 2月) 08:30 - 18:30
 夏期 (3月 - 9月) 08:30 - 20:00
 休館日 12月の第一水曜日とその翌日
 入館料金

| | 入館時間 | | | 年間パスポート |
|------------|---------------------|------------|----------------------------|---------|
| | 8:30 - 16:00 (通常料金) | | 16:00 - 入館締切 (4時からチケット) | |
| | 一般 | 団体 (20名以上) | | |
| 大人 | 1,800円 | 1,440円 | 1,260円 | 3,600円 |
| 中人 (高校生) | 1,200円 | 960円 | 840円 | 2,400円 |
| 小人 (小・中学生) | 600円 | 480円 | 420円 | 1,200円 |
| 6歳未満 | 無料 | | | — |

II 沿革

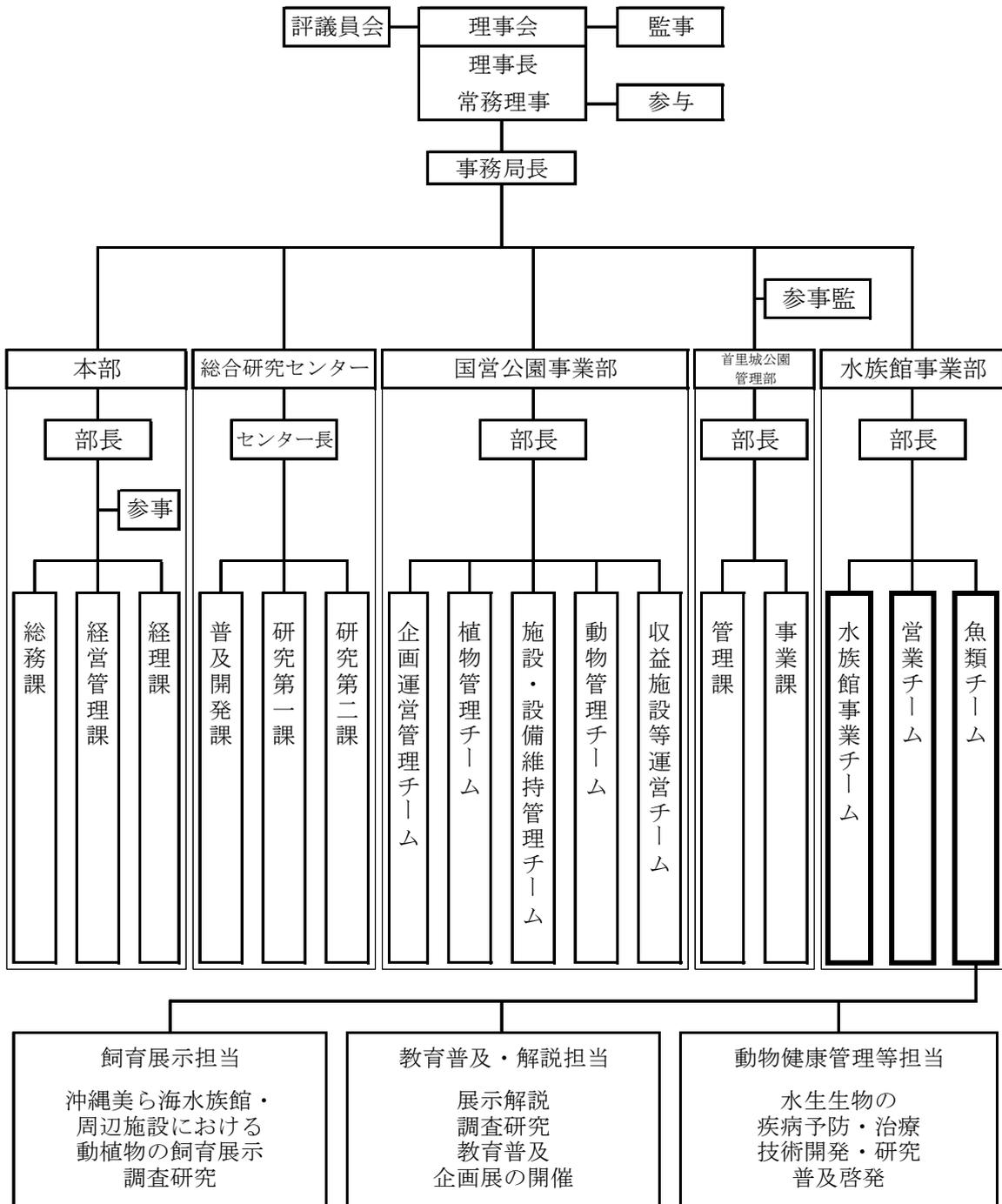
昭和 63年度 海洋性大規模集客施設整備構想
 平成 元年度 海洋性大規模集客施設基本計画策定
 平成 6年度 新水族館基本設計 着手
 平成 7年度 新水族館実施設計 新水族館工食用道路工事 着手
 平成 8年度 新水族館基盤整備工事 着手

平成 14年11月 1日 新水族館開館、愛称を「沖縄美ら海水族館」とする
 平成 15年 2月28日 入館者 100万人達成
 平成 15年 3月25日 沖縄美ら海水族館博物館登録
 平成 15年 7月26日 入館者 200万人達成
 平成 15年12月 6日 入館者 300万人達成
 平成 16年 5月 4日 入館者 400万人達成
 平成 16年10月24日 入館者 500万人達成
 平成 18年11月11日 入館者 1,000万人達成
 平成 20年 7月23日 入館者 1,500万人達成
 平成 22年 3月30日 入館者 2,000万人達成
 平成 24年 2月 3日 入館者 2,500万人達成
 平成 25年10月23日 入館者 3,000万人達成

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
並びに 沖縄美ら海水族館 飼育・展示関係業務所掌



平成 25 年 4 月 1 日現在

(2) 入館者数

| 月 | 有料 | 無料 | 合計 |
|---|---------|--------|---------|
| 4 | 219,710 | 22,337 | 242,047 |
| 5 | 202,682 | 31,100 | 233,782 |
| 6 | 183,027 | 20,052 | 203,079 |
| 7 | 233,309 | 27,941 | 261,250 |
| 8 | 309,085 | 29,483 | 338,568 |
| 9 | 248,371 | 25,108 | 273,479 |

| 月 | 有料 | 無料 | 合計 |
|----|-----------|---------|-----------|
| 10 | 234,008 | 20,398 | 254,406 |
| 11 | 218,814 | 18,972 | 237,786 |
| 12 | 212,658 | 19,870 | 232,528 |
| 1 | 208,261 | 19,279 | 227,540 |
| 2 | 206,233 | 18,263 | 224,496 |
| 3 | 282,476 | 23,339 | 305,815 |
| 計 | 2,758,634 | 276,142 | 3,034,776 |

(3) 業務入館

| 月日 | 来館者 | 人数 | 業務内容 |
|-------|---------------------------|----|---------------------------|
| 4月10日 | 太地町立くじらの博物館 | 4 | 海洋生物の飼育・健康管理に関する情報収集 |
| 4月14日 | DRT(ダイビング旅行博)他 | 3 | 観光客誘致の基盤を形成する為の視察 |
| 4月14日 | 沖縄ツーリスト(株)観光部 | 45 | 新規採用者の視察研修 |
| 4月14日 | マレーシアテレビ局 ASTRO ARENA | 17 | 県内観光施設の情報収集の為の視察 |
| 4月15日 | 日本地工株式会社 | 3 | 対応予定の MICE 会場視察 |
| 4月18日 | KNT 北海道 北海道メントセンター他 | 45 | 視察研修 |
| 4月19日 | 首都圏 EO2 イオン大井他 | 7 | 視察研修 |
| 5月9日 | 太地町立くじらの博物館 | 6 | 海洋生物の飼育・健康管理に関する情報収集 |
| 5月12日 | カーキーズ | 6 | PV 撮影に伴う下見 |
| 5月20日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 5 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 5月22日 | インドネシア旅行社 | 17 | 沖縄旅行商品を造成する為の視察 |
| 5月22日 | うるま市教育委員会 | 2 | ジュニアリーダーの下見 |
| 5月23日 | 沖縄県安慶田自治会 | 7 | モデルコール作成の為の下見 |
| 5月25日 | 保利空運他 | 9 | チャーター便商品に向けた観光施設視察 |
| 5月30日 | 旭川市コンベンション協会 | 3 | 視察及び館長挨拶 |
| 5月30日 | MarKe tinng 他 | 4 | アジア各国企業のインセンティブ旅行誘致の為の下見 |
| 6月5日 | JTB 西日本 京都駅前支店 | 2 | チャーター便商品に向けた観光施設の視察 |
| 6月5日 | 恩納村仲泊老人会 | 3 | 下見 |
| 6月8日 | 沖縄バス株式会社 | 7 | 視察研修 |
| 6月9日 | 名鉄観光サービス(株)北海道営業本部商品企画販売課 | 3 | 企画募集商品造成の為の視察研修 |
| 6月11日 | 那覇空港観光案内所 | 1 | 最新情報収集の為の視察 |
| 6月11日 | ANA セールス大阪支店 | 16 | 販売店スタッフの商品知識習得の一環として視察研修 |
| 6月12日 | フリーライター | 1 | イギリスからの誘客強化、雑誌などに掲載する為の入館 |
| 6月13日 | 株式会社 HIS SG 国内 | 6 | 視察研修 |
| 6月13日 | 財務省理財局国有財産業務課 | 4 | 沖縄管内の国有財産を現地業務への参考とする為の視察 |
| 6月13日 | ハワイ州高校生他 | 16 | 沖縄県高校生海外飛雄プロジェクトによる見学 |
| 6月14日 | 株式会社 HIS SG 国内 | 6 | 視察研修 |
| 6月17日 | 株式会社ハナツアソウル本社他 | 3 | 商品活性化の為の観光地発掘に伴う視察 |
| 6月20日 | ㈱日本旅行 長野支店他 | 18 | 教育担当者現地研修 |
| 6月20日 | ㈱日本旅行 古川支店他 | 15 | 教育担当者現地研修 |
| 6月20日 | OCVB 韓国事務所他 | 28 | 韓国からのインセンティブ旅行誘致目的の為の視察 |
| 6月21日 | LOTTE JTB 他 | 9 | 商品造成の為の施設研修 |
| 6月25日 | 那覇空港観光案内所 | 1 | 最新情報収集の為の視察 |
| 6月26日 | HIS 沖縄他 | 5 | 極東からのチャーターフライトの為の視察 |
| 6月28日 | 九州旅客鉄道株式会社 JR 九州旅行黒崎支店他 | 2 | 視察研修 |
| 6月29日 | 那覇空港観光案内所 | 1 | 最新情報収集の為の視察 |
| 6月30日 | 駐日インドネシア共和国大使館一行 | 4 | 海洋生物の飼育に関する情報収集 |
| 6月30日 | 名桜大学学生課他 | 36 | ウミガメ放流会協力団体の見学 |
| 7月3日 | 那覇空港観光案内所 | 2 | 最新情報収集の為の視察 |
| 7月3日 | ㈱近畿日本ツーリスト東北業務サポートセンター他 | 6 | 視察研修 |
| 7月3日 | 北海道南富良野町他 | 26 | 本部町親善交流事業の一環 |
| 7月4日 | 沖縄少年院 | 7 | 社会復帰準備教育の一環 |
| 7月4日 | トップツアー(株)新潟支店他 | 22 | 教育担当者の知識向上を目的とした視察研修 |
| 7月5日 | 那覇空港観光案内所 | 2 | 最新情報収集の為の視察 |
| 7月7日 | 日本旅行 TIS 大阪支店 | 1 | 案内業務の為の視察 |
| 7月7日 | JTB 九州飯塚支店 | 1 | 社員研修 |
| 7月8日 | CHAN BROTHERS TRAVEL 他 | 5 | 海外エージェント インバウンド誘致施設見学 |
| 7月9日 | ANA インターコンチネンタル万座ビーチリゾート | 1 | 販促に向けてのスタッフの知識向上の為の視察 |
| 7月9日 | 那覇空港観光案内所 | 1 | 最新情報収集の為の視察 |
| 7月10日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 5 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 7月12日 | 株式会社 沖縄ツーリスト他 | 27 | タイ現地旅行社の沖縄旅行商品造成の為の視察 |
| 7月16日 | JTB 中部教育旅行名古屋支店 | 11 | 視察研修 |
| 7月16日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 6 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 7月19日 | 福建省旅行社他 | 12 | 視察研修 |
| 8月1日 | 鹿児島市建設局 | 3 | 飼育展示及び運営管理状況の視察 |
| 8月13日 | アジア ブルネイ他 | 79 | アジアユース人材育成プログラム事業実施の一環 |

| 月日 | 来館者 | 人数 | 業務内容 |
|--------|--|----|--------------------------------|
| 8月23日 | 沖縄少年院 | 5 | 社会復帰準備教育の一環と |
| 9月1日 | 成都・蕪湖旅行社他 | 16 | 旅行商品造成目的の為の視察 |
| 9月3日 | シルバーシークルーズ社他 | 5 | 寄港地選定担当者による視察 |
| 9月11日 | 中国会社工作協会ブライダル産業 | 20 | ウエディング誘致及び関連の県産品の販路拡大の一環 |
| 9月14日 | 那覇バス株式会社 | 2 | バスガイドの事前学習の為の視察 |
| 9月24日 | 福州市教育局中等 | 25 | 那覇市の国際友好都市児童生徒交流事業の一環 |
| 10月6日 | ㈱阪急交通 東日本営業本部メディア営業一部 | 2 | 下期商品造成の為の視察 |
| 10月10日 | 沖縄少年院 | 5 | 社会復帰準備教育の一環 |
| 10月10日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 6 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 10月17日 | CTC TRAVEL | 3 | シンガポールからのお客様への情報提供の為の視察 |
| 10月18日 | SRIMULIA TRAVEL | 3 | シンガポールからのお客様への情報提供の為の視察 |
| 10月21日 | AB-ROAD | 10 | 韓国メディアのPR雑誌掲載の為の視察 |
| 10月23日 | 青島中青旅他 | 17 | 観光施設として紹介する為の視察 |
| 10月24日 | 上海航空国旅遊有限公司他 | 35 | 観光施設として紹介する為の視察 |
| 10月29日 | ジャンボツアーズ他 | 5 | シンガポール国際空港キーパーソン招聘事業による視察 |
| 10月29日 | 中国国際旅行社他 | 39 | 訪日旅行の販売・商品造成向上等の為の視察 |
| 10月31日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 5 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 11月6日 | 北京ダイバー他 | 4 | 観光施設として紹介する為の視察 |
| 11月9日 | 中国第一歴史档案館他 | 5 | 飼育展示及び運営管理状況の視察 |
| 11月9日 | 沖縄産業振興公社上海事務所 | 46 | 中国からのクルーズ誘致に伴う情報収集の為の視察 |
| 11月19日 | 東武トラベル | 20 | ツアー増売の為の施設見学 |
| 11月20日 | JTB 東北八戸支店他 | 13 | ツアー増売の為の視察研修 |
| 11月20日 | CTS 上海他 | 11 | MICE 開催誘致目的の視察 |
| 11月20日 | ACCORD TRAVEL SERVICE 他 | 16 | MICE 開催誘致目的の視察 |
| 11月21日 | Famosa Holiday Tour(s)Pte Ltd 他 | 14 | MICE 開催誘致目的の視察 |
| 11月21日 | LOTTE TOURCO-LTD 他 | 10 | MICE 開催誘致目的の視察 |
| 11月23日 | おもと会 天久の森病院健康管理室(人間ドック) | 22 | 動物飼育・健康管理に関する情報収集の為の視察 |
| 11月25日 | シンラ航空旅行社 | 7 | 韓国チャーター便就航に伴うツアーの誘客担当の視察 |
| 11月25日 | モードツアー | 21 | 韓国チャーター便就航に伴うツアーの誘客担当の視察 |
| 11月25日 | HIS 旅行社他 | 10 | 台湾ウエディングツアーの一環として紹介する為の視察 |
| 11月28日 | ㈱遠鉄トラベル | 10 | 視察研修 |
| 11月28日 | 沖縄少年院 | 4 | 社会復帰準備の一環 |
| 12月1日 | 中国国際航空公司フフホト営業部他 | 12 | 主要観光施設としての視察 |
| 12月6日 | 四季の旅他 | 8 | 新しい沖縄旅行商品造成の為の視察 |
| 12月7日 | 中国旅行社他 | 12 | 沖縄に入港するコストクルーズ社の視察 |
| 12月12日 | ㈱日本旅行 OMC トラベル | 18 | ツアー増販目的の視察 |
| 12月13日 | タイ旅行社他 | 26 | ツアー商品造成の為の視察 |
| 12月15日 | (一社)東京旅行業協会 城西地区 | 22 | 視察研修 |
| 12月15日 | (一般)沖縄コンベンションビューロー | 3 | 2014 ミス沖縄の観光施設研修 |
| 12月16日 | 東武トラベル(株)ビジネスサポート営業部 | 8 | 誘客宣伝の為の視察研修 |
| 12月17日 | 中国国旅旅行社有限公司他 | 4 | MICE 施設会場の誘致促進目的の為の視察 |
| 12月18日 | DMC 沖縄他 | 3 | 4月VIP団体受け入れ導線確認の為の視察 |
| 12月24日 | Hainann development Co.Ltd 他 | 7 | 海南島水族館のスタッフによる情報交換の為の視察 |
| 12月28日 | 函館市立枯唎小学校他 | 15 | 函館市・沖縄県豆記者交換会事業の一環 |
| 1月9日 | JTB トラベルゲート横浜本店 | 8 | 新入社員沖縄観光施設下見 |
| 1月12日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 7 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 1月17日 | 沖縄少年院 | 4 | 社会復帰準備の一環 |
| 1月17日 | ベトナムの旅行社他 | 7 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月17日 | フィリピンの旅行社他 | 8 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月17日 | タイの旅行社他 | 15 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月17日 | マレーシアの旅行社他 | 11 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月17日 | シンガポールの旅行社他 | 9 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月17日 | インドネシアの旅行者 | 6 | 「日・ASEAN 観光交流会議」の参加者による視察 |
| 1月24日 | ハーバード大学他 | 3 | 調査研究を目的とした視察 |
| 1月26日 | ジェイティービー関東仕入販売部 | 12 | 新入社員下見と次年度商品計画の為の施設見学 |
| 1月27日 | 名古屋みなと振興財団・名古屋港管理組合 | 1 | 飼育展示及び運営管理状況の視察 |
| 1月27日 | 極東ロシア旅行社他 | 22 | ツアー商品造成の為の視察 |
| 1月29日 | タイ国蘭協会他 | 60 | 沖縄国際洋蘭博覧会の審査員・出店者・随行者の視察 |
| 2月9日 | 今帰仁村他 | 77 | 沖縄県子ども会ジュニアリーダーの見学 |
| 2月12日 | Successful Meeting and INCENTIVE Magazines | 2 | 欧米 MICE 専門誌 記者招聘事業に伴う視察 |
| 2月17日 | 広州地域旅行社他 | 5 | 主要観光施設として紹介する為の視察 |
| 2月21日 | 北京地域旅行社他 | 20 | 主要観光施設として紹介する為の視察 |
| 2月21日 | 全老連 | 25 | 大会時の観光予定地の為事前視察 |
| 2月26日 | 沖縄少年院 | 4 | 社会復帰準備の一環 |
| 2月27日 | 大阪ステーションシティ支店 | 19 | 社員研修 |
| 3月1日 | メイク・ア・ウィッシュオブジャパン | 5 | ウィッシュチャイルドの夢実現 |
| 3月9日 | 三三會他 | 24 | 台湾企業日団による視察 |
| 3月11日 | エヌティーエ旅行小那 | 14 | 視察研修 |
| 3月12日 | 国土交通省他 | 22 | 国道交通省が所管する日韓運輸ハイレベル協議の一環 |
| 3月14日 | UBM aviation Routers Ltd 他 | 5 | 「Routes Asia 2016」誘致に係る招聘事業の一環 |
| 3月14日 | 琉球大学留学生他 | 25 | 動物の飼育・健康管理に関する情報収集 |
| 3月24日 | ㈱JTB 沖縄 交流事業部 空港営業所 | 5 | 視察研修 |
| 3月25日 | チャンギ空港グループ他 | 10 | チャンギ空港グループ及びシンガポールVIPの視察 |

(4) 取材状況

| 実施日 | 区分 | 媒体 | 目的・内容等 |
|-----------------|-------|------------------------------------|------------------------------|
| 4月4日 | 雑誌 | 角川マガジズ 雑誌「レタスクラブ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月5日 | 新聞 | 琉球新報社 | 移動水族館を取材 |
| 4月5日 | 新聞 | 沖縄タイムス社 | 移動水族館を取材 |
| 4月6日 | 新聞 | 琉球新報社 | 移動水族館を取材 |
| 4月10日 | 雑誌 | 旅行雑誌「るるぶ沖縄ベストセレクト」・「こどもと行く沖縄」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月11日 | 雑誌 | ドライブ情報誌「MOCO」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月12日 | TV | 韓国のテレビショッピング | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月16日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | NR「ウチワエビの幼生展示」への打ち返し |
| 4月17日 | TV | 東北放送「H.I.S 見れば納得! お得な夏の海外旅行(仮)」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月17・18日 | TV | CS キッズステーション「ハッピークラッピー」 | 海の生物紹介 |
| 4月19日 | 雑誌 | NEXCO 西日本フリーマガジン「遊・悠・WesT」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月20日 | TV | テレビ東京「世界ビックリ! B級ニュース(仮)」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月22-26日 | その他 | ハゴロモ「沖縄美ら海水族館 2014 年カレンダー」 | 館内撮影 |
| 4月23日 | TV | 仙台放送「ニッポンの温故知新」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月25日 | TV | 韓国のテレビショッピング | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 4月26日 | ラジオ | FM 沖縄「U cool LAB」 | ジンベエザメについて紹介 |
| 5月1日 | 新聞 | 読売新聞西部本社 | ジンベエザメの繁殖プロジェクトの取材 |
| 5月2日 | TV | OTV「スーパーニュース」 | 飼育員の一日の密着取材 |
| 5月5日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | GW の水族館や園内のにぎわいを撮影 |
| 5月6日 | TV | 琉球朝日放送北部通信員 | NR「海洋博公園 GW スペシャル 2013」打ち返し。 |
| 5月7日 | TV | 琉球朝日放送 | GW 期間中の水族館入館者について取材 |
| 5月11日 | 雑誌 | 雑誌「momo」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月14-15日 | 雑誌 | 雑誌「デジタルカメラマガジン」 | 水族館内での生き物の撮り方についての紹介 |
| 5月14日 | 雑誌 | 新日本空調商会報「SNK レポート 2013」 | 水族館の状況についてインタビューと概要の紹介 |
| 5月15日 | TV | 韓国ドラマ「サメ」 | 館内撮影 |
| 5月15日 -6月14日 | TV | NHK 沖縄放送局 | マダライルカ展示の紹介 |
| 5月16日 | Web | 中国 Web サイト「PPTV」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月17日 | 雑誌 | 家族向け雑誌「ファミリーウォーカー」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月18日 | その他 | 琉球大学工学部 | 研究資料として魚の遊泳パターンの撮影 |
| 5月20日 | TV | シンガポール TV「Monstrou Studio Toggle」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月20日 | TV | NHK「R の法則」内の「匿名りさーち」 | 水族館飼育員の仕事紹介。質問にチャットで回答 |
| 5月22-23日 | TV | フジテレビ「国分太一のおさんぽジャパン」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月23日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「マダライルカの展示に向けた訓練開始」打ち返し |
| 5月24日 | TV | 中国 TV「厨星高照」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 5月29日 | 雑誌 | 雑誌「ヤングマガジン」 | 館内撮影 |
| 5月30日 -6月20日 | TV | ドキュメント番組「世界一の九州が始まる!」と RBC「沖縄 BON」 | 「マダライルカ展示」を紹介 |
| 5月30日 | TV | 琉球放送北部通信員 | NR「マダライルカの展示に向けた訓練開始」打ち返し |
| 5月30日 | TV | 沖縄テレビ放送株式会社 | NR「マダライルカの展示に向けた訓練開始」打ち返し |
| 5月30日 | 新聞 | 沖縄タイムス北部支社 | NR「マダライルカの展示に向けた訓練開始」打ち返し |
| 5月31日 | 雑誌 | 雑誌「コーラルフリークス Vol.8」 | 日本の水族館を紹介するコーナーにて当館を紹介 |
| 5月31日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「マンタ出産」への打ち返し |
| 6月1日 | 新聞 | 琉球放送北部支社 | NR「6/1 マダライルカ デビュー」への打ち返し |
| 6月1日 | 新聞 | 琉球放送北部支社 | NR「マンタ出産」への打ち返し |
| 6月1日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「6/1 マダライルカ デビュー」への打ち返し |
| 6月3日 | 新聞 | 琉球新報社 | NR「仔マンタ死亡」への打ち返し |
| 6月3日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | 移動水族館を取材 |
| 6月3日 | 雑誌 | 傑ワイズアップ「ソラシドエア機内誌」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 6月4日 | TV | NHK 沖縄放送局 | NR「6/1 マダライルカ デビュー」への打ち返し |
| 6月5日 | TV | RBC「沖縄 BON!」 | 『水族館の人気の秘密』を紹介 |
| 6月8日 | TV | 中国テレビ | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 6月16日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | NR「イエジマガマガザミの展示開始!」打ち返し |
| 6月17日 | 新聞 | 沖縄タイムス北部支社 | 「沖縄タイムス賞」内田名誉館長のインタビュー |
| 6月17日 | 新聞 | 一般社団法人共同通信社 | 夜まで楽しめる水族館として水族館を紹介 |
| 6月18日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「イエジマガマガザミの展示開始!」打ち返し |
| 6月19日 | TV | 琉球朝日放送北部通信員 | NR「イエジマガマガザミの展示開始!」打ち返し |
| 6月19日 | 新聞 | 沖縄タイムス北部支社 | NR「6/18 サンゴの放卵放精確認」への打ち返し |
| 6月19日 | 新聞 | 中国メディア | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 6月21日 | 雑誌 | TV ガイドフリーペーパー「TV ガイド EX」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 6月21日 | 新聞 | 読売新聞西部本社 | 繁殖賞について紹介 |
| 6月27日 | Web | ソニー企業株式会社 | Sony Aquarium について紹介 |
| 6月27日 | TV | BS フジ「ムツゴロウの愉快的動物図鑑」 | マナティー館の周辺施設として水族館を紹介 |
| 6月28日 | 雑誌 | 小学館「小学1年生」 | 飼育員の仕事について紹介 |
| 6月29日 | TV | CS スカパー「PigooRadio〜ゆいかおり」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 6月30日 | TV | 熊本放送「週刊 山崎くん」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月2日 | TV | 仙台放送「机上の空論〜沖縄編〜」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月5日 | TV・雑誌 | 中国メディア | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月5日 | 雑誌 | 中国雑誌「父母世界」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |

| 実施日 | 区分 | 媒体 | 目的・内容等 |
|------------|--------|--|-----------------------------|
| 7月8日 | 雑誌 | 中国ゴルフ雑誌「GOLF MAGAZINE」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月9-10日 | TV | 日本テレビ「心ゆさぶれ先輩 ROOK YOU」 | 水族館の紹介映像撮影 |
| 7月9日 | その他 | 岡三証券グループビル内のモニター用映像コンテンツ | 館内撮影 |
| 7月10日 | 新聞 | 南日本新聞「Feria!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月16日 | Web | 沖縄ツアーランド HP「沖縄ファン広場 達人指南」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月17日 | 雑誌 | 旅行雑誌「まっぷるマガジン沖縄'14」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月17日 | TV | BS「ボクらの地球」 | イタチザメの撮影 |
| 7月19-20日 | TV | フジテレビ「久保×みね こじらせ女子旅」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月22日 | TV | 香港テレビ番組「Order made Travel」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月25日 | 新聞 | 朝日新聞社 | 生きた宝石サンゴが見られる水族館として紹介 |
| 7月26日 | TV | 韓国テレビ「現代ホームショッピング」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 7月27日 | TV | ミヤギテレビ「沖縄遊・YOU 塾」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月1日 | TV | 台湾テレビ | ジンベエザメの飼育状況と研究内容について取材 |
| 8月4日 | TV | とちぎテレビ主催の「沖縄遊・YOU 塾」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月8・10-11日 | その他 | 沖縄美ら海水族館オリジナルカレンダー | 館内撮影 |
| 8月9日 | 新聞 | 琉球新報「こども新聞」 | 水族館の獣医の仕事取材 |
| 8月12日 | その他 | ワタベウエディングの沖縄プライダル紹介カタログ | 館内撮影 |
| 8月14日 | Web | 沖縄観光広告「Be Okinawa」 | 館内撮影 |
| 8月16日 | TV | NHK 沖縄放送局 | ホトトギスとナヨウタのの違いについての電話取材 |
| 8月19日 | Web・他 | Nikon 製品パンフレット・HP 写真掲載 | 館内撮影 |
| 8月18日 | 雑誌 | 中国の旅行雑誌・プライダル雑誌 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月23日 | TV | テレビ東京「釣りロマンを求めて」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月26日 | Web | 中国の観光情報サイト | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月27日 | 雑誌 | 読売新聞生活情報誌「リエール」 | 日本全国の水族館紹介コーナーで紹介 |
| 8月30日 | 雑誌 | 旅行雑誌「るるぶ沖縄'14」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 8月31日 | PV | 韓国「Brown eyed soul」ミュージックビデオ | 館内撮影 |
| 9月5日 | TV | フジテレビ「めざましどようび」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月9日 | TV・Web | 沖縄県プロモーション「Be.OKINAWA リゾートプライダル」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月11日 | Web | ソニースマートフォン「Xperia」特設サイト | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月13日 | 雑誌 | 旅行雑誌「るるぶ沖縄'14」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月15-16日 | TV | BSスカパー・CSフジテレビ「Sexy Zone in Okinawa」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月18日 | TV | 石川テレビ・富山テレビ 「あつたか沖縄 豪華ホテルおもてなしの旅3日間」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月23日 | TV | 琉球朝日放送北部通信員 | NR「アカモンミノエビ期間限定展示」打ち返し |
| 9月24日 | 雑誌 | 旅行雑誌「地球の歩き方 MOOK Cheers!沖縄」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 9月24日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | 中国・福州市交流事業の子どもたちへの同行取材 |
| 9月30日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「アカモンミノエビ期間限定展示」打ち返し |
| 9月30日 | TV | 南海放送「おかデリススペシャル プレミアム沖縄」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月2日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | NR「アカモンミノエビ期間限定展示」打ち返し |
| 10月3日 | TV | NHK「大!天才てれびくん」 | ダイバーに水中可視光通信機を使いインタビュー |
| 10月6日 | その他 | 沖縄県知事公室交流推進課 | スロバキア共和国のドキュメンタリー映画で水族館を紹介 |
| 10月8日 | 雑誌 | フリーペーパー「TOKK」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月9日 | TV | テレビ北海道 | 阪急交通社の旅行商品の紹介。 |
| 10月9日 | TV・その他 | AKB48の指原莉乃さんの写真集及びTV番組 | 館内撮影 |
| 10月10日 | 新聞 | 中日新聞「中日子どもウィークリー」 | JTA ジンベエプロジェクトのモデル、ジンベエの撮影 |
| 10月11日 | TV | 中国放送「イマなま3チャンネル」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月11日 | Web | OCVBのHP「おもてなし向上委員会」 | 外国人観光客受け入れへの取り組みなどを紹介 |
| 10月13日 | TV | 韓国のテレビショッピング | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月16日 | TV | テレビ信州「夕方 Get!!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月17日 | TV | 青森放送「魅力満載!北東北・沖縄ぐるっと夢旅行!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月19-22日 | その他 | 中国映画「有種你愛我」 | 館内撮影 |
| 10月21日 | TV・雑誌 | 朝日放送「サイエンスチャンネル」 | 日中交流イベント「沖縄中国映画週間シボウガム」取材 |
| 10月22日 | Web | 高松空港フェイスブック | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月23日 | TV | 中国テレビ「Beach Honey」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月23日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「美ら海水族館入館者 3000 万人達成」打ち返し |
| 10月23日 | TV | 琉球放送北部通信員 | NR「美ら海水族館入館者 3000 万人達成」打ち返し |
| 10月23日 | TV | 琉球朝日放送北部通信員 | NR「美ら海水族館入館者 3000 万人達成」打ち返し |
| 10月23日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | NR「美ら海水族館入館者 3000 万人達成」打ち返し |
| 10月23日 | 新聞 | 琉球新報北部支社 | NR「美ら海水族館入館者 3000 万人達成」打ち返し |
| 10月25日 | その他 | ジンベエの懸垂幕の作成 | 館内撮影 |
| 10月25日 | Web | Web サイト「サイエンスチャンネル」 | 『海洋酸性化』の解説動画コンテンツ内の映像撮影 |
| 10月26日 | 雑誌・Web | ソラシドエア沖縄やんばる号機内誌「Yanbaru」 | 沖縄県北部の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月28日 | TV | マレーシアの旅行番組 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月30日 | TV | 中国のテレビショッピング | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月31日 | TV | 朝日放送「朝だ!生です旅サラダ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月31日 | Web | 沖縄県 Web サイト「Be Okinawa」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 10月31日 | TV | チャンネル9「GURUS Explerer Okinawa Series(旅番組)」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月4日 | TV | タイのテレビ番組「Praw Pak」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月5日 | Web | Web サイト「沖縄 CLIP」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月6-9日 | その他 | 株式会社ロボット | 水族館飼育員のお仕事を紹介する映画の制作 |
| 11月7日 | 雑誌 | 台湾の旅行雑誌「TO'GO 泛遊情報」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月10日 | その他 | Nikon デジタルカメラカタログ | 館内撮影 |

| 実施日 | 区分 | 媒体 | 目的・内容等 |
|-----------|--------|---------------------------------|---------------------------------|
| 11月11日 | TV | 北海道テレビ「イチオン!」 | 難病のこどもとその家族の沖縄旅行に同行取材 |
| 11月11日 | TV | 中国のテレビ番組「旅遊衛視」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月12日 | TV | 琉球放送「琉神マブヤー」 | 館内撮影 |
| 11月12日 | TV | 新潟テレビ「まるどり」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月13日 | Web | NikonHP | デジタルカメラの機能紹介用の動画を撮影 |
| 11月14日 | TV | 韓国テレビショッピング「楽家購物」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月19-20日 | その他 | ラゾーナ川崎東芝ビル内巨大デジタルサイネージ | 海の生き物を紹介する映像製作 |
| 11月21日 | TV | フジテレビ「どうぶつランキング ZOO」 | マンタの出産映像の紹介・インタビュー |
| 11月22日 | TV | 四国放送「ゴジカル」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月25日 | その他 | 沖縄ベトナムワールド専門学校「職業紹介雑誌」 | 水族館飼育員の仕事の紹介 |
| 11月25日 | TV | 韓国の蔚山放送局 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月25日 | Web | JAL×Nikon ウェブサイト「タビトイロ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 11月27日 | その他 | ニッセンカタログ 2014 夏号 | 風景素材として館内撮影 |
| 11月28日 | その他 | 旅行会社 HIS 発行パンフレット | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月9日 | Web | Web「じゃらん初 TABI」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月11日 | TV | 台湾 TV の旅番組 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月13日 | TV | KSB 瀬戸内海放送 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月14日 | TV | 韓国 KBS 放送局 | 沖縄旅行をする父子に密着取材 |
| 12月16日 | TV | 阪急交通社 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月17日 | TV | 山陰中央テレビ「週刊ヤッホー!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月20-21日 | 雑誌・ラジオ | OCVB『春の沖縄親子孫たび』 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月22日 | TV | 毎日放送「知っとこ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月26日 | 雑誌 | 雑誌「ツアラー」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 12月26日 | Web | 那覇経済新聞 | NR「ジンベエジェット2号機就航」への打ち返し |
| 12月28日 | 新聞 | 沖縄タイムス北部支部 | NR「干支水槽」への打ち返し |
| 12月29日 | TV | 琉球朝日放送北部通信員 | NR「干支水槽」への打ち返し |
| 1月1日 | TV | 沖縄テレビ北部通信員 | NR「干支水槽」への打ち返し |
| 1月1日 | TV | NHK 沖縄名護報道室 | NR「干支水槽」への打ち返し |
| 1月7日 | TV | 日本海テレビ「スパイス!!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月9日 | 雑誌 | 雑誌「キャンブカーマガジン」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月10日 | 雑誌 | エース JTB「姫様 Okinawa」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月10日 | 雑誌 | マレーシア雑誌「FEMINENE(My Wedding)」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月11日 | 新聞 | 株式会社神戸新聞社 | 「KOBE 夢未来号」への同行取材 |
| 1月20日 | TV | 台湾 TV 番組「愛玩客」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月21-22日 | その他 | プラネタリウムの番組制作 | 館内撮影 |
| 1月22日 | TV | 静岡放送「sole いいね」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月23日 | TV | NHK 鹿児島放送 | メダいの生体についての電話取材 |
| 1月29日 | TV | 南日本放送「ズバット! 鹿児島」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月30日 | Web | Yahoo! トラベル特集 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 1月30日 | その他 | 映画『ゴジラ対メカゴジラ』特典映像 | 館内撮影 |
| 2月3日 | TV | FNN「スーパーニュース」 | 中国人観光ツアーに密着取材 |
| 2月5日 | その他 | 「フラワーアイランド沖縄」PR 映像 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月7日 | 雑誌 | 韓国旅行雑誌「TOUR DE MONDE」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月11日 | PV | JTB・MUSIC「Ring-Trip」のプロモーションビデオ | 館内撮影 |
| 2月13日 | 雑誌 | 育児雑誌「ひよこクラブ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月16日 | その他 | JAL カードの CM(沖縄版) | 水族館入り口・モニュメント撮影 |
| 2月17日 | TV | 日本海テレビジョン | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月18日 | TV | テレビ新広島「ひろしま満点ママ!!」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月19日 | TV | RBCi ラジオ「シャキットi」 | 内田名誉館長へインタビュー |
| 2月19日 | TV・雑誌 | 中国 TV 及び雑誌 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月20日 | Web | 読売旅行 HP | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 2月21日 | Web | 株式会社ストリズム | 移動水族館を取材 |
| 2月22日 | TV | テレビドラマ「イタズラな Kiss」 | 館内撮影 |
| 2月27日 | その他 | 香港のドラゴン航空機内誌 | ジンベエザメの繁殖プロジェクトについて紹介 |
| 3月2-3日 | TV | 日本テレビ「ヒルナンデス」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月3日 | 雑誌 | 小学館アウトドア雑誌「BE-PAL」 | 水族館を紹介するコラムを製作。館内撮影 |
| 3月5日 | 雑誌 | 旅行雑誌「まっふるマガジン沖縄へ出かけよう」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月18日 | その他 | リクルートライフスタイルの社員研修ビデオ | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月18日 | ラジオ | RBCi ラジオ「環境保護キャンペーン」CM | 飼育員にインタビュー。黒潮の海給餌解説収録 |
| 3月18日 | 新聞 | 読売新聞・福岡 | NR「入館料金改定のお知らせ」への打ち返し |
| 3月19日 | 雑誌 | 旅行雑誌「るるぶ沖縄ベスト15」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月20日 | その他 | JTB の TVCM | 館内撮影 |
| 3月23日 | TV | 山形テレビ「YTS ゴジスタ」 | 沖縄遊・YOU 塾の同行取材 |
| 3月23日 | TV | 福島中央テレビ「ゴジてれ Sun!」 | 沖縄遊・YOU 塾の同行取材 |
| 3月25日 | TV | テレビ朝日「朝だ!生です旅サラダ」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月25-28日 | TV | イギリス BBC「Operation Wild」 | フジの人工尾びれプロジェクト及び大型魚類の健康管理について取材 |
| 3月26日 | 雑誌 | 旅行雑誌「るるぶこどもと行く沖縄15」 | 沖縄の観光スポットとして水族館を紹介 |
| 3月30日 | 新聞 | 岩手日報 | 沖縄遊・YOU 塾の同行取材 |
| 3月31日 | 新聞 | 日本経済新聞 | NR「入館料金改定のお知らせ」への打ち返し |

※ NR：ニュースリリース

(5) 主な活動、出来事

| 月日 | 内容 | 場所 |
|---------------|------------------------------------|---------|
| 3月23日 - 4月7日 | 復興支援パネル展 | 美ら海プラザ |
| 4月1日 | クルマダイ展示 | 水族館 |
| 4月1日 - 4月7日 | 飼育実習 大宮国際動物専門学校 1名 | 水族館 |
| 4月4日 | ベニツケダコ・ホソシジマンジュウイシモチ展示 | 水族館 |
| 4月4日 | シマハタ・トウカイスズメダイ展示 | 水族館 |
| 4月5日 | 移動水族館 介護付有料老人ホーム うえた | 豊見城市 |
| 4月6日 | 移動水族館 介護サービスセンター ゆいまーる松川 | 那覇市 |
| 4月6日 | ヤツデウスラヒトデ展示 | 水族館 |
| 4月8日 | カエデコケムシ展示開始 | 水族館 |
| 4月10日 | ウシバナトビエイ麻酔実験 | 水族館 |
| 4月12日 | バックヤードツアー・講演 嘉手納基地内小学校 | 水族館 |
| 4月14日 | ウチワエビ「フィロゾーマ幼生」展示開始 | 水族館 |
| 4月14日 | 案内 九州医師会 | 水族館 |
| 4月15日 | リュウキュウアユ放流会 | 名護市 |
| 4月19日 | 国際フェライト学会視察案内対応 | 水族館 |
| 4月20日 | 長崎放送取材対応 | 水族館 |
| 4月23日 | マダライルカ黒潮の海へ移動 | 水族館 |
| 4月23日 | 須磨水族館職員来館対応 | 水族館 |
| 4月25日 | 第11管区海上保安庁 来館打合せ対応 | 水族館 |
| 4月26日 | 沖縄県衛生環境研究所 来館打合せ対応 | 水族館 |
| 4月26日 | SONY アクアarium打合せ | 水族館 |
| 4月26日 | 姫路水族館職員来館対応 | 水族館 |
| 4月27日 - 5月6日 | 海の危険生物展 | 水族館 |
| 4月27日 - 5月6日 | ウミウシ展写真コンテスト PR 水槽設置 | 水族館 |
| 4月29日 | キバウミナ展示 | 水族館 |
| 4月29日 | マダライルカ No.2 黒潮へ搬入 | 水族館 |
| 4月30日 | ピワガニ展示 | 水族館 |
| 5月7日 - 8日 | マダライルカ黒潮展示訓練 | 水族館 |
| 5月9日 | 神戸盲学校触察プログラム対応 | 水族館 |
| 5月9日 | 太地町立クジラの博物館研修対応 | 水族館 |
| 5月12日 - 15日 | 硫黄島鳥採集 (第二黒潮丸・ROV) | 硫黄島 |
| 5月13日 | 沖縄高専 池松先生と研究打ち合わせ | 水族館 |
| 5月13日 | 香港海洋公園 Ng 氏来館対応 | 水族館 |
| 5月13日 | ウミシヨウブ研究者高相氏打ち合わせ | 水族館 |
| 5月14日 | ウミウシ展写真コンテスト応募受付開始 | 水族館 |
| 5月15日 | 腹びれイルカ標本受取 | 那覇市 |
| 5月17日 | シンガポール水族館スタッフ生簀視察 | 生簀 |
| 5月18日 - 19日 | イエジマガマガザミ搬入 | 水族館 |
| 5月15日 - 6月30日 | ウミウシ展写真コンテスト応募受付中 | 水族館 |
| 5月20日 - 24日 | 広島大学調査船豊潮丸乗船採集 | 広島県 |
| 5月20日 | インド・太平洋魚類国際会議サテライトセッション会場設営打ち合わせ | 水族館 |
| 5月23日 | サンゴ産卵確認 | 蓄養棟 |
| 5月24日 | マダライルカ NHK 生中継対応 | 水族館 |
| 5月25日 | マダライルカ大水槽訓練+NHK 生中継対応 | 水族館 |
| 5月26日 | オオタルマワシ展示開始 (豊潮丸にて採集) | 水族館 |
| 5月27日 - 6月3日 | 河口域生物調査・採集 | 西表島・石垣島 |
| 5月29日 | イノーの生物に関する講演 | 名護市 |
| 5月29日 | バックヤード案内 八洲学園 | 水族館 |
| 5月30日 | 触察対応 愛知県立岡崎盲学校 | 水族館 |
| 5月31日 | ナンヨウマンタ No.10 死亡、No.10-7-1 (メス) 産出 | 水族館 |
| 5月31日 | ナンヨウブダイ他久米島より搬入 | 水族館 |
| 6月1日 | マダライルカ大水槽展示開始 | 水族館 |
| 6月1日 | 移動水族館 特別養護老人ホーム南風見苑 | 竹富町 |
| 6月1日 - 7月31日 | 沖縄まるごとクリーンビーチパネル展 | 水族館 |
| 6月2日 | 移動水族館 西表野生生物保護センター | 竹富町 |
| 6月2日 - 9日 | サンゴ幼生観察会 | 水族館 |
| 6月4日 | マダライルカ全頭黒潮展示開始 (S-1,2,3) | 水族館 |
| 6月9日 - 14日 | SONY 展示用レモンザメ硫酸銅薬浴実験 | 蓄養棟 |
| 6月10日 | イノー探検 名護小学校 | 本部町 |
| 6月12日 | イエジマガマガザミ展示開始 | 水族館 |
| 6月13日 | ナンヨウマンタ No.10-5 移動 | 生簀 |
| 6月16日 | 伊豆味小学校講師派遣 | 名護市 |
| 6月17日 - 18日 | 職場体験 沖縄ウエル・スポーツ専門学校 | 水族館 |
| 6月18日 - 19日 | イエジマガマガザミ取材対応 | 水族館 |
| 6月18日 - 19日 | サンゴの海サンゴ産卵 (ニュースリリース) | 水族館 |
| 6月19日 | 台風4号対策 | 水族館 |
| 6月21日 | ウミシヨウブ展示開始 | 水族館 |
| 6月21日 | 職場見学 名護市立大宮小学校 | 水族館 |
| 6月21日 | 読売新聞取材対応 | 水族館 |
| 6月18日 - 24日 | 飼育実習 高知大学 | 水族館 |

| 月日 | 内容 | 場所 |
|---------------|---------------------------------|--------|
| 6月22日 - 27日 | 第9回インド太平洋魚類会議対応 | 宜野湾市 |
| 6月25日 | 移動水族館 介護老人保健施設うりずん | 与那原町 |
| 6月26日 | 移動水族館 沖縄県立桜野特別支援学校 | 名護市 |
| 6月27日 - 7月4日 | SONYアクアリウム用生物発送 | 千葉県 |
| 6月28日 | サメ水槽オオメジロザメ NO.7-5-1-2♀取り上げ作業 | 水族館 |
| 6月28日 | 「小学一年生」取材対応 | 水族館 |
| 6月29日 | 第9回インド・太平洋魚類国際会議サテライトシンポジウム会場対応 | 水族館 |
| 6月29日 - 7月5日 | モンテレー水族館 Joe 氏来館 | 水族館 |
| 6月30日 | ウミガメ放流会応援 | 海洋博公園 |
| 6月30日 | 講演会 嘉手納小学校 | 嘉手納町 |
| 7月1日 | JICA 概要説明・バックヤード案内 | 水族館 |
| 7月1日 | ウミウシ写真コンテスト 一次審査 | 水族館 |
| 7月2日 | インタビュー学習 慶尚大学校海洋科学大学 | 水族館 |
| 7月2日 | モンテレー水族館 Welsh 氏講演 | 水族館 |
| 7月3日 - 4日 | 職場体験 本部町立水納小中学校 | 水族館 |
| 7月4日 - 12日 | SONYアクアリウム用生物蓄養作業対応 | 千葉県 |
| 7月8日 | バックヤード案内 鳥取県立境港総合技術高等学校 | 水族館 |
| 7月9日 | 排水口調査打ち合わせ | 水族館 |
| 7月10日 | 陸上蓄養槽ポンプ停止対応 | 蓄養棟 |
| 7月11日 - 19日 | SONYアクアリウム用生物蓄養作業対応 | 千葉県 |
| 7月11日 | 台風7号接近対策作業 | 水族館 |
| 7月12日 | バックヤード案内 講演 嘉手納小学校 (基地内) | 水族館 |
| 7月13日 | サマーフェスティバル対応 | 海洋博公園 |
| 7月15日 | インタビュー学習 大宮小学校 | 水族館 |
| 7月15日 - 16日 | 危険生物パネル設置 | 美ら海プラザ |
| 7月15日 - 21日 | SONYアクアリウム水槽設置メンテナンス作業対応 | 東京都 |
| 7月17日 - 19日 | ウミウシ展 会場設営 | 水族館 |
| 7月18日 - 19日 | 石垣島サメ駆除事業 標本収集 | 石垣市 |
| 7月19日 | SONYアクアリウム開催 | 東京都 |
| 7月19日 | アオサンゴ調査 | 本部沖 |
| 7月20日 - 9月1日 | ウミウシ展開催 | 水族館 |
| 7月20日 | インタビュー学習 県内中学生 | 水族館 |
| 7月21日 | ハブクラゲ展示開始 | 水族館 |
| 7月22日 | 飼育実習 (研修) 本部町教育委員会 | 水族館 |
| 7月23日 - 24日 | 職場体験 KBC 学園未来高等学校 | 水族館 |
| 7月24日 | カタール国立博物館館長来館対応 | 水族館 |
| 7月26日 - 29日 | SONYアクアリウム水槽メンテナンス・タッチプール対応 | 東京都 |
| 7月27日 | 移動水族館 乙羽園デイサービスセンター | 今帰仁村 |
| 7月28日 | ダム祭りリュウキュウアユ貸し出し | 水族館 |
| 7月29日 | JAL 復興支援ツアー対応 | 水族館 |
| 7月29日 | 大阪 (海遊館) 向け生物搬出 | 水族館 |
| 7月30日 - 8月4日 | 博物館実習 | 水族館 |
| 7月31日 | 取水ポンプ不具合の為新鮮海水停止→9:45 給餌中止 | 水族館 |
| 8月1日 | sony 生物発送 | 那覇市 |
| 8月1日 - 2日 | カツオ採集搬入 (戦略室用・展示用) | 栗国沖 |
| 8月2日 - 5日 | SONYアクアリウム水槽メンテナンス・タッチプール対応 | 東京都 |
| 8月4日 | 海ふれあい体験 イノー探検 | 海洋博公園 |
| 8月6日 | 職場体験 今帰仁小学校 | 水族館 |
| 8月8日・10日 | 水族館オリジナルカレンダー撮影対応 | 水族館 |
| 8月8日 - 12日 | SONYアクアリウム水槽生物追加・タッチプール対応 | 東京都 |
| 8月9日 | 動物取扱業責任者研修 | 南城市 |
| 8月10日 | 源河川体験対応 | 名護市 |
| 8月10日 | 大保ダム祭りリュウキュウアユ貸し出し | 水族館 |
| 8月12日 - 18日 | 飼育実習 日本獣医生命科学大学 | 水族館 |
| 8月13日 - 17日 | ナンヨウマンタ 10-3-1 抗生剤投薬 | 生簀 |
| 8月15日 | 移動水族館 緑寿園 | 那覇市 |
| 8月16日 - 19日 | SONYアクアリウム水槽メンテナンス・タッチプール対応 | 東京都 |
| 8月16日 - 9月19日 | 海洋情報パネル展開催 | 水族館 |
| 8月17日 | 国頭漁協追い込み採集対応 | 国頭村 |
| 8月17日 | 職場見学 本部小学校 | 水族館 |
| 8月17日 | 講師派遣 名桜大学中学生宿泊研修プログラム | 本部棟 |
| 8月24日 | 海洋情報パネル展 解説 | 水族館 |
| 8月19日 - 25日 | 飼育実習 バリ大学 | 水族館 |
| 8月23日 - 26日 | SONYアクアリウム水槽メンテナンス・タッチプール対応 | 東京都 |
| 8月23日 - 26日 | イオンレイクタウン「オキナワフェア」講演対応 | 埼玉県 |
| 8月27日 | ナンヨウマンタ移動 NO6 生簀へ、NO21 館内へ | 水族館 |
| 8月28日 | バックヤード案内 中央動物専門学校 (東京) | 水族館 |
| 8月29日 - 9月2日 | SONYアクアリウム水槽タッチプール対応・撤去作業 | 東京都 |
| 8月29日 - 9月4日 | 飼育実習 立正大学 | 水族館 |
| 9月2日 - 3日 | マンタロガー取付実験 (近畿大学との共同研究) | 水族館 |
| 9月3日 | ハブクラゲ水槽撤収 | 水族館 |
| 9月4日 | インタビュー学習(レクチャー・バックヤード案内) 立教大学 | 水族館 |
| 9月4日 | マレーシア国・サバ州森林局局員視察対応 | 水族館 |

| 月日 | 内容 | 場所 |
|------------------|-------------------------------|--------|
| 9月 5日 - 11日 | 飼育実習 北海道大学 | 水族館 |
| 9月 6日 | 黒潮槽東側底面剥離箇所修繕作業立会い | 水族館 |
| 9月 9日 - 10日 | 職場体験 今帰仁村立今帰仁中学校 | 水族館 |
| 9月 10日 | バックヤード案内 神戸国際大学 | 水族館 |
| 9月 11日 | インタビュー学習(レクチャー・バックヤード案内) 立教大学 | 水族館 |
| 9月 11日 - 12日 | カツオ船乗船採集(第二黒潮丸) | 粟国沖 |
| 9月 11日 - 12月 31日 | 研究実習(アルバイト) サイモンフレーザー大学 | 水族館 |
| 9月 12日 | バックヤード見学対応 近畿大学 | 水族館 |
| 9月 12日 - 18日 | 飼育実習 立正大学 | 水族館 |
| 9月 14日 | 安波ダム・クイナまつり リュウキュウアユ展示 | 国頭村 |
| 9月 15日 | 美ら海自然教室対応 | 美ら海プラザ |
| 9月 16日 - 18日 | 韓国水族館獣医研修 | 水族館 |
| 9月 17日 | 移動水族館 いしかわ願寿ぬ森 | うるま市 |
| 9月 17日 | バックヤード案内 青少年の家(スリランカ中学生) | 水族館 |
| 9月 18日 | 移動水族館 沖縄県立大平特別支援学校 | 浦添市 |
| 9月 18日 | ソニーアクアarium報告会出席 | 水族館 |
| 9月 19日 | 常磐大学中原教授(イルカ鳴音研究者)来館対応 | 水族館 |
| 9月 19日 - 21日 | 人工尾ビレに関する会議 | 東京都 |
| 9月 19日 - 25日 | 飼育実習 長崎大学 | 水族館 |
| 9月 20日 | アカモンミノエビ展示 | 水族館 |
| 9月 20日 | 南西地域産業活性化センター視察対応 | 水族館 |
| 9月 24日 | 触察対応 埼玉県立特別支援学校塙保一学園 | 水族館 |
| 9月 24日 | 繁殖賞プレート設置(コエダミドリイシ・ウシバナトビエイ) | 水族館 |
| 9月 26日 | サンゴの海シーリング補修 | 水族館 |
| 9月 26日 - 10月 2日 | 飼育実習 長崎大学 | 水族館 |
| 9月 27日 | バックヤード案内 ベトナム海洋保護区調査団 | 水族館 |
| 9月 30日 | ミノエビNHK取材 | 水族館 |
| 10月 1日 | マダライルカ展示中止(12/31まで予定) | 水族館 |
| 10月 3日 | レモンザメ咬傷処置対応 | 蓄養棟 |
| 10月 3日 | NHK取材対応「天才テレビ君」 | 水族館 |
| 10月 4日 - 5日 | 台風23号対応 | 水族館 |
| 10月 5日 - 11日 | 飼育実習 日本大学 | 水族館 |
| 10月 7日 - 8日 | 台風24号対応 | 水族館 |
| 10月 8日 - 12日 | 飼育実習 日本大学 | 水族館 |
| 10月 8日 - 10日 | 海獣技術者研究会発表対応 | 兵庫県 |
| 10月 13日 - 19日 | 飼育実習 日本大学 | 水族館 |
| 10月 18日 | 中村参与によるトラザメ発生に関する講義 | 水族館 |
| 10月 20日 | サンマリノ大使夫妻視察対応 | 水族館 |
| 10月 21日 - 27日 | 飼育実習 日本大学 | 水族館 |
| 10月 22日 | JAMSTEC 広報担当来館視察対応 | 水族館 |
| 10月 23日 | バックヤード案内 兵庫県立香住高等学校 | 水族館 |
| 10月 24日 | インタビュー学習 恩納村立安富祖中学校 | 水族館 |
| 10月 25日 - 26日 | 日本胎盤学会学術集会参加 | 愛知県 |
| 10月 28日 | 大阪府立視覚支援学校 貸出標本発送 | 水族館 |
| 10月 31日 | 講師派遣 宮崎大学農学部 | 宮崎県 |
| 10月 31日 | 久米島ヒョウモンシャチブリ受け取り | 那覇市 |
| 11月 4日 - 8日 | 博物館実習 | 水族館 |
| 11月 6日 | 神戸市会産業港湾委員会視察対応 | 水族館 |
| 11月 7日 | 久米島ブダイ類受け取り | 那覇市 |
| 11月 7日 - 8日 | 職場体験 本部高校 | 水族館 |
| 11月 8日 | サンゴ礁への旅個水槽ハナйка展示 | 水族館 |
| 11月 9日 | ディスカバー沖縄対応 | 嘉手納町 |
| 11月 9日 - 10日 | 特別支援学校「科学ヘジャンプ」対応 | 神戸市 |
| 11月 12日 | 移動水族館 具志川厚生園 | うるま市 |
| 11月 12日 - 13日 | 職場体験 北山高校 | 水族館 |
| 11月 12日 - 14日 | 函南丸(沖縄県漁業調査船)乗船 | 沖縄近海 |
| 11月 13日 | インタビュー学習対応 東京学芸大学付属高校 | 水族館 |
| 11月 13日 | 移動水族館 介護老人保健施設 養生の里 | 豊見城市 |
| 11月 13日 - 17日 | 日動水 水族館技術者研究会参加 | 新潟県 |
| 11月 19日 | オオメジロザメ(孫個体)麻酔、体表チェック作業 | 蓄養棟 |
| 11月 19日 - 20日 | 熱帯魚の海 底砂追加作業 | 水族館 |
| 11月 20日 - 21日 | 職場体験 名護市立大宮中学校 | 水族館 |
| 11月 21日 | 定置網入網ジンベエザメ確認作業 | 読谷村 |
| 11月 22日 | ジンベエザメ移動作業 | 読谷村 |
| 11月 22日 | インタビュー学習 JICA | 水族館 |
| 11月 23日 | イルカの人工尾びれ講演会対応 | 水族館 |
| 11月 23日 | 講師派遣 GODAC 施設一般公開2013 | 名護市 |
| 11月 24日 | インタビュー学習・バックヤード案内 神戸動植物環境専門学校 | 水族館 |
| 11月 25日 | 沖縄ペットワールド取材対応 | 水族館 |
| 11月 25日 - 12月 1日 | 石垣生物採集・輸送(メガネモチノウオ他) | 石垣市 |
| 11月 26日 | バックヤード案内 学校法人シモヅノ学園 | 水族館 |
| 11月 26日 - 27日 | 職場体験 名護市立屋部・名護・羽地中学校(合同) | 水族館 |
| 11月 27日 | サンゴの海漏水対策工事対応 | 水族館 |

| 月日 | 内容 | 場所 |
|---------------|--|---------|
| 11月28日 | 排水口調査 中間報告 | 水族館 |
| 11月29日 | 孫オオメジロザメ淡水浴処置対応 | 蓄養棟 |
| 12月3日 - 4日 | 東京大学大気海洋研究所共同利用シンポジウム講演対応 | 千葉県 |
| 12月4日 - 5日 | 園内受電点検による停電対応 | 水族館 |
| 12月5日 | ナンヨウマンタ 10-3 雌 死亡 体盤幅 343cm、体重 327.5kg | 生簀 |
| 12月5日 | 取水口潜水採集 | 水族館 |
| 12月6日 - 7日 | レモンザメ採尿、淡水耐性実験 | 蓄養棟 |
| 12月7日 | 移動水族館 特別養護老人ホーム ちゅらゆんたんざ | 読谷村 |
| 12月7日 - 12日 | ヤリマンボウ捕獲・輸送作業 | 長崎県 |
| 12月8日 | 油壺水族館へオオメジロザメ、ヤジブカ輸送 | 水族館 |
| 12月9日 | 消防訓練 | 水族館 |
| 12月9日 | マダライルカ S-3 死亡解剖 | 水族館 |
| 12月10日 | サンゴ水槽遮光用支柱設置対応 | 蓄養棟 |
| 12月11日 - 17日 | 飼育実習 日本大学 横井愛美 | 水族館 |
| 12月12日 | 皇室対応 | 水族館 |
| 12月12日 | カマストガリザメ輸送 | 国頭村 |
| 12月12日 | インタビュー学習 静岡県立清水特別支援学校高等部 40名 | 生簀 |
| 12月12日 | 繁殖クロウミウマ鴨川へ発送 | 水族館 |
| 12月13日 | 中国・青島水族館視察対応 | 水族館 |
| 12月18日 | バックヤード案内 沖縄水産高校 | 水族館 |
| 12月19日 | 孫オオメジロザメ寄生虫駆除淡水浴後死亡 | 蓄養棟 |
| 12月19日 | バックヤード案内 大阪大学大学院 | 水族館 |
| 12月24日 | リュウキュウアユ採集 | 東村 |
| 12月24日 | ニタリ受け取り及び展示、解剖 | 水族館 |
| 12月25日 | リュウキュウアユ人工授精 | 水族館 |
| 12月25日 | イトマキエイ搬入、生簀収容作業 | 読谷村 |
| 12月28日 | 函館豆記者対応 | 水族館 |
| 12月28日 - 1月5日 | 干支水槽展示 | 水族館 |
| 12月28日 - 1月5日 | マダライルカ時間限定展示 (1日4回) | 水族館 |
| 12月31日 | 干支水槽正月飾りつけ作業 | 水族館 |
| 1月2日 | 沖縄県栽培漁業センター内サメ採集調査 | 本部町 |
| 1月6日 | 新春祝賀会出席 | 名護市、本部町 |
| 1月7日 | リュウキュウアユ孵化 | 水族館 |
| 1月9日 | レモンザメメダエタノール噴霧実験及び移動 | 蓄養棟 |
| 1月10日 | インタビュー学習 北海道滝川高等学校 15名 | 水族館 |
| 1月11日 | バックヤード案内 神戸夢未来号 | 水族館 |
| 1月12日 | ジンベエザメ No.18 移動作業 | 生簀 |
| 1月14日 - 15日 | 職場体験 八洲学園大学国際高等学校 | 水族館 |
| 1月16日 | 黒潮水槽底排水ストレーナー内堆積砂吸い出し作業 | 水族館 |
| 1月16日 - 17日 | 日本動物園水族館協会九州ブロック会議 | 沖縄市 |
| 1月19日 | トリムマラソン対応 | 海洋博公園 |
| 1月20日 | マダライルカ レントゲン撮影 | 水族館 |
| 1月21日 | 中層バヤオ付着生物調査 | 沖縄市 |
| 1月22日 | 黒潮水槽立ち上げ管内堆積砂吸い出し作業 | 水族館 |
| 1月22日 - 26日 | 新屋島水族館カマイルカ依頼診療対応 | 香川県 |
| 1月23日 | 中層バヤオ付着生物調査 | 沖縄市 |
| 1月23日 | バックヤード案内 東京都立青峰学園高等部 | 水族館 |
| 1月23日 - 24日 | 水族館・教育 事業 一参加型研修会 | 千葉県 |
| 1月24日 | ハーバード大学 Laird 教授案内対応 | 水族館 |
| 1月24日 - 25日 | キハダ採集 (第2黒潮丸) | 栗国沖 |
| 1月25日 | 移動水族館 デイサービスセンターみなみ | 糸満市 |
| 1月25日 - 26日 | 杜の賑わい・沖縄 水槽展示 | 宜野湾市 |
| 1月26日 | 中層バヤオ付着生物調査 | 沖縄市 |
| 1月27日 - 2月2日 | 飼育実習 東海大学 | 水族館 |
| 1月28日 - 29日 | 沖縄県海洋深層水取水施設生物採集 | 久米島町 |
| 1月29日 - 2月13日 | 洋蘭博覧会対応 | 海洋博公園 |
| 1月31日 - 2月3日 | 新屋島水族館カマイルカ治療 (依頼出張) | 香川県 |
| 2月1日 | 洋蘭博 オープニングセレモニー | 海洋博公園 |
| 2月1日 - 2日 | 国頭産業まつり水槽展示 | 国頭村 |
| 2月3日・5日・6日 | 黒潮循環ポンプ一部停止に伴う対応 | 水族館 |
| 2月4日 | 水産総合研究センター林原氏 来館対応 | 水族館 |
| 2月4日 - 5日 | シンガポール水族館来館対応 (ナンヨウマンタ採血、麻酔) | 水族館 |
| 2月5日 | (独) 土木研究所自然共生研究センター渡辺氏 来館対応 | 水族館 |
| 2月7日 | ヨコシマサワラ展示 (8日夜間死亡) | 水族館 |
| 2月7日 | (独) 海洋研究開発機構他谷氏 来館対応 | 水族館 |
| 2月7日 | ソトイワシ展示 | 美ら海プラザ |
| 2月7日 - 8日 | プラスチックネーション (メガマウス他) 製作作業 | 水族館 |
| 2月9日 | バックヤード案内 沖縄県ジュニアリーダー大会 | 水族館 |
| 2月10日 - 14日 | 常用発電機1基運転に伴う対応 | 水族館 |
| 2月12日 | 世界らん展水槽設置作業 | 東京都 |
| 2月13日 | 世界らん展用生物発送作業 | 水族館 |
| 2月13日 | 読谷定置ホホジロザメ捕獲作業・解剖調査 | 読谷村 |
| 2月13日 | 沖縄県水産課照屋氏来館打合せ対応 | 水族館 |

| 月日 | 内容 | 場所 |
|--------------|-------------------------------|--------|
| 2月14日 | ホホジロザメ解剖作業 | 水族館 |
| 2月14日 | 動水協飼育技術者試験 | 名護市 |
| 2月14日 | マダライルカ胃袋美ら海プラザへ移設 | 美ら海プラザ |
| 2月15日 | インタビュー学習 沖縄ベトワールド専門学校 | 水族館 |
| 2月16日 - 21日 | 太平洋宝石サンゴ国際シンポジウム出席 | 台湾 |
| 2月17日 - 23日 | ジンベエザメ年齢査定調査 | 静岡県 |
| 2月17日 - 23日 | 飼育実習 広島大学 | 水族館 |
| 2月20日 | 移動水族館 特別養護老人ホーム 朝日の家 | 南城市 |
| 2月20日 | 目黒寄生虫館 小川館長と寄生虫同定打合せ | 東京都 |
| 2月21日 | 移動水族館 デイサービス陽だまりの丘 (有限会社 青の空) | 南城市 |
| 2月21日 - 23日 | 日本獣医師学会市民講座講演 | 千葉県 |
| 2月23日 - 24日 | 世界らん展水槽撤収作業 | 東京都 |
| 2月24日 - 26日 | 近畿大学蓄養所クロマグロ輸送 第2黒潮丸 | 鹿児島県 |
| 2月24日 - 3月2日 | 飼育実習 北海道大学 | 水族館 |
| 2月25日 - 28日 | 新屋島水族館カマイルカ治療作業 | 香川県 |
| 2月25日 | 一般系統夜間停電対応準備 | 水族館 |
| 2月26日 | 概要説明 琉球大学教育学部附属小学校 | 水族館 |
| 2月27日 | コブシメをサンゴの海へ展示 | 水族館 |
| 2月28日 - 30日 | 集魚灯採集及びナガタチカマス採集 (第二黒潮丸) | 伊平屋沖 |
| 3月1日 - 3日 | 飼育実習 近畿大学 | 水族館 |
| 3月4日 | インタビュー学習 尾道市立向東中学校 | 水族館 |
| 3月4日 | クジラ対策用鳴音実験 | 水族館 |
| 3月8日 | 視覚障害教育 鳥山先生来館対応 | 水族館 |
| 3月8日 - 14日 | 飼育実習 東海大学 | 水族館 |
| 3月9日 | 概要説明 沖縄セラロジー事務所 | 水族館 |
| 3月10日 - 11日 | 油壺水族館サメ輸送 | 神奈川県 |
| 3月12日 | イトマキエイ搬入 (国頭漁協) | 水族館 |
| 3月12日 | 日韓運輸ハイレベル協議案内 | 水族館 |
| 3月13日 | バックヤード案内 香港大学 | 水族館 |
| 3月15日 | 排水口調査最終報告 | 水族館 |
| 3月15日 - 17日 | 動物園大学依頼講演対応 | 神奈川県 |
| 3月15日 - 21日 | 飼育実習 酪農学園大学 | 水族館 |
| 3月17日 - 20日 | 生物多様性調査 (ウミトサカ調査) 対応 | 財団本部棟 |
| 3月18日 | 移動水族館 石川学院 | うるま市 |
| 3月19日 | 移動水族館 いずみ病院 | うるま市 |
| 3月23日 - 24日 | マンボウ等回遊調査 (第二黒潮丸) | 本部沖 |
| 3月25日 - 31日 | 飼育実習 日本獣医生命科学大学 | 水族館 |

(6) 主な長期飼育動物・繁殖動物

【主な長期飼育動物】

(平成26年3月31日現在)

| 種名 | 性別 | 推定年齢 | 飼育年数 | 搬入年月日 |
|-----------|----|------|---------|--------------|
| トゲスギミドリイシ | 不明 | 不明 | 18年6ヶ月 | 1995.9. 搬入 |
| フカトゲキクメイシ | 不明 | 不明 | 24年5ヶ月 | 1989.10. 搬入 |
| オオテンジクザメ | ♂ | 不明 | 25年 | 1989.4.10 搬入 |
| トラフザメ | ♂ | 21 | 22年6ヶ月 | 1991.9.23 ふ化 |
| ジンベエザメ | ♂ | 不明 | 19年 | 1995.3.13 搬入 |
| オオメジロザメ | ♂ | 不明 | 35年9ヶ月 | 1978.6.21 搬入 |
| ネムリブカ | ♂ | 30 | 31年8ヶ月 | 1982.8.3 出産 |
| ナンヨウマンタ | ♂ | 不明 | 21年10ヶ月 | 1992.5.25 搬入 |

【繁殖動物】

完全哺育：6ヶ月以上生存

| 種名 | 繁殖個体数 | 完全哺育数 |
|------------|-------|-------|
| ヒョウモンオトメエイ | 5 | 2 |

(7) 学会発表、講演等

【学会発表等】

日本動物分類学会（宮城）6月8 - 9日

ハワイ産宝石サンゴ *Corallium secundum* (八放サンゴ亜綱: ウミトサカ目) の分類学的検討《口頭》. ○野中正法、林原毅 (水産総合研究センター国際水産資源研究所)、宮本麻衣 (水産総合研究センター国際水産資源研究所)、Katherine Muzik (Bishop Museum, Hawaii) .

The 9th Indo-Pacific Fish Conference (IPFC9) (沖縄) 6月24 - 27日

Long-term observation of the clasper development and the serum concentration of testosterone in captive male whale shark at maturity 《口頭》. ○Rui Matsumoto, Kiyoshi Asahina (Nihon University), Yosuke Matsumoto, Keiichi Ueda, Keiichi Sato. Observations on the embryo of *Manta alfredi* using ultrasonographic imaging 《ポスター》. ○Kiyomi Murakumo, Keiichi Ueda, Keiichi Sato.

日本水産学会（三重）9月19 - 22日

板鰓類ウシバナトビエイ下垂体の構造と生殖腺刺激ホルモンのcDNAクローニング《口頭》. ○牧田萌 (日大生物資源)、松本瑠偉、鈴木美和 (日大生物資源)、朝比奈潔 (日大生物資源) .

日本動物園水族館協会・海獣技術者研究会（兵庫）10月8 - 10日

マリンタンク（簡易組み立て水槽）を用いたマダライルカの海上輸送《口頭》. 植田啓一、○村雲清美、桐畑哲雄、稲森大樹 (太地町立くじらの博物館)、大城善人、仲里美之、鈴木美和 (日本大学)、宮原弘和.

大型魚類展示水槽でのマダライルカの飼育展示について《口頭》. ○大城善人、外間克也、仲里美之、宮原弘和.

日本動物園水族館協会・水族館技術者研究会（新潟）11月14 - 15日

ヤリ型動物捕獲用麻酔器具を用いた板鰓類の取り上げについて《口頭》. 植田啓一、村雲清美、○野村有司、上迫春香、仲松由美子、山城篤、仲里美之.

太平洋宝石サンゴ国際シンポジウム（台湾）2月17 - 18日

Preliminary taxonomic studies of specimens of Coralliidae collected from the Emperor Seamounts《口頭》. ○野中正法、林原毅 (水産総合研究センター国際水産資源研究所)、宮本麻衣 (水産総合研究センター国際水産資源研究所)、Katherine Muzik (Bishop Museum, Hawaii) .

【講師派遣】

名護小学校総合学習（名護市）5月29日

イノーにすむ生物について. 伊芸元、東地拓生.

名桜大学 教育部 教育プログラム支援準備室（名護市）8月17日

水族館飼育係の仕事について. 松崎章平.

宮崎大学農学部（宮崎）10月31日

水族館飼育員への道のり. 横山季代子.

東京大学大気海洋研究所共同利用シンポジウム（千葉）12月3 - 4日

水族館展示がきっかけとなった、琉球列島産宝石サンゴ類の研究. 野中正法.

【原著論文等】

- 伊芸元. 2013. 沖縄産ナガウニ類に寄生する *Monogamus entopodia* ホンナガウニヤドリニナ (新称, ハナゴウナ科) について. ちりぼたん, 43(1-4):31-34.
- Kogure, Y. and H. Igei. 2013. First record of the large tropical oreasterid sea star *Poraster superbus* (Echinodermata, Asteroidea) from Japanese waters. Biogeography, 15:33-36.
- Yamaguchi, S., T. Higashiji, K. Sawada and S. Yamato. 2014. The rediscovery of a rare pedunculate cirripede *Paralepas maculata* (Cirripedia: Heteralepadidae) on a sea urchin *Prionocidaris* sp. in Okinawa, southern Japan. Marine Biodiversity Records, 7:e4.
- Yamaguchi, S., S. Yoshida, A. Kaneko, K. Sawada, K. Yasuda and Y. Yusa. 2014. Sexual system of a symbiotic pedunculate barnacle *Poecilasma kaempferi* (Cirripedia: Thoracica). Marine Biology Research, 10(6): 635-640.

IV 業務報告

(1) 調査研究活動

造礁サンゴ増養殖技術の開発

目的

沖縄美ら海水族館で展示するサンゴを確保するため、有性生殖及び無性生殖によるサンゴの増養殖技術を開発する。

方法

(1) 無性生殖による増養殖

これまで株分けで増やした群体を、光量の調節や付着生物の除去などに注意して飼育を行った。病気等で折り取りが必要な群体は、無性生殖と同じ要領で、調子の良い部分だけ残して株分けを行った。

(2) 有性生殖による増養殖

飼育しているウスエダミドリイシとコエダミドリイシ、マルヅツミドリイシから得られた卵と精子を交配・定着させ、稚サンゴの育成を行った。また、野外で見つかった産卵スリックから採卵し育成を試みた。

結果

(1) 無性生殖による増養殖

- 株分けで無性生殖サンゴ増養殖を試み、76 群体を「サンゴの海」水槽で展示中である。

(2) 有性生殖による増養殖

- 5 月 23 日 - 6 月 29 日まで産卵観察を行い、大規模な放卵放精はサンゴの海水槽で 6 月 18 日、陸上蓄養槽で 5 月 23 - 31 日、23:00 頃に確認された。
- 初めてマルヅツミドリイシの有性生殖による増養殖に成功した。
- 幼生の飼育水換水は、20L 水管でサイフォンを使い、多いときに 1 日 3 回の換水を行った。飼育容器の移動なく定着まで進めるので、作業の簡略化ができた。
- 野外でスリックから採卵し、育成、定着に成功した。現在も飼育中であるが、種の同定はできていない。

今後の予定

- 株分けにより増養殖したサンゴを大きく育て、より多く、より良い状態で「サンゴの海水槽」での展示を充実させる。
- ウスエダミドリイシ・コエダミドリイシ・マツヅルミドリイシ・野外のスリックからの 4 パターンの卵を育成したが、定着まではうまくいったものの、その後の管理に手が回らず、死亡させてしまった群体が多かったため、今後定着後の管理をしっかりと行う。
- 野外のスリックからの採卵は、濃度が濃くなりすぎて、腐ってしまうことがあったので、採卵時は濃度に気を付ける。また、スリックの中央は、既に腐敗していることがあるため、スリックの端から採卵を行う。

- ・ ミドリイシ属以外の有性生殖を目指す。

ジンベエザメの回遊調査

目的

ジンベエザメは世界の熱帯から温帯海域を広く回遊し、海域を越えて交配する可能性が示唆されているが、その回遊ルート等はほとんど解明されていない。また、本種は一時的に深海へ潜水することも知られているが、その深度と水温の情報も少ない。そこでポップアップタグを用い生態情報を取得し、飼育上重要な基礎データの収集を行うことを目的とする。また、得られた情報を公開することで個体数の減少が危惧されている中、保護活動等にも寄与することが可能であると考えられる。

方法

定置網に入網した本種に国立台湾大学の徐博士より送られたポップアップタグ (Microwave Telemetry) を装着し、回遊データを収集する。

結果

今年度は調査該当個体の捕獲ができなかったため、回遊情報を得ることはできなかった。しかし、ジンベエザメの深海への潜行を視覚的に観察するために、東京大学大気海洋研究所の佐藤克文教授と共同で調査して頂けることとなった。

今後の予定

今後はジンベエザメの生態を調査するため、深海域でジンベエザメがどのような行動を行っているのか確認する。耐圧加工されたデジタルビデオカメラおよびロガーを、定置網で捕獲されたジンベエザメに取り付け、放流し、設定された日時に個体より切り離された調査機器を回収することで遊泳時の情報を収集する予定である。この方法で得られた情報に関しは、学術的に公開していくとともに、来館者へジンベエザメの生態情報として提供していく予定である。

ジンベエザメの年齢査定調査

目的

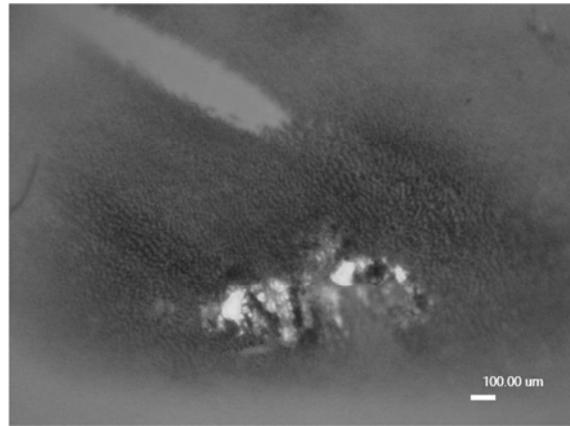
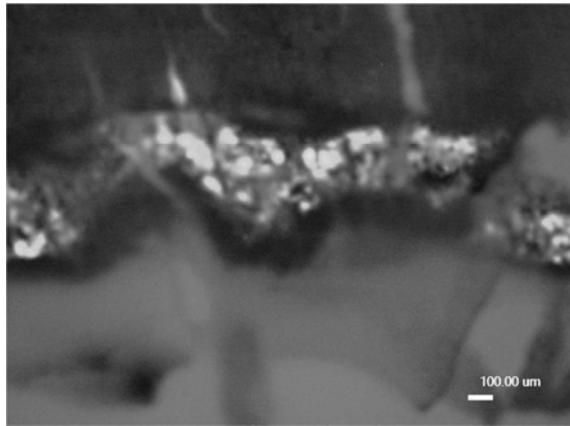
沖縄美ら海水族館で以前飼育されていたジンベエザメにはオキシテトラサイクリン (以下 OTC) が投与されていた個体があり、この物質が通常の魚類では脊椎骨輪状紋中に残ることから投与日のマーカーとしてよく利用される。そこで、OTC でマーキングされた輪状紋の間隔を読み、何歳に相当するかを推定するためのモデル作成を試みる。

方法

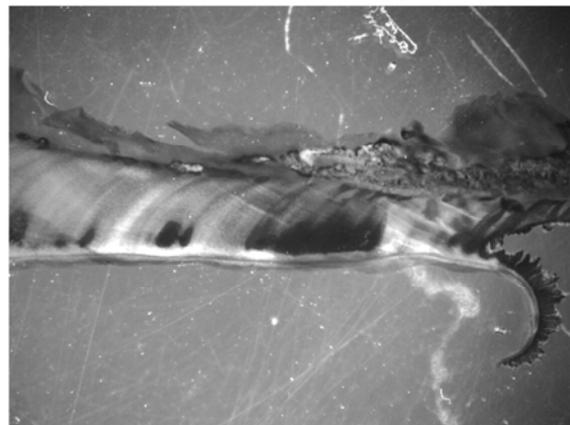
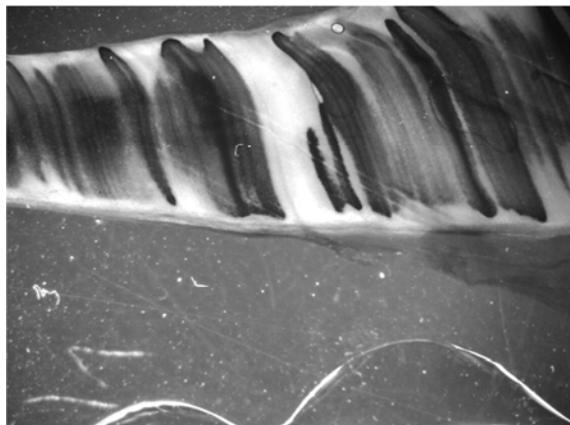
ジンベエザメ脊椎骨をある程度ダイヤモンドカッターで薄めに切り、その後アルコールや凍結で処理した後、マイクロトームで切片標本を作製した。作製された切片はアリザリンレッドで染色し輪状紋を確認し、蛍光顕微鏡で波長 560nm の光を照射し OTC の発光を観察した。

結果

東海大学海洋学部田中彰教授に本種の年齢査定調査を依頼し、脊椎骨切片標本の作製を行った。その結果、120 μm の厚みで切片を切り出すことができ、特定濃度の染色液で染色し、輪状紋の可視化に成功した。また、OTCによる輪状紋へのマーキングは、蛍光顕微鏡による観察で脊椎骨への沈着は認められたものの、輪状紋への均一な沈着は観察できなかった。そのため、輪紋間隔と対応する時間（年月）を知ることができず、年齢を正確に推定することは難しいことが明らかとなった。本種の脊椎骨は石灰化していない半透明の部分が多く、石灰化の強い部分にOTCが分散し、石灰化の弱い輪紋部分には沈着できなかった可能性が示唆された。また、投薬量も既存の報告に比べると著しく少なく、また投与方法も注射ではなく経口であることから、マーキングを施すには十分でなかったと考えられた。今後マーキングを施す機会があるなら、投薬量を増やし注射による投与も必要である。



蛍光顕微鏡による OTC 沈着部位の発色



実体顕微鏡下のアリザリンレッド染色済み脊椎骨輪状紋

脊椎骨の形状は体全体で均一ではないため、これまで主に採取していた第1背鰭直下の脊椎骨だけではなく、別部位からの採取も必要である。完全に石灰化した部位の脊椎骨を見付け、それを採取できれば、より正確に年齢査定を行えると考えられる。今後は脊椎骨を全体的に再確認する必要がある。

今後の予定

作成した染色切片標本の輪状紋数、個体の全長と飼育年数から、およその年齢と体サイズとの関係を調査する予定である。

板鰓類等大型魚類の鎮静剤による治療及び輸送

目的

大型の魚類である板鰓類の治療や輸送を行う際に、対象動物と作業を行う人の安全を目的とした鎮静処置を実施した。

方法

板鰓類であるジンベエザメ、ナンヨウマンタ、ホホジロザメ、オオメジロザメ、レモンザメ、ヒョウモンオトメエイ、マダラトビエイ、ツマグロ、イタチザメ、ヤジブカ、トラフザメに対して鎮静剤のミダゾラムを適量投与し飼育水槽間の移動や処置を実施した。また CT 検査を実施するにあたりフェノキシエタノールによる麻酔を実施した。

結果

ジンベエザメ 3 例、ナンヨウマンタ 5 例、オオメジロザメ 6 例、レモンザメ 3 例、ヒョウモンオトメエイ 5 例、マダラトビエイ 5 例、イタチザメ 1 例、ヤジブカ 2 例、トラフザメ 1 例については、ミダゾラムを筋肉内投与しての移動を実施し成功した。

オオメジロザメ 1 例については、水槽からの取り上げ時にミダゾラムを筋肉内投与し、平成 25 年 12 月 2 日に油壺水族館までの長距離輸送を実施し成功した。トラフザメ 1 例及びレモンザメ 1 例については、クラスパーに咬傷を生じたため、ミダゾラムを筋肉内投与し、観血的手術を実施し良好な成績を収めた。ホホジロザメについては、平成 26 年 2 月に県内定置網にて混獲されたため、ミダゾラムを筋肉内投与し、安全に保定し作業を実施することができた。レモンザメ 1 例については、ミダゾラムを筋肉内投与し、採尿実験のための尿道カテーテルの取り付け処置を実施した。

今後の予定

板鰓類の沈静については、引き続き鎮静薬の投与量の調査を行う。

リュウキュウアユ種苗生産と放流

目的

沖縄本島のリュウキュウアユは、1980 年頃絶滅した。沖縄美ら海水族館では地域貢献事業と展示生物の確保の一環として、平成 20 年度よりリュウキュウアユの人工繁殖、種苗の放流及び展示を行った。

方法

沖縄県福地ダムより親魚用のリュウキュウアユを採集し、乾導法により人工授精させ繁殖させた。受精卵は、合成樹脂性マットに付着させ、17℃の水槽で管理すると、ほぼ 2 週間で孵化した。孵化直前より海水を加え、5%とし、徐々に海水を追加して海水で仔魚の飼育を行った。初期餌料としてシオミズツボワムシを与え、成長に応じて、アルテミア幼生・配合餌料を追加した。孵化後 90 日頃より淡水馴致を開始している。

結果

これまで人工繁殖させたリュウキュウアユ約 7,200 尾を放流した。平成 24 年には源河川で放流したリュウキュウアユが成長し、河川での産卵が確認された。平成 25 年 3 月には、稚魚の遡上も確認されている。また、平成 24 年度に人工繁殖させたリュウキュウアユを育成させ、短日処理を施して受精卵を得ることができた。人工繁殖させた個体を沖縄県北部ダムで行われるダム祭りでの展示にも活用している。

今後の予定

河川内での産卵と稚魚の遡上が確認されたため、水族館での種苗生産・放流を一時休止する。

深海性フエダイ類（マチ類）繁殖技術開発

目的

深海性フエダイ類である「マチ類」の資源回復を目指すとともに、深海魚の繁殖への取り組みや、得られた仔稚魚についての展示をすることで、沖縄県の重要な水産資源をアピールする。

方法

当館では 2002 年の開館当初より、マチ類の資源回復に向けて、調査と長期飼育を続けてきた。平成 24 年 8 月には野外のヒメダイを用いた乾導法による人工授精に初めて成功したため、その技術を用いて、今年度は飼育下のヒメダイの人工繁殖を試みる。また、継続して基礎的なデータの蓄積を図るとともに、人工授精の技術向上と今後の応用について検討する。

結果

5 年以上飼育している長期飼育個体を用いて、繁殖シーズンにあたる 8 月と 9 月に 2 回の人工授精を行った。平成 25 年 8 月 9 日に行ったメス 2 個体の人工授精では、合計約 60,000 粒の卵を得ることができた。しかし、受精卵数は約 9,800 粒（受精率約 16%）であり、受精後 21 時間で約 300 尾孵化するものの、8 月 13 日にはすべて死亡した。平成 25 年 9 月 19 日に行ったメス 2 個体の人工授精では、合計約 55,000 粒の卵を得ることができた。授精卵数は約 28,000 粒（受精率 51.6%）であったが、こちらもすべて孵化 7 日目ですべて死亡した。長期飼育個体から受精卵と仔魚を得ることには成功したため、今後、仔魚の餌料や飼育環境の改善を行う必要がある。



人工授精作業の様子



孵化 3 日目の仔魚

今後の予定

来年度もヒメダイの人工繁殖技術の向上を目指す。また、特に飼育個体から得られた稚魚を展示し、沖縄県の水産資源をアピールするとともに、来館者の増加を図る。

改めて、マチ類の資源回復に向けて、沖縄県との研究協力について検討していく予定である。

黒潮水槽における小型鯨類の展示

目的

沖合生態系の再現を展示コンセプトとする黒潮槽では、ジンベエザメやマンタ、マグロ類等外洋性魚類を中心に展示構成を行っている。今回新たに小型鯨類を展示し本生態系再現の充実を図る。

方法

平成 24 年 11 月 22 日搬入後は陸上蓄養槽（CO-1）において展示に向けた基礎訓練、コーリングによる誘導及び混合飼育動物との馴らし訓練を実施した。平成 25 年 4 月にはほぼ訓練を終え、同月末からは「黒潮の海」での展示訓練を開始した。「黒潮の海」では水槽内にイルカ収容ゲージを作製設置し飼育した。訓練は展示水槽とゲージ内への誘導及びゲージ内での健康管理訓練を中心に行われた。結果、5 月末には完了し 6 月 1 日から展示を開始した。展示方法は朝 1 回目の給餌で健康チェックを実施、その後 8:30 から展示、15 時、17 時の給餌中及び夜間はゲージ内に収容する方法で行われた。

結果

(1) 展示

6 月 1 日から 2 頭展示、4 日には 3 頭展示を開始した。展示水槽と収容ゲージの誘導及び健康管理も特に問題なく実施された。当初心配された同居魚類への影響もほとんど見られなかった。しかし、9 月に入ってからジンベエザメの尾鰭に興味を持ち始め、徐々に接触する頻度が増していった。それに伴い、ジンベエザメ 3 尾ともに尾ビレの傷が悪化しているように見られるため（発生前の尾鰭の詳細な写真を撮影していないため経過は不明）、イルカ 3 頭のジンベエザメに対する接触のモニタリング調査をした。イルカによる接触回数が多くジンベエザメの尾鰭の傷の状態が無視できない状態になったため、10 月 1 日よりイルカの展示を一時中止した。展示中止は 12 月 27 日までとしてその間ジンベエザメ尾鰭の治療とイルカによる接触回避方法の検討がなされた。

その結果、尾鰭の傷は治癒し、尾鰭への接触回避方法は尾鰭プロテクターを装着することで解決したため 12 月 28 日よりテスト的に時間限定で展示を再開した。平成 26 年 3 月末現在も展示は順調に実施中である。

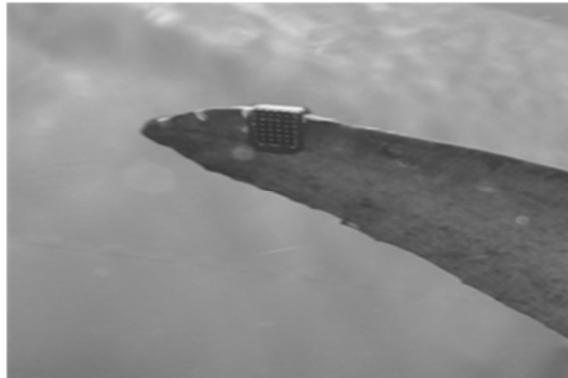
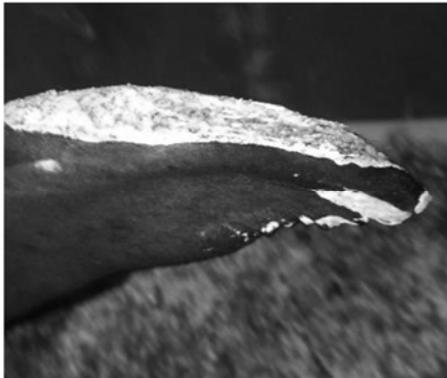
(2) 健康管理

血液検査、体重測定を 1 回/月で実施し、体調及び適正給餌量の把握に努めたが、12 月 7 日より 3 頭の食欲不振、行動異常が認められたため、抗菌剤及び輸液の静脈内投与を実施した。12 月 9 日夕方の処置中に容態が急変し、大量の嘔吐の後に 17 時 55 分に No.3 の死亡を確認した。

今後の予定

1年間の飼育を通して同種はストレスや環境の変化に弱く敏感である。それによる摂餌不良が初期の段階たびたび見られた。特にお互いの関わりが強く、1頭にした場合にすぐに摂餌が止まるなど、単独飼育は非常に困難な種だと考えられる。その結果から、展示構成及び健康管理上「黒潮の海」大水槽での飼育頭数は3~4頭が飼育適正頭数と考える。26年度は新たに2頭の補充を行い安定的な展示を目指す。

健康管理の一貫として水中での超音波画像診断の実施、他園館と共同研究にて生理値及びホルモン値を分析及び解析を行う。



ナンヨウマンタの出産

目的

トビエイ目トビエイ科オニイトマキエイ属に属するナンヨウマンタ *Manta alfredi* は、世界の熱帯から温帯周辺海域に生息する。本種は成長すると体盤幅が4 - 5mになる大型種である。しかし、本種の生態学的情報は非常に少なく、これらを解明することは今後の保護・管理計画を策定するにあたってたいへん重要な情報となる。

方法・結果

平成24年5月13日に第6仔を死産した後、個体番号 No.10 は2回交尾をおこなった可能性があり、水中エコー検査（水中で母体と並走しながら、あらゆる角度から診る方法）により本年も妊娠（通算7回目）していることを確認した。妊娠を確認してから2か月に一度定期的に水中エコー検査を実施し、胎仔の生存、成長を確認していた。

しかし、平成25年5月31日（妊娠から359日目もしくは383日目）の10時30分頃、No.10の容体が急変し、異常な遊泳の後、雄からの追尾を受けながら着底。呼吸弱く、遊泳困難となり、子宮ミルクを大量に排泄し始めた。人為的に総排泄孔より胎仔を取り出すと同時に、水中エコーにてNo.10の心停止を確認した。取り出した胎仔は弱い拍動はあるが、自発的な呼吸や体動がないため、ステロイド剤や強心剤等の処置を施し、人為的に口を開閉し胸鰭を動かして刺激を与えた。その後一時的に回復の兆しが見えたため、海上生簀へ移動したが、3日後に死亡を確認した。第7仔はDW:176.2cm、BW:57.85kgの雌であった。

No.10の死亡原因は明らかになっていないが、これまで毎年妊娠・出産を繰り返してきたことで、母体への負担の影響も一因になっている可能性がある。

今後の予定

ナンヨウマンタの展示構成を雌中心としたものに切り替え、雄からの追尾等の負担を軽減する。現在、予備の雌個体がないため、定置網で捕獲され次第移行し、計画的な繁殖コントロールを行うと同時に、餌料内容の再検討を行う。



海洋博公園前海域のウミトサカ類調査

目的

サンゴ礁を構築するサンゴ群集には、大きく分けてハードコーラルと呼ばれる造礁サンゴ類と、ソフトコーラルと呼ばれるウミトサカ類が含まれる。造礁サンゴ類は数百種を擁し、ウミトサカ類は一千種を超すそれぞれ非常に大きな動物群である。しかし、ウミトサカ類は外部形態から種を特定することが極めて困難な動物の一つである。また、日本では研究者が非常に少ないこともあって沖縄産ウミトサカ類については、種名すらわからないものも多い。本調査は海洋博覧会記念公園沿岸のサンゴ礁に豊富に生息するウミトサカ類の種構成や分布特性等を明らかにすることを目的とする。今年度は、平成 23、24 年度の野外調査によって得られたウミトサカ類の標本の中からウミトサカ科の 6 属について同定を行った。

方法

確認されたウミトサカ科の 6 属のうち、既往文献情報において沖縄海域で多数の種の記録されているウミキノコ属 *Sarcophyton*、ウネタケ属 *Lobophytum* およびカタトサカ属 *Sinularia* の 3 属については、それぞれ 3 種、オバナトサカ属(仮称) *Aldersladum*、ノウトサカ属 *Cladiella* およびヤワトサカ属 *Klyxum* の 3 属についてはそれぞれ 1 種について同定を行った。

前年度に得られた液浸生物標本、DNA 標本、永久プレパラート標本、SEM 用骨片標本を使用し、生物標本及び骨片標本の解剖と計測、文献及び参考標本との照合を通して同定を行った。

結果

2 種の日本初記録種を確認した。また、ナガエダオバナトサカ(仮称) *Aldersladum cf. jengi* とセンジュノウトサカ(仮称) *Cladiella australis* の 2 種は、これまでに琉球諸島からの記録はあったものの、当該調査海域からは初めての記録である。さらに、種内変異や骨片の SEM 画像を含む詳細な記載を行ったことで、これらの 2 種に関する分類学上の知見を大幅に補強することができた。オオウミキノコ *Sarcophyton glaucum* やヤナギカタトサカ *Sinularia flexibilis* のように一般的に広く知られている種についても、これまでに刊行された論文や市販

図鑑類では掲載されることの少なかった骨片の SEM 画像を掲載することにより、種の特徴をより明確にすることができた。

今後の予定

今後も、採集された標本の種同定を進めると共に、各標本について同定に必要なさまざまな部位の写真撮影および骨片の SEM 写真撮影等を行い、各属の代表的な種についての解説を含む属単位での図録作成に向けたデータ整理を行う。さらに、既存標本の同定を進めることによって、当該調査海域におけるウミトサカ類相の実態解明を行うと共に、これまでの野外調査で得ることのできた多数の標本について、形態学および分子生物学的研究を進めることにより、各種の実体解明を図る。その成果は生体や標本の展示、図録の刊行、ホームページでの公開などを通して広く普及に努める。

日本動物分類学会

期間および場所

平成 25 年 6 月 8 - 9 日 宮城教育大学（宮城県仙台市）

要旨

ハワイ産宝石サンゴ *Corallium secundum*（八放サンゴ亜綱：ウミトサカ目）の分類学的検討

○野中正法、林原毅、宮本麻衣（水産総合研究センター国際水産資源研究所）、
Katherine Muzik（Bishop Museum, Hawaii）

サンゴ科 Coralliidae のサンゴは一般に「宝石サンゴ」として知られ、その堅固な骨軸は装飾品等として紀元前から利用されてきた。水産利用されている主な産地は南日本、地中海沿岸、そしてハワイ諸島があげられる。ハワイ諸島で最も多く漁獲されている種は *Corallium secundum* Dana, 1846 として知られ、ミッドウェーや天皇海山で漁獲されているものも本種とされてきた（Grigg 1974）。

水産総合研究センターでは、2006 年から天皇海山の漁場環境調査を実施しており、サンゴ科の標本も 20 点ほどが採取されている。これらの同定作業を進める中で *C. secundum* に同定されたものが一つもない事に疑問を感じ、本種の分類学的再検討を行った。

C. secundum のホロタイプ（USNM600）はスミソニアン博物館に保管されている。Bayer（1956）は、本種のポリプや骨片の形態の詳細なスケッチを掲載した再記載を行い、それが本種の特徴として一般に知られてきた。しかし、本種のホロタイプは共肉が取り去られた骨軸のみの標本であり（Bayer 1956）、Dana（1846）の記載は群体全体の図や記述のみで、そのポリプや骨片の特徴など、顕微鏡観察が必要な部位の記述はしていない。従って Bayer（1956）が再記載した標本はもちろんホロタイプではない上、本種であるという客観的証拠に乏しいことが判明した。

本研究で用いた天皇海山産の標本は、共肉の色、ポリプの配置、骨片のサイズなどから、Bayer（1956）の再記載の *C. secundum* にはあたらぬ。しかし、Dana（1846）のスケッチにはよく似る。Grigg（1974）の記述を確認すると、「日本のサンゴ業者の話によると」*C. secundum* であるということであり、これまで骨片の観察など詳細な同定作業はなされていなかった事も

判明した。

C. secundum はハワイ産の代表種ということで多くの研究で取り上げられてきたが、1) Bayer (1956) による再記載の信疑、2) 他種との誤同定の可能性、などから本種の取り扱いについては、今後十分に検討する必要があるだろう。

The 9th Indo-Pacific Fish Conference (IPFC9)

期間および場所

平成 25 年 6 月 24 - 27 日 沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

要旨

Long-term observation of the clasper development and the serum concentration of testosterone in captive male whale shark at maturity

○Rui Matsumoto, Kiyoshi Asahina (Nihon University), Yosuke Matsumoto, Keiichi Ueda, Keiichi Sato

The clasper development and the serum concentration of testosterone of a captive male individual of whale shark were observed to obtain maturity and reproductive information. Material examined for this research was a male kept in 7500m³ tank in Okinawa Churaumi Aquarium for over 17 years. We have monitored the clasper elongation by examining the ratio of the clasper outer length (COL) to the pelvic inner margin (P2I) since March 2005. The ration of COL/P2I began to increase slowly at 8.5 m TL (1.09 in August 2011), and rapidly increased to 1.60 within 11 months (July 2012). However, there was no further clasper elongation since July 2012. In addition, the morphological transformation of the clasper was observed. Those facts indicate that the clasper elongation and development were occurred at about 8.5 m TL, and in consequence, the individual has attained maturation at this size. The serum concentration of testosterone by the time-resolved fluorescent antibody technique (TR-FIA) reveal that the increase of the testosterone was recognized in June 2011 (11.45 ng/ml), and it was maintained in higher level of its concentration for one year to June 2012 (21.49 ng/ml). However, it was reduced to lower level after July 2012 (8.42 ng/ml). These hormonal trends corresponded approximately to duration of rapidly clasper elongation. Additionally, we observed behavioral change that the whale shark rotated laterally its entire body with crossing both claspers from April 2012. We estimate that this whale shark has also reached behavioral maturity. In this aquarium, we will promote the reproduction success in this species in captivity and aim to clarify its shadowy reproduction.

Observations on the embryo of *Manta alfredi* using ultrasonographic imaging

○Kiyomi Murakumo, Keiichi Ueda, Keiichi Sato

Successful captive reproduction of *Manta alfredi* has been recorded at the Okinawa Churaumi Aquarium since 2007. Mating behavior, gestation period (363 to 374 days), and

annual reproductive cycle were observed. However, the development of the embryo was not observed until 2011. The subject of this study was a female that copulated with a male every year from 2007 to 2012, and gave birth annually for the past 6 years. We monitored embryonic development inside the uterus using a sonography diagnostic imaging system (Fuji Film Medical, FAZONE-M) with a transducer placed on the dorsal surface of the body above the uterus. We succeeded in the long-term observation of an embryo for the first time in 2011, and examined its morphology and motion in the uterus. The embryo was first observed 70 days after copulation. The cephalic and dorsal fins were first observed at 102 days. The mouth opening/closing cycle was first observed at 141 days. The embryo turned around in the uterus several times in a day; its orientation in the uterus was settled at 188 days. From the 188th day, it was not possible to make ultrasonic images of the whole body of the embryo because its size exceeded 70 cm in disk width. The ultrasonic images were effective for observation of early embryonic development and the position of the embryo in the uterus. The neonates were born at an average disk width of 185.6 cm and body weight of 66.25 kg. Three of them are maintained in the 7500 m³ exhibit tank at the Okinawa Churaumi Aquarium.

日本水産学会

期間および場所

平成 25 年 9 月 19 - 22 日 三重大学 (三重県津市)

要旨

板鰓類ウシバナトビエイ下垂体の構造と生殖腺刺激ホルモンの cDNA クローニング

○ 牧田萌 (日大生物資源)、松本瑠偉、鈴木美和 (日大生物資源)、朝比奈潔 (日大生物資源)

【目的】脊椎動物の性成熟を調節する生殖腺刺激ホルモン (GTH) については、濾胞刺激ホルモン (FSH) と黄体形成ホルモン (LH) の 2 種類が知られており、どちらも分子量約 3 万の糖タンパク質ホルモンである。真骨魚類では、FSH と LH は下垂体前葉主部の別々の細胞から分泌されることがわかっているが、板鰓類に関する知見は少ない。本研究では、ウシバナトビエイ (*Rhinoptera javanica*) の下垂体を用いてその構造を調べ、また cDNA クローニングを行い、生殖腺刺激ホルモンの塩基配列を決定することを目的とした。

【方法】実験には、沖縄美ら海水族館から提供いただいたウシバナトビエイ 10 尾 (2013) を用いた。4%PFA 固定した下垂体を薄切し、HE 染色、AZAN 染色、PAS 染色を行った。また、下垂体から RNA を抽出し、cDNA を合成した後、板鰓類で既知の FSH β および LH β の配列から作製したプライマーを用いて cDNA 断片の増幅を行った。得られた配列から Gene Specific Primer を設計し、5'および 3'RACE により塩基配列の解明を試みた。

【結果】ウシバナトビエイの下垂体は、他の板鰓類下垂体と同様、中葉がよく発達している。AZAN 染色の結果、好塩基性の細胞群は観察されなかった。PAS 染色では、前葉で赤紫色を呈する細胞が観察された。クローニングの結果、236bp の FSH β cDNA 断片と 230bp の LH β cDNA

断片、262bp の α サブユニット cDNA 断片が得られ、その配列はハナカケトラザメ GTH 配列とそれぞれ高い相同性を示した。

日本動物園水族館協会・海獣技術者研究会

期間および場所

平成 25 年 10 月 8 - 10 日 神戸市相楽園会館（兵庫県神戸市）

要旨

マリンタンク（簡易組み立て水槽）を用いたマダライルカの海上輸送

植田啓一、○村雲清美、桐畑哲雄、稲森大樹（太地町立くじらの博物館）、
大城善人、仲里美之、鈴木美和（日本大学）、宮原弘和

現在、飛行機を使用した鯨類の移送は、チャーター機を使用しなければ不可能な状況で、沖縄への移送に関しては、陸路と海路を使用した長時間のものとなり、動物への負担も大きい。今回、太地町立くじらの博物館の協力を得て、鴨川シーワールドや名古屋港水族館が実施した砂利運搬船を使用したシャチの海上輸送を参考に、船内にマリンタンクを設置してマダライルカ *Stenella attenuata* を輸送する方法を試みた。輸送は平成 23 年 11 月に実施し、雄 1 頭（飼育歴 4 年、体長 177cm）と雌 2 頭（飼育歴 1 年、体長 181cm と 173cm）を、太地町から大阪南港（228km）までの 6 時間と、那覇新港から当館（88.6km）までの 2 時間 30 分を陸路、大阪南港から那覇新港（約 1,300km）までの約 36 時間を海路にて輸送した。陸上輸送は 10t トラック内にオキゴンドウ用コンテナ（3.83×1.23×0.89m）を設置し、スリング方式にて、海上輸送では水深約 70cm まで海水を貯めた 10t マリンタンク（ナショナルマリンプラスチック社製、直径 3.7m）に 3 頭を放池した。換水は 2 - 3 時間間隔で行い、各個体 1kg の餌（サバとホッケ）を 3 回給餌した。輸送開始から 0、12、24、46 および 51 時間後（水族館到着時）に採血を行い、血液性状を調べた結果、いずれの個体においても輸送開始から終了時まで血清コルチゾール濃度が高値で推移し、好酸球の百分比の減少が認められたことから、輸送によるストレスが考えられた。また、輸送中から搬入 1 週間後まで、白血球数および血清中のグロブリンおよびハプトグロビン濃度の上昇が認められ、アルカリフォスファターゼ濃度の減少が確認されたことから、移送ストレスを発端とする免疫低下により感染症が誘発され、急相性反応が引き起こされた可能性が示唆された。引き続き長時間におよぶ輸送にあたっては、動物の負担を軽減していく必要がある。

大型魚類展示水槽でのマダライルカの飼育展示について

○大城善人、外間克也、仲里美之、宮原弘和

沖縄美ら海水族館では、ジンベエザメやナンヨウマンタ等、60 種 10,000 点の飼育展示を行っている「黒潮の海」大水槽（35×27×10m、7,500m³）において、鯨類と魚類の混合飼育により鯨類の野性的な行動を引き出し、本来の生態に近い展示を行うことを目的とし、2013 年 6 月 1 日よりマダライルカ *Stenella attenuata* 3 頭の飼育展示を行った。

3 頭のマダライルカ（S-1：♂、177cm、58.5kg；S-2：♀、181cm、49kg；S-3：♀、173cm、50kg）は、太地町立くじらの博物館から 2012 年 11 月 22 日に搬入され、海洋博公園内にある

屋内水槽（9×11×2.5m、250m³）において受診動作訓練、ゲート誘導訓練、飼育魚類との馴致訓練を2013年4月まで行った。「黒潮の海」大水槽での飼育展示にあたっては、健康管理、給餌量等の管理が行えるよう、まず水槽内の一角に設置したイルカ収容ケージ（6.5×3.6×3m、70 m³）に移動し、展示水槽と収容ケージ間の誘導訓練を含む諸訓練を完成させた後、6月1日から飼育展示を行った。展示時間は8時30分から16時30分までとした。

これまでの魚類との混合飼育による行動観察では、本種による硬骨魚類への追尾行動がみられたが捕食することはなく、遊泳性大型板鰓類（ジンベエザメ、マンタ）の前方を遊泳する行動等が多くみられた。一方、底生性板鰓類にはほとんど興味を示さなかった。また、限られた1個体（ツムブリ）に対し、雌個体2頭で腹下に入れたり、交互に寄り添ったりしながら遊泳する行動が見られた。給餌量は4kgから6kgとし、8月現在の体重（搬入時からの増減）はS-1：65.5 (+7) kg、S-2：61.5 (+12) kg、S-3：61 (+11) kgと増加、感染症等の疾病もなく、健康な状態で飼育を継続している。

日本動物園水族館協会・水族館技術者研究会

期間および場所

平成25年11月14 - 15日 ホテルオークラ新潟（新潟県新潟市）

要旨

ヤリ型動物捕獲用麻酔器具を用いた板鰓類の取り上げについて

植田啓一、村雲清美、○野村有司、上迫春香、仲松由美子、山城篤、仲里美之

沖縄美ら海水族館では、沖縄近海の定置網等で捕獲された大型の板鰓類15種179点の展示を行っている。大型板鰓類は襲撃性の高い種や、遊泳性の種であることが多い。そこで、取り上げ作業においては、生物及び飼育員の安全を確保するため、2009年よりヤリ型動物捕獲用麻酔器具を用いて鎮静剤を投与し、安全かつ迅速に作業を行っている。本報告では、鎮静剤の投与量や作用時間について有益な結果を得られたオオメジロザメ、レモンザメ、ツマグロ、ナンヨウマンタ、マダラトビエイ、オグロオトメエイについて述べる。

麻酔器具はDAN-INJECT社製のJab stickを使用した。鎮静剤ミダゾラムは、自館で約3倍に濃縮したものを用いた。各々の投与量と投与後取り上げまでに要した時間は、オオメジロザメ (n=7)：1.2 - 5.2mg/kg で9 - 57分、レモンザメ (n=5)：0.57 - 2.23mg/kg で10 - 41分、ツマグロ (n=2)：1.7 - 2.7mg/kg で22 - 25分、ナンヨウマンタ (n=5)：1.0 - 2.4mg/kg で15 - 34分、マダラトビエイ (n=12)：1.0 - 2.5mg/kg で10 - 44分、オグロオトメエイ (n=15)：1.8 - 9mg/kg で9 - 43分であった。

太平洋宝石サンゴ国際シンポジウム

期間および場所

平成26年2月17 - 18日 台北コンベンションセンター（台湾）

要旨

Preliminary taxonomic studies of specimens of Coralliidae collected from the Emperor Seamounts

○Masanori Nonaka, Takeshi Hayashibara, Mai Miyamoto
(National Research Institute of Far Seas Fisheries, Fisheries Research Agency),
Katherine Muzik(Bishop Museum, Hawaii)

Investigations of the deep-water corals in the Emperor Seamounts have been carried out since 2006 by the Fisheries Research Agency (FRA). Samples collected in the Family Coralliidae were examined in this study.

Colonies were collected from 350-1100 m depth, mainly from the southernmost region of the Emperor Seamounts, including Koko, Kammu and C-H Seamounts. Samples were photographed along with a cm scale, and preserved in 99.5% ethanol. Colonies were identified to genus and likely species by visual observation of morphological characters of whole colonies and then SEM observation of sclerites separated from their soft tissue. Identifications follow Bayer (1956) and Nonaka & Muzik (2012).

Corallium secundum Dana, 1846 has been the main fishery species reported from Hawaii, Midway and the Emperor Seamounts (Grigg 1974, 1984, 2002). However, it is quite possible that the specimens from the Emperor Seamounts were misidentified. Dana (1846) relied only on colony shape and color in describing his *C. secundum* specimen, without making any reference to taxonomically important microscopic features such as polyp size and arrangement, and sclerite size, shape, color and arrangement. Moreover, even its locality (the Sandwich Islands or Hawaii) is still in question. Because of the poor condition of the holotype specimen of *C. secundum* “long known only from the unique type, which is now decorticated” (Bayer 1956), Bayer re-described the species, illustrating characters of polyps and sclerites with detailed drawings (Bayer 1956). However he did not report any features of the damaged Dana holotype but instead, only of two specimens collected at two “Albatross” Expedition stations in Hawaii in 1902. Therefore it remains uncertain if any of the “Albatross” specimens he described were indeed *C. secundum*.

FRA specimens were placed in 4 preliminary species groups (A, B, C, D). Only one specimen belonging to “A” group, collected from deeper than 1,000 m, was positively identified as a known Hawaiian species, *C. abyssale* Bayer, 1956. Eight specimens belonging to the largest species group “B”, were somewhat similar to the drawing of *C. secundum* Dana, 1846, but were substantially different in their polyp arrangement and sclerite size from the description of this species by Bayer (1956). Therefore, the “B” group specimens may not be *C. secundum* sensu Bayer 1956. Their characters most closely match those reported for *C. pusillum* Kishinouye, 1904 (white axis, orange coenenchyme, polyp in clusters, double clubs, large 8-radiates) collected from Izu-Oshima, in Japan. However, since the holotype of *C. pusillum* is lost and no other specimens were ever identified by Kishinouye as belonging to this species, we cannot yet definitively conclude that our specimens are indeed *C. pusillum*. At the time of submission of this Abstract, the specimens of C and D groups are still under study.

(2) 教育普及活動

GW 特別展「海の危険生物展」

目的

人々が海へ出る機会が多くなる夏の海水浴シーズンに向け、来場者に海の危険生物に関する情報を得る機会を提供する。

期間および場所

平成 25 年 4 月 27 日 - 5 月 6 日 (10 日間)

沖縄美ら海水族館 4 階 イベントホール

概要

(1) パネル展示

危険生物の紹介及び対処方法の解説

(2) 模型・標本展示

危険生物の特徴を液浸・乾燥・プラスチック標本や実体顕微鏡等を用いて紹介

(3) クイズ実施

会場内にて危険生物に関するクイズを実施し、回答者にはシールをプレゼント

(4) パズル・ぬりえコーナー

パズルやぬりえをしながら危険生物について学べるコーナーを設置

(5) リーフレット配布

危険生物に関するリーフレットを配布

(6) ビデオ放映

危険生物についての解説ビデオを放映

参加者数：4,946 名

来場者数は一日平均で 495 名、水族館入館者数に占める割合は約 4.6%となった。結果、開催期間中の参加総数は 4,946 名を記録した。



特別展「サンゴの卵・幼生観察」

目的

飼育水槽で放卵し発生したサンゴのプラヌラ幼生を来館者に肉眼で観察してもらい、サンゴの生活史やサンゴ礁環境における役割などと併せて、サンゴ産卵時期の飼育係作業を、この観察会を通じて普及啓発することを目的とする。

期間および場所

平成 25 年 6 月 2 - 9 日 (8 日間)

沖縄美ら海水族館 3 階 「サンゴの海」水槽前

概要

- (1) 飼育水槽で採取したプラヌラ幼生
- (2) 昨年、一昨年にタイルに定着させ、一・二年間飼育したサンゴ
(コエダミドリイシ・ウスエダミドリイシ)
- (3) サンゴについての一般的な解説、水族館でのサンゴ産卵時期の作業をまとめたパネル
- (4) プラヌラ幼生の拡大動画

これまでの幼生観察会は、必ず 1 人以上のスタッフが常駐し解説をするという形だったが、今年は「サンゴの海」水槽の解説をはさみ、前後 30 分に解説者をつけ、その他の時間はお客様に自由に観覧していただくという形の展示を行った。安全面へのクレーム等はなかった。しかし、馴染みのない「プラヌラ幼生」は、パネルだけの解説より、明らかに人から情報を得た方がお客様の反応が良かったため、今後の課題となった。また、後半はプラヌラ幼生が定着のために水槽底に沈んできたため、タイルを並べ、定着している初期ポリプの観察へと切り替えを行った。初期ポリプを見せるとその小ささにとても驚いていた。



「まるごと沖縄クリーンビーチ 2013」海洋環境パネル展

目的

沖縄クリーンコーストネットワーク事務局の依頼を受け、「まるごと沖縄クリーンビーチ 2013」キャンペーンの一環として、水族館内において「海洋環境パネル展」を実施し、海洋環境保全や海浜等美化の意識向上を図り、環境問題への啓発に努める。

期間および場所

平成 25 年 6 月 1 日 - 7 月 31 日 (61 日間)

沖縄美ら海水族館 1 階

出口前ポスター掲示コーナー



概要

「まるごと沖縄クリーンビーチ 2013」キャンペーンポスターの他、海岸清掃の様子やウミガメや海鳥等、ゴミによって被害を受けた野生生物の写真を掲示した。

夏休み特別展「ウミウシ展 ～貝殻を捨てた貝の仲間～」

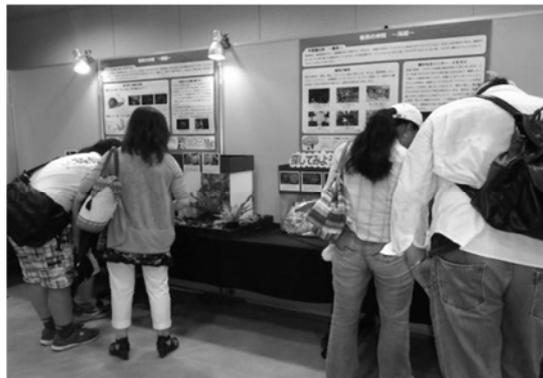
目的

スキューバ・ダイビングの普及に加え、ここ数年「ウミウシ」本が相次いで刊行されたことで、ウミウシがダイバーをはじめ一般の人々の間でも注目され、人気が高まっている。そこで、ダイビング目的の観光客が多くなる夏期に、ウミウシに焦点をあてた企画展を開催し、ウミウシを含めた軟体動物の生態について紹介する。また、事前にウミウシ写真を一般から募集し、企画展と併せて写真展も開催する。

期間および場所

平成 25 年 7 月 20 日 - 9 月 1 日 (44 日間)

沖縄美ら海水族館 4 階 イベントホール



概要

(1) パネル展示

ウミウシ類をはじめとする軟体動物の形態、生態等に関する解説

(2) 生体及び標本展示

軟体動物の生体及び液浸・乾燥・プラスチックネーション標本展示

(3) スタンプラリー

館内 2 カ所、イベントホール 2 カ所にスタンプ台を設置し、スタンプラリーを実施

(4) PR グッズ配布

クイズ及びラリー参加者向けにグッズを作成し、参加者に配布

(5) ウミウシ写真展示

コンテスト応募写真のうち入賞作品 6 点入選作品 60 点を会場にて展示

参加者数： 81,278 名

生き物ふれあい体験会「46th Sony Aquarium」

目的

沖縄観光コンベンションビューローとのタイアップ事業の一環として Sony Aquarium2013 の運営に沖縄美ら海水族館として全面的に協力する。Sony Aquarium は東京銀座ソニービルを会場に、Sony のハイビジョン技術や 4K 映像を用い、様々なコンテンツで水族館の魅力を紹介するとともに、会場内の装飾や展示水槽の監修、平成 25 年度は生き物ふれあい体験会を週末(土日)に開催し、沖縄美ら海水族館の PR および教育普及事業を実施する。

期間および場所

平成 25 年 7 月 19 日 - 9 月 1 日 (45 日間)

銀座ソニービル (東京都中央区)

概要

Sony Aquarium の特別企画として、水族館の教育普及事業としての生き物ふれあい体験会を実施し、沖縄美ら海水族館の魅力を伝える有意義な事業を展開した。

体験会は、予約不要の体験型イベントとして期間中週末限定で 1 日 3 回、計 14 日間 42 回実施した。ヒョウモンオトメエイやイヌザメ等に触れていただきながら、飼育員による解説を聞く体験会は、子どものみならず大人の参加者にも大変好評であり、非常に有意義な週末イベントであった。



「第 142 回水路記念日」海洋情報パネル展

目的

第十一管区海上保安本部からの依頼を受け、日本の海図作成がスタートした水路記念日、9月12日に合わせてパネル展を開催し、海洋情報業務の周知・啓発及びマリナーの安全に寄与する。



期間および場所

平成 25 年 8 月 16 日 - 9 月 17 日 (33 日間)

沖縄美ら海水族館 1 階

出口前ポスター掲示コーナー

概要

海底地形の測量方法、海図の今昔、日本周辺の 3D 海底地形図とプレート配置の解説などを掲示した。8/24 (土) には、第十一管区海上保安本部職員 2 名が常駐して、映像を流したり、正 20 面体地球儀のクラフト作製を実演したりして、詳しい展示解説を行った。

平成 26 年正月干支水槽展示

目的

干支にちなんだ水槽展示を行い、来館者の正月気分を盛り上げることを目的とする。

期間および場所

平成 25 年 12 月 28 日 - 平成 26 年 1 月 5 日 (9 日間)

沖縄美ら海水族館 3 階 「サンゴの海」水槽前

概要

(1) 水槽展示

円柱水槽 (水量 1t、直径 105cm×高さ 230cm、架台含む) で平成 26 年の干支「午 (うま)」にちなんだ生物を展示。

展示生物

干支関連： クロウミウマ… “ウマ” に因む。当館繁殖個体を 20 尾展示
ゼブラウツボ… 英名に “シマウマ” という言葉が入る。1 尾展示
クラカケモンガラ、クラカケベラ… “鞍” に因む。各 1 尾展示
メガネゴンベ… 英名に “馬蹄” という言葉が入る。3 尾展示
サラサバテイ… 中名に “馬蹄” という言葉が入る。4 個体展示

その他、ナンヨウハギ、ヒフキアイゴ、キンギョハナダイなどを展示

(2) パネル及び標本展示

今年の干支「午」が名前につく海洋生物をパネル、液浸標本で紹介した。紹介パネルは「クロウミウマ」「トラフザメ (英名: Zebra shark)」「ウマヅラアジ、マトウダイ」の 3 枚。

※英名に“シマウマ”という言葉が入るトラフザメは当館繁殖個体1尾を生体展示した。



円柱水槽周辺では、今年の干支である“午”にちなんだクロウミウマやゼブラウツボを観察する姿が多く見られたほか、馬をモチーフにした装飾と合わせて写真を撮るお客さんが多くいた。また、パネルや標本を熱心に見ているお客さんもあり、午にちなむ生物について楽しみながら学ぶ機会を提供することができた。また、トラフザメやクロウミウマなど当館繁殖個体についても紹介することができた。

視覚支援学校に対する教育普及活動

目的

プラスチック標本を利用した視覚障害教育を充実させるため、当館に来館する視覚障害者に対し標本を用いた観察プログラムを提供する。

概要

- (1) 水族館において、下記視覚支援学校の生徒に対する観察プログラムを実施した。
- | | | | |
|---------------------|-------|-----|--------|
| 神戸市立盲学校高等部 | 5月9日 | 2名 | |
| 愛知県立岡崎盲学校高等部 | 5月30日 | 5名 | |
| 埼玉県立特別支援学校埴保己一学園高等部 | 9月24日 | 10名 | 計3校17名 |
- (2) 科学ヘジャンプ・イン・大阪 2013（大阪府立視覚支援学校）に観察用標本36点の貸出しを行った（11月10日）。



美ら海移動水族館

目的

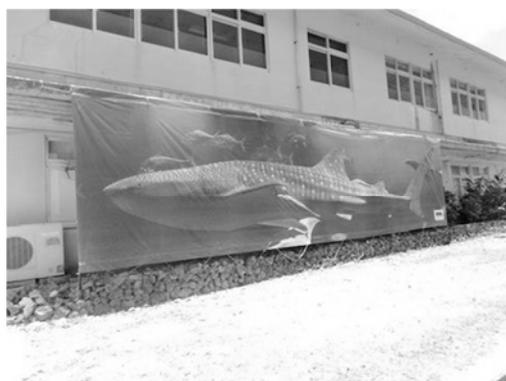
沖縄県内の福祉施設・病院の利用者及び離島住民等、沖縄美ら海水族館への来館が困難な方々を対象に、レクリエーション・普及啓発及び水族館の広報を目的とした展示を現地にて行う。

概要

- (1) 活魚車水槽での魚類展示及び生態解説
- (2) タッチプールでの棘皮動物類展示及び生態解説
- (3) サメ・エイ類等の液浸・乾燥・プラスチックネーション標本展示及び生態解説
- (4) ジンベエザメ等身大タペストリー掲示
- (5) その他（ぬりえ、クラフト、シール、海洋博公園イベントニュース等配布）

今年度は、西表島等の離島も含め 19 カ所での移動水族館を実施した。実施施設の内訳は特別支援学校 2 ヶ所、福祉施設 15 ヶ所、その他 2 カ所であった。

平成 25 年度来場者総数：5,630 名



| | 実施日 | 施設名 | 参加者数 |
|---|--------|--------------------------|------|
| 1 | 4月 5日 | 介護付有料老人ホーム うえた(豊見城市) | 281 |
| 2 | 4月 6日 | 介護サービスセンター ゆいまーる松川 (那覇市) | 296 |
| 3 | 6月 1日 | 特別養護老人ホーム 南風見苑 (八重山郡竹富町) | 368 |
| 4 | 6月 2日 | 竹富町離島振興総合センター (八重山郡竹富町) | 387 |
| 5 | 6月 3日 | 石垣市役所 (石垣市) | 835 |
| 6 | 6月 25日 | 介護老人保健施設 うりずん (島尻郡与那原町) | 168 |
| 7 | 6月 26日 | 沖縄県立桜野特別支援学校 (名護市) | 225 |
| 8 | 7月 27日 | 乙羽園デイサービスセンター (今帰仁村) | 138 |

| | 実施日 | 施設名 | 参加者数 |
|----|---------|-------------------------|------|
| 9 | 8月 15日 | 介護老人保健施設 禄寿園（那覇市） | 406 |
| 10 | 9月 17日 | 介護老人保健施設 いしかわ願寿ぬ森（浦添市） | 199 |
| 11 | 9月 18日 | 沖縄県立大平特別支援学校（浦添市） | 358 |
| 12 | 11月 12日 | 具志川厚生園（うるま市） | 198 |
| 13 | 11月 13日 | 介護老人保健施設 養生の里（豊見城市） | 128 |
| 14 | 12月 7日 | 特別養護老人ホーム ちゅらゆんたんざ（読谷村） | 172 |
| 15 | 1月 25日 | デイサービスセンター みなみ（糸満市） | 242 |
| 16 | 2月 20日 | 特別養護老人ホーム 朝日の家（恩納村） | 235 |
| 17 | 2月 21日 | デイサービス 陽だまりの丘（浦添市） | 368 |
| 18 | 3月 18日 | 指定相談支援センター 石川学院（うるま市） | 544 |
| 19 | 3月 19日 | いずみ病院（うるま市） | 205 |

水族館飼育実習

目的

自然科学系専攻の主として大学生及び専門学校生を対象とした飼育実習を通し、実践的教育活動を提供する。

概要

専門学校生 1 名、大学生 19 名の計 20 名の飼育実習を受け入れ、7 日間の現場対応を行った。

| | 実施日 | 学校名 | 学年 |
|----|-----------------|------------|----|
| 1 | 4月 1 - 7日 | 大宮国際動物専門学校 | 2 |
| 2 | 6月 18 - 24日 | 高知大学 | 4 |
| 3 | 8月 12 - 18日 | 日本獣医生命科学大学 | 2 |
| 4 | 8月 19 - 25日 | フランス国立パリ大学 | 2 |
| 5 | 8月 29日 - 9月 4日 | 立正大学 | 3 |
| 6 | 9月 5 - 11日 | 北海道大学 | 2 |
| 7 | 9月 12 - 18日 | 立正大学 | 3 |
| 8 | 9月 19 - 25日 | 長崎大学 | 3 |
| 9 | 9月 26日 - 10月 2日 | 長崎大学 | 3 |
| 10 | 10月 5 - 11日 | 日本大学 | 3 |
| 11 | 10月 13 - 19日 | 日本大学 | 3 |
| 12 | 10月 21 - 27日 | 日本大学 | 3 |
| 13 | 12月 11 - 17日 | 日本大学 | 6 |
| 14 | 1月 27日 - 2月 2日 | 東海大学 | 3 |
| 15 | 2月 17 - 23日 | 広島大学 | 2 |
| 16 | 2月 24日 - 3月 2日 | 北海道大学 | 2 |
| 17 | 3月 1 - 7日 | 近畿大学 | 3 |
| 18 | 3月 8 - 14日 | 東海大学 | 2 |
| 19 | 3月 15 - 21日 | 酪農学園大学 | 3 |
| 20 | 3月 25 - 31日 | 日本獣医生命科学大学 | 2 |

水族館博物館実習

目的

博物館法施行規則第1条に定める「博物館実習」の単位を当公園で習得しようとする学生を受け入れる。

概要

自然科学系専攻の学生を対象とし、10名の大学生を受け入れた。実習は幅広い知識及び技術を習得させるために、沖縄美ら海水族館、イルカ周辺施設、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園、熱帯ドリームセンターにて実施した。実施期間は、第1回は平成25年7月30日 - 8月8日の間の9日間、第2回は平成25年11月5日 - 11月14日の間の9日間。各期間中、魚類チームは6日間の日程で現場対応を行った。

| | 実施期間 | 学校名 | 学年 |
|----|--------------------------|--------|----|
| 1 | 第1回 平成25年7月30日 - 8月8日 | 近畿大学 | 3 |
| 2 | | 近畿大学 | 3 |
| 3 | | 福山大学 | 3 |
| 4 | | 東海大学 | 3 |
| 5 | | 東京海洋大学 | 4 |
| 6 | | 東京海洋大学 | 4 |
| 7 | 第2回 平成25年11月5日 - 14日 | 近畿大学 | 3 |
| 8 | | 近畿大学 | 3 |
| 9 | | 東京農業大学 | 3 |
| 10 | | 琉球大学 | 4 |

職場体験学習

目的

総合学習の一環として広く取り入れられている「職場体験学習」は、県内においても一般企業の協力の下で実施されている。当財団も、この趣旨に賛同し、県内の主に小学生、中学生、高校生を対象に受け入れを行う。

概要

小学校3校10名、中学校6校14名、高等学校4校14名、専門学校1校9名、本部町内初任者及び10年経験者教諭3名の計50名の職場体験を実施した。教育普及担当者の注視のもと、飼育担当者が生徒の指導を行った。

| | 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数 |
|---|------------|--------------|----|----|
| 1 | 6月17 - 18日 | ウエル・スポーツ専門学校 | 2 | 9 |
| 2 | 6月21日 | 名護市立大宮小学校 | 6 | 3 |
| 3 | 7月3 - 4日 | 本部町立水納小中学校 | 2 | 1 |
| 4 | 7月22日 | 本部町教育委員会 | 教諭 | 3 |

| | 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数 |
|----|---------------|------------------|----|----|
| 5 | 7月 23 - 24 日 | 学校法人 KBC 学園 未来高校 | 2 | 2 |
| 6 | 8月 6 日 | 今帰仁村立今帰仁小学校 | 5 | 6 |
| 7 | 8月 17 日 | 本部町立本部小学校 | 6 | 1 |
| 8 | 9月 9 - 10 日 | 今帰仁村立今帰仁中学校 | 2 | 2 |
| 9 | 11月 7 - 8 日 | 沖縄県立本部高等学校 | 2 | 6 |
| 10 | 11月 12 - 13 日 | 沖縄県立北山高等学校 | 2 | 5 |
| 11 | 11月 20 - 21 日 | 名護市立大宮中学校 | 2 | 5 |
| 12 | 11月 26 - 27 日 | 名護市立屋部中学校 | 2 | 2 |
| 13 | 11月 26 - 27 日 | 名護市立名護中学校 | 2 | 2 |
| 14 | 11月 26 - 27 日 | 名護市立羽地中学校 | 2 | 2 |
| 15 | 2月 14 - 15 日 | 八洲学園大学国際高等学校 | 2 | 1 |

その他の教育普及活動

目的

海洋環境についての学習意欲は昨今非常に高くなっており、県内外の児童生徒から一般の方々にいたるまで、多様な教育普及活動の依頼がある。これに答えるべく、インタビュー対応、水族館概要説明、バックヤード見学対応などを行い、普及啓発に努める。

概要

- (1) インタビュー：小学校 1 校 2 名、中学校 4 校 85 名、高等学校 2 校 21 名、専門学校 1 校 41 名、大学 2 校 40 名、特別支援学校 1 校 25 名、その他教育機関等 1 件 15 名、計 229 名の実施
- (2) 概要説明：小学校 1 校 35 名、その他教育機関等 3 件 54 名、計 89 名の実施
- (3) 講師派遣：小学校 4 校 406 名、中学校 1 校 25 名、高等学校 1 校 93 名、大学 2 校 192 名、その他教育期間等 1 件 70 名、計 786 名の実施
- (4) バックヤード：小学校 2 校 90 名、高等学校 3 校 64 名、専門学校 2 校 50 名、大学 3 校 53 名、特別支援学校 1 校 50 名、その他教育機関等 2 件 177 名、計 484 名の実施

V 付属資料

(1) 飼育生物一覧 (H25.12.31 現在) Animal inventory December 31, 2013

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|--|----|---|----|
| 動物界 Animalia | | ホソヤギ科 Plexauridae | |
| 海綿動物門 Porifera | | ヨウラクヤギ属の一種 <i>Bebryce</i> sp. | 1 |
| 六放海綿綱 Hexactinellida | | ムチヤギ科 Ellisellidae | |
| 散針目 Lyssacinosida | | ヒオウギヤギ属の一種 <i>Verrucella</i> sp. | 1 |
| カイロウドウケツ科 Euplectellidae | | ムチヤギ科の一種 Ellisellidae sp. | 4 |
| マーシャルカイロウドウケツ <i>Euplectella marshalli</i> | 2 | トクササンゴ科 Isididae | |
| 海綿動物門の一種 Porifera sp. | 15 | セキコクヤギ <i>Isis hippuris</i> | 1 |
| | | トクササンゴ科の一種 Isididae sp. | 1 |
| 刺胞動物門 Cnidaria | | アオサンゴ目 Helioporacea | |
| ヒドロ虫綱 Hydrozoa | | アオサンゴ科 Helioporidae | |
| ヒドロ虫綱の一種 Hydrozoa sp. | 2 | アオサンゴ <i>Heliopora coerulea</i> | 2 |
| 鉢虫綱 Scyphozoa | | ウミエラ目 Pennatulacea | |
| ミズクラゲ目 Semaestomeae | | ヤナギウミエラ科 Virgulariidae | |
| ミズクラゲ科 Ulmaridae | | ヤナギウミエラ属の一種 <i>virgularia</i> sp. | 2 |
| ミズクラゲ <i>Aurelia</i> sp. | 30 | イソギンチャク目 Actiniaria | |
| ピゼンクラゲ目 Rhizostomeae | | カワリギンチャク科 Halcuriidae | |
| サカサクラゲ科 Cassiopeidae | | カワリギンチャク科の一種 Halcuriidae sp. | 22 |
| サカサクラゲ <i>Cassiopea ornata</i> | 4 | ウメボシイソギンチャク科 Actiniidae | |
| 花虫綱 Anthozoa | | タマイタダキイソギンチャク <i>Entacmaea ramsayi</i> | 10 |
| ウミトサカ目 Alcyonacea | | ハナブサイソギンチャク科 Actinodendronidae | |
| ウミトサカ科 Alcyoniidae | | ハナブサイソギンチャク <i>Actinodendron arboreum</i> | 2 |
| ウミトサカ属の一種 <i>Alcyonium</i> sp. | 3 | セトモノイソギンチャク科 Actinostolidae | |
| ウミイチゴ <i>Bellonella rubra</i> | 5 | フウセンイソギンチャク <i>Stomphia japonica</i> | 22 |
| ノウトサカ属の一種 <i>Cladiella</i> sp. | 2 | カザリイソギンチャク科 Aliciidae | |
| ヤマトサカ属の一種 <i>Klyxum</i> sp. | 9 | ウンバチイソギンチャク <i>Phyllo-discus semoni</i> | 1 |
| フトウネタケ <i>Lobophytum crassum</i> | 10 | ハタゴイソギンチャク科 Stichodactylidae | |
| ウネタケ属の一種 <i>Lobophytum</i> sp. | 30 | センジュイソギンチャク <i>Radianthus Ritteri</i> | 3 |
| ミナベトサカ <i>Minabea ozakii</i> | 3 | ハタゴイソギンチャク <i>Stichodactyla gigantea</i> | 4 |
| ミナベトサカ属の一種 <i>Minabea</i> sp. | 1 | イボハタゴイソギンチャク <i>Stichodactyla haddoni</i> | 1 |
| ウミキノコ属の一種 <i>Sarcophyton</i> sp. | 20 | アラビアハタゴイソギンチャク <i>Stichodactyla mertensii</i> | 1 |
| ヤナギカタサカ <i>Sinularia flexibilis</i> | 21 | クラゲイソギンチャク科 Actinoscyphiidae | |
| カタサカ属の一種 <i>Sinularia</i> sp. | 60 | クラゲイソギンチャク科の一種 Actinoscyphiidae sp. | 1 |
| チヂミトサカ科 Nephtheidae | | ヒダベリイソギンチャク科 Metridiidae | |
| トゲトサカ属の一種 <i>Dendronephthya</i> sp. | 4 | ヒダベリイソギンチャク科の一種 Metridiidae sp. | 1 |
| タイマツトサカ科 Nidaliidae | | イシサンゴ目 Scleractinia | |
| タイマツトサカ科の一種 <i>Chirononephthya</i> sp. | 9 | ムカシサンゴ科 Astrocoeniidae | |
| タイマツトサカ <i>Nidalia borongaensis</i> | 2 | ムカシサンゴ科の一種 Astrocoeniidae sp. | 1 |
| ウミアザミ科 Xenidae | | ハナヤサイサンゴ科 Pocilloporidae | |
| カンムリウミアザミ <i>Fangalal heimi</i> | 2 | ハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora damicornis</i> | 29 |
| ウミアザミ属の仲間 <i>Xenia</i> spp. | 5 | チリメンハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora meandrina</i> | 18 |
| ネジレヤギ科 Anthothelidae | | ヘラジカハナヤサイサンゴ <i>Pocillopora eydouxi</i> | 5 |
| ウツロヤギ属の一種 <i>Solenocaulon</i> sp. | 2 | シヨウガサンゴ <i>Stylophora pistillata</i> | 16 |
| ウスカワヤギ科 Briareidae | | ミドリイシ科 Acroporidae | |
| ムラサキハナツタ <i>Briareum violacea</i> | 9 | ウスコモンサンゴ <i>Montipora foliosa</i> | 3 |
| サンゴ科 Coralliidae | | コユビミドリイシ <i>Acropora digitifera</i> | 2 |
| モモイロサンゴ <i>Corallium elatius</i> | 3 | トゲマツミドリイシ <i>Acropora danai</i> | 3 |
| アカサンゴ <i>Paracorallium japonicum</i> | 3 | トゲスギミドリイシ <i>Acropora intermedia</i> | 3 |
| トゲヤギ科 Acanthogorgiidae | | スギノキミドリイシ <i>Acropora muricata</i> | 7 |
| ウミウチワ属の一種 <i>Acanthogorgia</i> sp. | 1 | ハイスギミドリイシ <i>Acropora acuminata</i> | 1 |
| トゲヤギ科の一種 Acanthogorgiidae sp. | 5 | コエダミドリイシ <i>Acropora microphthalmia</i> | 15 |
| ウチワヤギ科 Gorgoniidae | | ヤセミドリイシ <i>Acropora horrida</i> | 4 |
| ムレヤギ <i>Rumphella aggregata</i> | 3 | ウスエダミドリイシ <i>Acropora tenuis</i> | 3 |
| | | ミドリイシ属の一種 <i>Acropora paniculata</i> | 7 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|---|----|--|----|
| ハマサンゴ科 Poritidae | | ナガレサンゴ <i>Leptoria phrygia</i> | 1 |
| オオハマサンゴ <i>Porites solida</i> | 1 | ミダレナガレサンゴ <i>Leptoria irregularis</i> | 1 |
| フカアナハマサンゴ <i>Porites lobata</i> | 1 | タカクキクメイシ <i>Montastrea valenciennesi</i> | 2 |
| コブハマサンゴ <i>Porites lutea</i> | 1 | フカトゲキクメイシ <i>Cyphastrea serailia</i> | 1 |
| ユビエダハマサンゴ <i>Porites cylindrica</i> | 3 | エダトゲキクメイシ <i>Cyphastrea decadia</i> | 2 |
| ネグロスハマサンゴ <i>Porites negrosensis</i> | 1 | オオリュウキュウキッカサンゴ <i>Echinopora gemmacea</i> | 1 |
| ベニハマサンゴ <i>Porites lichen</i> | 2 | サザナミサンゴ科 Merulinidae | |
| アミメサンゴ科 Psammocoridae | | ウスサザナミサンゴ <i>Merulina scabricula</i> | 1 |
| ヤッコアミメサンゴ <i>Psammocora contigua</i> | 1 | ハナサンゴ科 Euphylliida | |
| ヒラフキササンゴ科 Agariciidae | | ミズタマサンゴ <i>Plerogyra sinuosa</i> | 3 |
| シコロサンゴ <i>Pavona decussata</i> | 3 | チョウジガイ科 Caryophylliidae | |
| コノハシコロサンゴ <i>Pavona frondifera</i> | 2 | ギンカサンゴ <i>Deltocyathus magnificus</i> | 6 |
| ハマシコロサンゴ <i>Pavona minuta</i> | 1 | アシナガサンゴ属の一種 <i>Stephanocyathus</i> sp. | 11 |
| シワリュウモンサンゴ <i>Pachyseris rugosa</i> | 1 | チョウジガイ科の仲間 Caryophylliidae spp. | 5 |
| イボリュウモンサンゴ <i>Pachyseris gemmae</i> | 1 | センスガイ科 Flabellidae | |
| クサビライシ科 Fungiidae | | センスガイ <i>Flabellum distinctum</i> | 3 |
| シタザラクサビライシ <i>Fungia fungites</i> | 3 | キササンゴ科 Dendrophylliidae | |
| ノコギリクサビライシ <i>Fungia valida</i> | 1 | ウネリスリバチサンゴ <i>Turbinaria frondens</i> | 2 |
| ヒラタクサビライシ <i>Fungia concinna</i> | 2 | イボヤギ <i>Tubastraea coccinea</i> | 14 |
| トゲクサビライシ <i>Ctenactis echinata</i> | 1 | キササンゴ科の仲間 Dendrophylliidae spp. | 7 |
| トゲクサビライシモドキ <i>Ctenactis crassa</i> | 2 | スナギンチャク目 Zoanthinaria | |
| キュウリイシ <i>Herpolitha limax</i> | 2 | ヤドリスナギンチャク科 Epizoanthidae | |
| イシナマコ <i>Polyphyllia talpina</i> | 12 | ヤドリカリスナギンチャク属の一種 <i>Epizoanthus</i> sp. | 1 |
| ヘルメットイシ <i>Sandalolitha robusta</i> | 3 | スナギンチャク科 Zoanthidae | |
| ヤエヤマカワラサンゴ <i>Podabacia crustacea</i> | 1 | タマイワスナギンチャク <i>Palythoa lesueuri</i> | 1 |
| クサビライシ科の一種 Fungiidae sp. | 1 | マメスナギンチャク属の一種 <i>Zoanthus</i> sp. | 3 |
| トゲコザラサンゴ科 Anthemiphylliidae | | スナギンチャク目の仲間 Zoanthinaria spp. | 9 |
| トゲコザラサンゴ <i>Anthemiphyllia dentata</i> | 2 | ホネナシサンゴ目 Corallimorpharia | |
| アザミサンゴ科 Galaxeidae | | ホネナシサンゴ科 Corallimorphidae | |
| アザミサンゴ <i>Galaxea fascicularis</i> | 10 | ホネナシサンゴ科の一種 Corallimorphidae sp. | 1 |
| ビワガラシ科 Oculinidae | | イソギンチャクモドキ科 Discosomatidae | |
| ビワガラシ属の一種 <i>Madrepora</i> sp. | 3 | イトイソギンチャクモドキ <i>Discosoma howesii</i> | 4 |
| ウミバラ科 Pectiniidae | | イソギンチャクモドキ <i>Discosoma nummiforme</i> | 1 |
| アバレキッカサンゴ <i>Echinophyllia orpheensis</i> | 2 | イソギンチャクモドキ科の一種 Discosomatidae sp. | 5 |
| ヒラキッカサンゴ <i>Echinophyllia echinata</i> | 2 | ツノサンゴ目 Antipatharia | |
| アナキッカサンゴ <i>Oxypora lacera</i> | 2 | ウミカラマツ科 Antipathidae | |
| オトゲサンゴ科 Mussidae | | ウミカラマツ属の一種 <i>Antipathes</i> sp. | 2 |
| アザミハナガタサンゴ <i>Scolymia vitiensis</i> | 1 | ムチカラマツ <i>Cirripathes anguina</i> | 40 |
| ヒラサンゴ <i>Australomussa rowleyensis</i> | 1 | ネジレカラマツ <i>Cirripathes spiralis</i> | 3 |
| ヒメオオトゲキクメイシ <i>Acanthastrea echinata</i> | 1 | ツノサンゴ目の一種 Aphanipathidae sp. | 1 |
| オオハナガタサンゴ <i>Lobophyllia hemprichii</i> | 12 | ハウチワツノサンゴ科 Schizopathidae | |
| マルハナガタサンゴ <i>Lobophyllia corymbosa</i> | 2 | ハウチワツノサンゴ科の一種 Schizopathidae sp. | 1 |
| パラオハナガタサンゴ <i>Lobophyllia hataii</i> | 1 | | |
| ホソダイノウサンゴ <i>Symphyllia recta</i> | 2 | 棘皮動物門 Echinodermata | |
| ヒロクチダイノウサンゴ <i>Symphyllia agaricia</i> | 1 | ウミユリ綱 Crinoidea | |
| ハナガタサンゴ <i>Symphyllia valenciennesii</i> | 2 | ゴカクウミユリ目 Isocrinida | |
| ダイオウサンゴ科 Diploastraeidae | | ゴカクウミユリ科 Isocrinidae | |
| ダイオウサンゴ <i>Diploastrea heliopora</i> | 3 | トリノアシ <i>Metacrinus rotundus</i> | 2 |
| キクメイシ科 Faviidae | | オオウミユリ <i>Saracrinus nobilis</i> | 1 |
| エダイボサンゴ <i>Hydnophora rigida</i> | 1 | ウミシダ目 Comatulida | |
| トゲイボサンゴ <i>Hydnophora exesa</i> | 2 | クシウミシダ科 Comasteridae | |
| ウスチャキクメイシ <i>Favia pallida</i> | 5 | ハナウミシダ <i>Comanthina nobilis</i> | 12 |
| キクメイシ <i>Faiva speciosa</i> | 5 | コアシウミシダ <i>Comanthus parvicirrus</i> | 2 |
| スボミキクメイシ <i>Favia fava</i> | 2 | オオウミシダ科 Tropiometridae | |
| アザミキクメイシ <i>Favia danae</i> | 2 | オオウミシダ <i>Tropiometra afra macrodiscus</i> | 5 |
| パリカメノコキクメイシ <i>Goniastrea aspera</i> | 5 | | |
| ノウサンゴ <i>Platygyra lamellina</i> | 3 | | |
| ヒメノウサンゴ <i>Platygyra pini</i> | 2 | | |

| 和名 | 学名 | |
|-------------|--------------------------------------|----|
| ヒトデ綱 | Asteroidea | |
| ウデボソヒトデ目 | Brsingida | |
| シワウデボソヒトデ科 | Brnsingidae | |
| ヒグルマヒトデ属の一種 | <i>Novodinia</i> sp. | 2 |
| マヒトデ目 | Forcipulatida | |
| タコヒトデ科 | Labidiasteridae | |
| カンムリヒトデ | <i>Coronaster volsellatus</i> | 2 |
| ヒメヒトデ目 | Spinulosida | |
| ヒメヒトデ科 | Echinasteridae | |
| ルソンヒトデ | <i>Echinaster luzonicus</i> | 10 |
| アカヒトデ目 | Valvatida | |
| イトマキヒトデ科 | Asterinidae | |
| サメハダヒトデ属の一種 | <i>Nepanthia</i> sp. | 1 |
| ゴカクヒトデ科 | Goniasteridae | |
| ゴカクヒトデ科の一種 | Goniasteridae sp. | 7 |
| ホウキボシ科 | Ophidiasteridae | |
| アミメジュズベリヒトデ | <i>Fromia indica</i> | 1 |
| ジュズベリヒトデ | <i>Fromia monilis</i> | 14 |
| オキアカヒトデ | <i>Heteronardoa diamantinae</i> | 1 |
| アオヒトデ | <i>Linckia laevigata</i> | 33 |
| ゴマフヒトデ | <i>Linckia multifora</i> | 10 |
| アライボヒトデ | <i>Gomophia frianti</i> | 2 |
| イボヒトデ | <i>Nardoa tuberculata</i> | 3 |
| アカモンヒトデ | <i>Neoferdina cumingi</i> | 6 |
| ホウキボシ科の一種 | Ophidiasteridae sp. | 4 |
| ノコギリヒトデ科 | Asteropsidae | |
| ノコギリヒトデ | <i>Asteropsis carinifera</i> | 2 |
| ナンカイヒトデ科 | Asterodiscidae | |
| ヤマトナンカイヒトデ | <i>Asterodiscides japonicus</i> | 1 |
| コブヒトデ科 | Oreasteridae | |
| カワテブクロ | <i>Choriaster granulatus</i> | 3 |
| マンジュウヒトデ | <i>Culcita novaeguineae</i> | 30 |
| アワユキヒトデ | <i>Gymnanthenea globigera</i> | 4 |
| コブヒトデモドキ | <i>Pentacaster alveolatus</i> | 2 |
| コブヒトデ | <i>Protoreaster nodosus</i> | 30 |
| ヒョウモンカワテブクロ | <i>Pentaster obtusatus</i> | 2 |
| オニヒトデ科 | Acanthasteridae | |
| オニヒトデ | <i>Acanthaster planci</i> | 4 |
| クモヒトデ綱 | Ophiuridea | |
| ツルクモヒトデ目 | Euryalida | |
| テヅルモヅル科 | Gorgonocephalidae | |
| セノテヅルモヅル | <i>Astrocladus confiferus</i> | 5 |
| テヅルモヅル科の一種 | Gorgonocephalidae sp. | 1 |
| クモヒトデ目 | Ophiurida | |
| トゲクモヒトデ科 | Ophiotrichidae | |
| トゲクモヒトデ科の一種 | Ophiotrichidae sp. | 2 |
| クモヒトデ目の一種 | Ophiurida sp. | 8 |
| ウニ綱 | Echinoidea | |
| オウサマウニ目 | Cidaroida | |
| オウサマウニ科 | Cidaridae | |
| ミカドウニ | <i>Goniocidaris mikado</i> | 1 |
| ヤマトオウサマウニ | <i>Stereocidaris sceptriferoides</i> | 6 |
| オウサマウニ科の一種 | Cidaridae sp. | 2 |
| フクロウニ目 | Echinothuroidea | |
| フクロウニ科 | Echinothuriidae | |
| フクロウニ科の仲間 | Echinothuriidae spp. | 8 |

| 和名 | 学名 | |
|-------------|-------------------------------------|----|
| ガンガゼ目 | Diadematoidea | |
| ガンガゼ科 | Diademataidae | |
| ガンガゼ | <i>Diadema setosum</i> | 7 |
| トックリガンガゼモドキ | <i>Echinothrix calamaris</i> | 2 |
| ホンウニ目 | Echinoida | |
| ラッパウニ科 | Toxopneustidae | |
| シラヒゲウニ | <i>Tripneustes gratilla</i> | 9 |
| ナガウニ科 | Echinometridae | |
| ナガウニ | <i>Echinometra mathaei</i> | 8 |
| パイブウニ | <i>Heterocentrotus mammillatus</i> | 6 |
| ナマコ綱 | Holothuroidea | |
| マナマコ目 | Aspidochirotda | |
| クロナマコ科 | Holothuriidae | |
| オオクロシカクナマコ | <i>Actinopyga</i> sp. | 3 |
| オオクイロナマコ | <i>Actinopyga</i> sp. | 2 |
| ジャンメナマコ | <i>Bohadschia argus</i> | 12 |
| クロエリナマコ | <i>Bohadschia graeffei</i> | 5 |
| チズナマコ | <i>Bohadschia vitiensis</i> | 1 |
| アカミシキリ | <i>Holothuria edulis</i> | 4 |
| ニセクロナマコ | <i>Holothuria leucospirota</i> | 58 |
| クロナマコ科の一種 | Holothuriidae sp. | 3 |
| シカクナマコ科 | Stichopodidae | |
| オキナマコ | <i>Parastichopus nigripunctatus</i> | 3 |
| ヨコスジオオナマコ | <i>Stichopus hermanni</i> | 1 |
| パイカナマコ | <i>Thelenota ananas</i> | 5 |
| アデヤカパイカナマコ | <i>Thelenota anax</i> | 5 |
| ナマコ綱の一種 | Holothuroidea sp. | 8 |
| 脊索動物門 | Chordata | |
| ヌタウナギ綱 | Myxini | |
| ヌタウナギ目 | Mixiniiformes | |
| ヌタウナギ科 | Myxinidae | |
| ムラサキヌタウナギ | <i>Eptatretus okinoseanus</i> | 8 |
| 軟骨魚綱 | Chondrichthyes | |
| ネコザメ目 | Heterodontiformes | |
| ネコザメ科 | Heterodontidae | |
| ネコザメ | <i>Heterodontus japonicus</i> | 3 |
| テンジクザメ目 | Orectolobiformes | |
| テンジクザメ科 | Hemiscylliidae | |
| イヌザメ | <i>Chiloscyllium punctatum</i> | 4 |
| ジンバエザメ科 | Rhinochordontidae | |
| トラフザメ | <i>Stegostoma fasciatum</i> | 9 |
| オオテンジクザメ | <i>Nebrius ferrugineus</i> | 13 |
| ジンバエザメ | <i>Rhincodon typus</i> | 5 |
| メジロザメ目 | Carcharhiniformes | |
| トラザメ科 | Scyliorhinidae | |
| イモリザメ | <i>Parmaturus pilosus</i> | 7 |
| ハシナガヤモリザメ | <i>Galeus longirostris</i> | 1 |
| ナガサキトラザメ | <i>Halaelurus buergeri</i> | 5 |
| ナヌカザメ | <i>Cephaloscyllium umbratile</i> | 3 |
| トラザメ | <i>Scyliorhinus torazame</i> | 24 |
| ドチザメ科 | Triakidae | |
| ヒョウザメ | <i>Proscyllium venustum</i> | 6 |
| ホンザメ | <i>Mustelus manazo</i> | 2 |
| メジロザメ科 | Carcharinidae | |
| イタチザメ | <i>Galeocerdo cuvier</i> | 2 |
| ネムリブカ | <i>Triaenodon obesus</i> | 6 |
| レモンザメ | <i>Negaprion acutidens</i> | 11 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|--|----|---|-----|
| オオメジロザメ <i>Carcharhinus leucas</i> | 4 | ウミヘビ科 Ophichthidae | |
| ヤジブカ <i>Carcharhinus plumbeus</i> | 6 | スソウミヘビ <i>Ophichthus urolophus</i> | 1 |
| ツノザメ目 Squaliformes | | アナゴ科 Congridae | |
| ツノザメ科 Squalidae | | クロナナゴ属の一種 <i>Conger</i> sp. | 2 |
| ヒゲツノザメ <i>Cirrhigaleus barbifer</i> | 1 | チンアナゴ <i>Heteroconger hassi</i> | 186 |
| ツマリツノザメ <i>Squalus brevirostris</i> | 3 | ニシキアナゴ <i>Gorgasia preclara</i> | 20 |
| フトツノザメ <i>Squalus mitsukurii</i> | 2 | コイ目 Cypriniformes | |
| カスザメ目 Squatiniformes | | コイ科 Cyprinidae | |
| カスザメ科 Squatinidae | | フナ属の仲間 <i>Carassius</i> spp. | 12 |
| カスザメ <i>Squatina japonica</i> | 1 | ドジョウ科 Cobitidae | |
| ノコギリザメ目 Pristiophoriformes | | ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i> | 4 |
| ノコギリザメ科 Pristiophoridae | | ナマズ目 Siluriformes | |
| ノコギリザメ <i>Pristiophorus japonicus</i> | 3 | ナマズ科 Clariidae | |
| トンガリサカタザメ目 Rhynchobatiformes | | ヒレナマズ <i>Clarias fuscus</i> | 1 |
| トンガリサカタザメ科 Rhynchobatidae | | ゴンズイ科 Plotosidae | |
| シノノメサカタザメ <i>Rhina ancylostoma</i> | 1 | ゴンズイ <i>Plotosus japonicus</i> | 70 |
| シノノメサカタザメ科 Rhynchobatidae | | サケ目 Salmoniformes | |
| トンガリサカタザメ <i>Rhynchobatus djiddensis</i> | 3 | アユ科 Plecoglossidae | |
| サカタザメ目 Rhinobatiformes | | リュウキュウアユ <i>Plecoglossus altivelis ryukyensis</i> | 51 |
| ウチワザメ科 Platyrrhinidae | | ヒメ目 Aulopiformes | |
| ウチワザメ <i>Platyrrhina tangi</i> | 7 | ヒメ科 Aulopidae | |
| ガンギエイ目 Rajiformes | | ハタタテヒメ <i>Aulopus</i> sp. | 2 |
| ガンギエイ科 Rajidae | | アンコウ目 Lophiiformes | |
| ガンギエイ科の一種 <i>Rajidae</i> sp. | 3 | カエルアンコウ科 Antennariidae | |
| トビエイ目 Myliobatiformes | | カエルアンコウ <i>Antennarius striatus</i> | 2 |
| アカエイ科 Dasyatidae | | アカグツ科 Ogocephalidae | |
| イバラエイ <i>Urogymnus asperrimus</i> | 3 | ワヌケフウリュウウオ <i>Malthopsis annulifera</i> | 3 |
| オグロオトメエイ <i>Himantura fai</i> | 8 | ゴマフウリュウウオ <i>Malthopsis tiarella</i> | 1 |
| ヒョウモンオトメエイ <i>Himantura uarnak</i> | 13 | キンメダイ目 Beryciformes | |
| ヤッコエイ <i>Neotrygon kuhlii</i> | 1 | イトウダイ科 Holocentridae | |
| ウシエイ <i>Dasyatis</i> sp. | 4 | トガリエビス <i>Sargocentron spiniferum</i> | 1 |
| トビエイ科 Myliobatidae | | クラカケエビス <i>Sargocentron caudimaculatum</i> | 1 |
| ウシバナトビエイ <i>Rhinoptera javanica</i> | 89 | スミツキカノコ <i>Sargocentron melanospilos</i> | 1 |
| マダラトビエイ <i>Aetobatus narinari</i> | 18 | アヤメエビス <i>Sargocentron rubrum</i> | 4 |
| ナンヨウマンタ <i>Manta alfredi</i> | 7 | ウケグチイトウダイ <i>Neoniphon sammara</i> | 5 |
| 硬骨魚綱 Osteichthyes | | エビスダイ <i>Ostichthys japonicus</i> | 2 |
| カライワシ目 Elopiformes | | カイエビス <i>Ostichthys kaianus</i> | 3 |
| カライワシ科 Elopidae | | クロオビマツカサ <i>Myripristis kumtee</i> | 10 |
| カライワシ <i>Elops hawaiiensis</i> | 4 | キビレマツカサ <i>Myripristis chryseres</i> | 2 |
| イセゴイ科 Megalopidae | | アカマツカサ <i>Myripristis berndti</i> | 45 |
| イセゴイ <i>Megalops cyprinoides</i> | 4 | ヒウチダイ科 Trachichthyidae | |
| ウナギ目 Anguilliformes | | ハシキンメ <i>Gephyroberyx japonicus</i> | 9 |
| ウナギ科 Anguillidae | | マツカサウオ科 Monocentridae | |
| オオウナギ <i>Anguilla marmorata</i> | 2 | マツカサウオ <i>Monocentris japonica</i> | 17 |
| ウツボ科 Muraenidae | | マツカサウオ科の一種 <i>Cleidopus gloriamaris</i> | 4 |
| キカイウツボ亜科の一種 <i>Channomuraena vittata</i> | 1 | ヒカリキンメ科 Anomalopidae | |
| ゼブラウツボ <i>Gymnomuraena zebra</i> | 1 | ヒカリキンメダイ <i>Anomalops katoptron</i> | 95 |
| オキノシマウツボ <i>Gymnothorax ypsilon</i> | 1 | タウナギ目 Synbranchiformes | |
| ハワイウツボ <i>Gymnothorax berndti</i> | 1 | タウナギ科 Synbranchidae | |
| アミウツボ <i>Gymnothorax reticularis</i> | 1 | タウナギ <i>Monopterus albus</i> | 3 |
| ミンレウツボ <i>Gymnothorax neglectus</i> | 4 | トゲウオ目 Gasterosteiformes | |
| ウツボ <i>Gymnothorax kidako</i> | 1 | ウミテング科 Pegasidae | |
| ユリウツボ <i>Gymnothorax prionodon</i> | 1 | ウミテング <i>Eurypegasus draconis</i> | 1 |
| ニセゴイシウツボ <i>Gymnothorax isingteena</i> | 2 | ヤガラ科 Fistulariidae | |
| ヘリゴイシウツボ <i>Gymnothorax fimbriatus</i> | 1 | アオヤガラ <i>Fistularia commersonii</i> | 1 |
| ホラアナゴ科 Synaphobranchidae | | サギフエ科 Macroramphosidae | |
| ヒレジロアナゴ <i>Meadia abyssalis</i> | 4 | サギフエ <i>Macroramphosus sagifue</i> | 1 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|---|-----|---|-----|
| ハコアユ科 <i>Centriscidae</i> | | クエ <i>Epinephelus bruneus</i> | 1 |
| ヘコアユ <i>Aeoliscus strigatus</i> | 100 | カスリハタ <i>Epinephelus tukula</i> | 2 |
| ヨウジウオ科 <i>Syngnathidae</i> | | ヤイトハタ <i>Epinephelus malabaricus</i> | 1 |
| イッセンヨウジ <i>Microphis leiaspis</i> | 1 | チャイロマルハタ <i>Epinephelus coioides</i> | 1 |
| オイランヨウジ <i>Doryrhamphus dactyliophorus</i> | 2 | シロブチハタ <i>Epinephelus maculatus</i> | 4 |
| クロウミウマ <i>Hippocampus kuda</i> | 40 | カンモンハタ <i>Epinephelus merra</i> | 9 |
| ボラ目 <i>Mugiliformes</i> | | ルリハタ <i>Aulacocephalus temmincki</i> | 1 |
| ボラ科 <i>Mugilidae</i> | | トゲハナスズキ <i>Liopropoma japonicum</i> | 1 |
| オニボラ <i>Ellochelon vaigiensis</i> | 4 | パラスズキ <i>Liopropoma aragai</i> | 2 |
| ダツ目 <i>Beloniformes</i> | | アゴハタ <i>Pogonoperca punctata</i> | 1 |
| メダカ科 <i>Adrianichthyidae</i> | | タナバタウオ科 <i>Plesiopidae</i> | |
| ミナミメダカ <i>Oryzias latipes</i> | 170 | シモフリタナバタウオ <i>Calloplesiops altivelis</i> | 1 |
| サヨリ科 <i>Hemiramphidae</i> | | チョウセンバカマ科 <i>Banjosidae</i> | |
| センニンサヨリ <i>Hyporhamphus quoyi</i> | 5 | チョウセンバカマ <i>Banjos banjos</i> | 1 |
| スズキ目 <i>Perciformes</i> | | キントキダイ科 <i>Pricanthidae</i> | |
| メバル科 <i>Sebastidae</i> | | チカメキントキ <i>Cookeolus japonicus</i> | 2 |
| ユメカサゴ <i>Helicolenus hilgendorfi</i> | 1 | オキナワククルマダイ <i>Pristigenys meyeri</i> | 1 |
| フサカサゴ科 <i>Scorpaenidae</i> | | クルマダイ <i>Pristigenys nipponia</i> | 1 |
| ハナミノカサゴ <i>Pterois volitans</i> | 4 | テンジクダイ科 <i>Apogonidae</i> | |
| ネッタイミノカサゴ <i>Pterois antennata</i> | 1 | ホソスジマンジュウイシモチ <i>Sphaeramia orbicularis</i> | 30 |
| キリンミノ <i>Dendrochirus zebra</i> | 2 | アトヒキテンジクダイ <i>Archamia macroptera</i> | 400 |
| オニカサゴ <i>Scorpaenopsis cirrosa</i> | 1 | イトヒキテンジクダイ <i>Zoramia leptacantha</i> | 130 |
| ニライカサゴ <i>Scorpaenopsis diabolus</i> | 3 | ウスモモテンジクダイ <i>Zoramia viridiventer</i> | 30 |
| サツマカサゴ <i>Scorpaenopsis neglecta</i> | 2 | サンギルイシモチ <i>Apogon sangiensis</i> | 15 |
| イズカサゴ <i>Scorpaena neglecta</i> | 1 | キツネアマダイ科 <i>Malacanthidae</i> | |
| オニオコゼ科 <i>Synanceiidae</i> | | ヤセアマダイ <i>Malacanthus brevisrostris</i> | 2 |
| オニダルマオコゼ <i>Synanceia verrucosa</i> | 5 | オキナワサンゴアマダイ <i>Hoplolatilus cuniculus</i> | 1 |
| ヒレナガカサゴ科 <i>Neosebastidae</i> | | ムツ科 <i>Scombropidae</i> | |
| ヒレナガカサゴ <i>Neosebastes entaxis</i> | 3 | クロムツ <i>Scombrops gilberti</i> | 14 |
| ハリゴチ科 <i>Hoplichthyidae</i> | | コバンザメ科 <i>Echeneidae</i> | |
| ソコハリゴチ <i>Hoplichthys gilberti</i> | 1 | コバンザメ <i>Echeneis naucrates</i> | 2 |
| セミホウボウ科 <i>Dactylopteridae</i> | | シイラ科 <i>Coryphaenidae</i> | |
| セミホウボウ <i>Dactyloptena orientalis</i> | 2 | シイラ <i>Coryphaena hippurus</i> | 9 |
| ホタルジャコ科 <i>Acropomatidae</i> | | アジ科 <i>Carangidae</i> | |
| ナガオオメハタ <i>Malakichthys elegans</i> | 1 | ツムブリ <i>Elagatis bipinnulata</i> | 10 |
| ハタ科 <i>Serranidae</i> | | ヒレナガカンパチ <i>Seriola rivoliana</i> | 1 |
| アカイサキ <i>Caprodon schlegelii</i> | 1 | カンパチ <i>Seriola dumerili</i> | 6 |
| ニシキハナダイ <i>Plectranthias sagamiensis</i> | 2 | イケカツオ <i>Scomberoides lysan</i> | 2 |
| スミツキハナダイ属の一種 <i>Plectranthias sagamiensis</i> | 1 | マルコバン <i>Trachinotus blochii</i> | 20 |
| バラハナダイ <i>Odontanthias katayamai</i> | 6 | ムロアジ <i>Decapterus muroadsi</i> | 29 |
| マダラハナダイ <i>Odontanthias borbonius</i> | 13 | メアジ <i>Selar crumenophthalmus</i> | 30 |
| キンギョハナダイ <i>Pseudanthias squamipinnis</i> | 598 | ホソヒラアジ <i>Selaroides leptolepis</i> | 119 |
| スミレナガハナダイ <i>Pseudanthias pleurotaenia</i> | 3 | マブタシマアジ <i>Alepes vari</i> | 4 |
| アカネハナゴイ <i>Pseudanthias dispar</i> | 321 | イトヒキアジ <i>Alectis ciliaris</i> | 1 |
| ハナゴイ <i>Pseudanthias pascalus</i> | 297 | ウマヅラアジ <i>Alectis indica</i> | 5 |
| スジアラ <i>Plectropomus leopardus</i> | 4 | カスミアジ <i>Caranx melampygus</i> | 53 |
| コクハンアラ <i>Plectropomus laevis</i> | 1 | ギンガメアジ <i>Caranx sexfasciatus</i> | 32 |
| アオノメハタ <i>Cephalopholis argus</i> | 1 | ロウニンアジ <i>Caranx ignobilis</i> | 19 |
| シマハタ <i>Cephalopholis igarashiensis</i> | 1 | オニヒラアジ <i>Caranx papuensis</i> | 14 |
| ニジハタ <i>Cephalopholis urodeta</i> | 23 | インドオキアジ <i>Uraspis uraspis</i> | 8 |
| アザハタ <i>Cephalopholis sonnerati</i> | 1 | コガネシマアジ <i>Gnathanodon speciosus</i> | 22 |
| ユカタハタ <i>Cephalopholis miniata</i> | 1 | シマアジ <i>Pseudocaranx dentex</i> | 7 |
| タマカイ <i>Epinephelus lanceolatus</i> | 3 | イトヒラアジ <i>Carangichthys dinema</i> | 2 |
| アカハタモドキ <i>Epinephelus retouti</i> | 1 | クロヒラアジ <i>Carangoides ferdau</i> | 1 |
| ツチホゼリ <i>Epinephelus cyanopodus</i> | 1 | ナンヨウカイワリ <i>Carangoides orthogrammus</i> | 1 |
| ホウキハタ <i>Epinephelus morrhuia</i> | 2 | ホシカイワリ <i>Carangoides fulvoguttatus</i> | 6 |
| ナミハタ <i>Epinephelus ongus</i> | 1 | リュウキュウヨロイアジ <i>Carangoides hedlandensis</i> | 50 |
| アカハタ <i>Epinephelus fasciatus</i> | 15 | マルヒラアジ <i>Carangoides coeruleopinnatus</i> | 5 |

| | | | |
|---|-------|--|-----|
| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
| ハチビキ科 Emmelichthyidae | | ハタンボ科 Pempheridae | |
| ハチビキ <i>Erythrocles schlegelii</i> | 6 | キンメモドキ <i>Parapriacanthus ransonneti</i> | 200 |
| ロウソクチビキ <i>Emmelichthys struhsakeri</i> | 1 | ツماغロハタンボ <i>Pempheris japonica</i> | 100 |
| フエダイ科 Lutjanidae | | ミナミハタンボ <i>Pempheris schwenkii</i> | 400 |
| マダラタルミ <i>Macolor niger</i> | 1 | ヒメツバメウオ科 Monodactylidae | |
| ロクセンフエダイ <i>Lutjanus quinquelineatus</i> | 5 | ヒメツバメウオ <i>Monodactylus argenteus</i> | 18 |
| ヨスジフエダイ <i>Lutjanus kasmira</i> | 57 | テッポウウオ科 Toxotidae | |
| ゴマフエダイ <i>Lutjanus argentimaculatus</i> | 1 | テッポウウオ <i>Toxotes jaculatrix</i> | 5 |
| タテフエダイ <i>Lutjanus vitta</i> | 2 | チョウチョウウオ科 Chaetodontidae | |
| アミメフエダイ <i>Lutjanus decussatus</i> | 1 | ツノハタタテダイ <i>Heniochus varius</i> | 2 |
| フエダイ <i>Lutjanus stellatus</i> | 1 | ミナミハタタテダイ <i>Heniochus chrysostomus</i> | 3 |
| ヒメフエダイ <i>Lutjanus gibbus</i> | 48 | オニハタタテダイ <i>Heniochus monoceros</i> | 5 |
| パラフエダイ <i>Lutjanus bohar</i> | 3 | シマハタタテダイ <i>Heniochus singularius</i> | 1 |
| イッテンフエダイ <i>Lutjanus monostigma</i> | 1 | ハタタテダイ <i>Heniochus acuminatus</i> | 1 |
| オキフエダイ <i>Lutjanus fulvus</i> | 1 | ムレハタタテダイ <i>Heniochus diphreutes</i> | 7 |
| イトヒキフエダイ <i>Symphorus nematophorus</i> | 1 | フエヤッコダイ <i>Forcipiger flavissimus</i> | 20 |
| ハチジョウアカムツ <i>Etelis carbunculus</i> | 6 | カシミチヨウチョウウオ <i>Hemitaurichthys polylepis</i> | 4 |
| ハマダイ <i>Etelis coruscans</i> | 8 | トンブソソチヨウチョウウオ <i>Hemitaurichthys thompsoni</i> | 1 |
| アオチビキ <i>Aprion virescens</i> | 1 | ヤリカタギ <i>Chaetodon trifascialis</i> | 8 |
| シマアオダイ <i>Paracaesio kusakarii</i> | 2 | スミツキトノサマダイ <i>Chaetodon plebeius</i> | 10 |
| アオダイ <i>Paracaesio caerulea</i> | 3 | セグロチヨウチョウウオ <i>Chaetodon ephippium</i> | 2 |
| ハナフエダイ <i>Pristipomoides argyrogrammicus</i> | 1 | トゲチヨウチョウウオ <i>Chaetodon auriga</i> | 23 |
| オオヒメ <i>Pristipomoides filamentosus</i> | 1 | ウミツキチヨウチョウウオ <i>Chaetodon bennetti</i> | 5 |
| ヒメダイ <i>Pristipomoides sieboldii</i> | 10 | トノサマダイ <i>Chaetodon speculum</i> | 2 |
| タカサゴ科 Caesionidae | | ミカドチヨウチョウウオ <i>Chaetodon baronessa</i> | 1 |
| ササムロ <i>Caesio caeruleaurea</i> | 111 | チヨウハン <i>Chaetodon lunula</i> | 2 |
| ユメウメイロ <i>Caesio cuning</i> | 81 | ハクテンカタギ <i>Chaetodon reticulatus</i> | 2 |
| ウメイロモドキ <i>Caesio teres</i> | 725 | カガミチヨウチョウウオ <i>Chaetodon argentatus</i> | 1 |
| クマササハナムロ <i>Pterocaesio tile</i> | 250 | フウライチヨウチョウウオ <i>Chaetodon vagabundus</i> | 13 |
| タカサゴ <i>Pterocaesio digramma</i> | 2,592 | ミスジチヨウチョウウオ <i>Chaetodon lunulatus</i> | 15 |
| イサキ科 Haemulidae | | ニセフウライチヨウチョウウオ <i>Chaetodon lineolatus</i> | 2 |
| チヨウチヨウコシヨウダイ <i>Plectorhinchus chaetodonoides</i> | 2 | アケボノチヨウチョウウオ <i>Chaetodon melannotus</i> | 1 |
| アヤコシヨウダイ <i>Plectorhinchus lineatus</i> | 1 | アミチヨウチョウウオ <i>Chaetodon rafflesi</i> | 1 |
| ヒレグロコシヨウダイ <i>Plectorhinchus lessonii</i> | 2 | チヨウチヨウウオ <i>Chaetodon auripes</i> | 39 |
| イトヨリダイ科 Nemipteridae | | ミゾレチヨウチョウウオ <i>Chaetodon kleinii</i> | 4 |
| キツネウオ <i>Pentapodus caninus</i> | 9 | ゴマチヨウチョウウオ <i>Chaetodon citrinellus</i> | 3 |
| タマガシラ <i>Parascalopsis inermis</i> | 2 | ユウゼン <i>Chaetodon daedalma</i> | 1 |
| アカタマガシラ <i>Parascalopsis eriomma</i> | 1 | キンチャクダイ科 Pomacanthidae | |
| フタスジタマガシラ <i>Scolopsis bilineata</i> | 3 | アデヤッコ <i>Pomacanthus xanthometopon</i> | 2 |
| ヨコシマタマガシラ <i>Scolopsis lineata</i> | 2 | サザナミヤッコ <i>Pomacanthus semicirculatus</i> | 2 |
| タイ科 Sparidae | | タデジマキンチャクダイ <i>Pomacanthus imperator</i> | 1 |
| タイワンダイ <i>Argyrops bleekeri</i> | 1 | チリメンヤッコ <i>Chaetodontoplus mesoleucus</i> | 1 |
| フエフキダイ科 Lethrinidae | | ニシキヤッコ <i>Pygoplites diacanthus</i> | 2 |
| ノコギリダイ <i>Gnathodentex aureolineatus</i> | 15 | レンテンヤッコ <i>Centropyge interrupta</i> | 1 |
| シロダイ <i>Gymnocranius euanus</i> | 5 | ヒレナガヤッコ <i>Genicanthus watanabei</i> | 1 |
| タマメイチ <i>Gymnocranius sp.</i> | 2 | カワビシャ科 Pentacerotidae | |
| メイチダイ <i>Gymnocranius griseus</i> | 4 | ツボダイ <i>Pentaceros japonicus</i> | 18 |
| サザナミダイ <i>Gymnocranius grandoculis</i> | 1 | ゴンベ科 Cirrhitidae | |
| イトフエフキ <i>Lethrinus genivittatus</i> | 1 | メガネゴンベ <i>Paracirrhites arcatus</i> | 1 |
| ハマフエフキ <i>Lethrinus nebulosus</i> | 20 | クダゴンベ <i>Oxycirrhites typus</i> | 2 |
| ハナフエフキ <i>Lethrinus ornatus</i> | 1 | タカノハダイ科 Cheilodactylidae | |
| キツネフエフキ <i>Lethrinus olivaceus</i> | 7 | タカノハダイ <i>Goniistius zonatus</i> | 3 |
| オオフエフキ <i>Lethrinus microdon</i> | 2 | カワスズメ科 Cichlidae | |
| ホオアカクチビ <i>Lethrinus rubrioperculatus</i> | 14 | カワスズメ <i>Oreochromis mossambicus</i> | 1 |
| ヒメジ科 Mullidae | | ナイルティラピア <i>Oreochromis niloticus</i> | 2 |
| オジサン <i>Parupeneus multifasciatus</i> | 57 | コンビクトシクリッド <i>Amatitlania nigrofasciata</i> | 16 |
| リュウキキュウヒメジ <i>Parupeneus pleurostigma</i> | 9 | スズメダイ科 Pomacentridae | |
| タカサゴヒメジ <i>Parupeneus heptacanthus</i> | 2 | ハナビラクマノミ <i>Amphiprion perideraion</i> | 2 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|--|-------|--|----|
| ハマクマノミ <i>Amphiprion frenatus</i> | 20 | イチモンジブダイ <i>Scarus forsteni</i> | 1 |
| クマノミ <i>Amphiprion clarkii</i> | 1 | スジブダイ <i>Scarus rivulatus</i> | 2 |
| キホシスズメダイ <i>Chromis flavomaculatus</i> | 165 | ヒブダイ <i>Scarus ghobban</i> | 1 |
| トウカイスズメダイ <i>Chromis mirationis</i> | 4 | ニシキブダイ <i>Scarus prasiognathos</i> | 1 |
| アマミスズメダイ <i>Chromis chrysurus</i> | 24 | トラギス科 <i>Pinguipedidae</i> | |
| デバスズメダイ <i>Chromis viridis</i> | 2,000 | オグロトラギス <i>Parapercis pacifica</i> | 6 |
| アオバスズメダイ <i>Chromis atripectoralis</i> | 71 | サンゴトラギス <i>Parapercis multiplicata</i> | 1 |
| ミスジリュウキュウスズメダイ <i>Dascyllus aruanus</i> | 83 | イソギンボ科 <i>Blenniidae</i> | |
| シマスズメダイ <i>Abudefduf sordidus</i> | 2 | カモハラギンボ <i>Meiacanthus kamoharai</i> | 8 |
| ロクセンスズメダイ <i>Abudefduf sexfasciatus</i> | 60 | ウナギギンボ <i>Xiphasia setifer</i> | 1 |
| オヤビッチャ <i>Abudefduf vaigiensis</i> | 15 | ウバウオ科 <i>Gobiesocidae</i> | |
| ルリスズメダイ <i>Chrysiptera cyanea</i> | 138 | ハシナガウバウオ <i>Diademichthys lineatus</i> | 3 |
| クラカオスズメダイ <i>Amblyglyphidodon curacao</i> | 272 | ネズボ科 <i>Callionymidae</i> | |
| ヒレナガスズメダイ <i>Neoglyphidodon nigroris</i> | 3 | ニシキテグリ <i>Pterosynchiropus splendidus</i> | 1 |
| リボンズズメダイ <i>Neopomacentrus taeniurus</i> | 7 | コウワンテグリ <i>Neosynchiropus ocellatus</i> | 1 |
| ニセネッタイスズメダイ <i>Pomacentrus amboinensis</i> | 17 | ツバサハゼ科 <i>Rhyacichthyidae</i> | |
| クロソラスズメダイ <i>Stegastes nigricans</i> | 1 | ツバサハゼ <i>Rhyacichthys aspro</i> | 2 |
| ユゴイ科 <i>Kuhliidae</i> | | カワアナゴ科 <i>Eleotridae</i> | |
| ギンユゴイ <i>Kuhlia mugil</i> | 24 | タナゴモドキ <i>Hypseleotris cyprinoides</i> | 40 |
| オオクチュユゴイ <i>Kuhlia rupestris</i> | 2 | タトモハゼ <i>Ophieleotris</i> sp.1 | 6 |
| メジナ科 <i>Girellidae</i> | | ゴシキタトモハゼ <i>Ophieleotris</i> sp.2 | 1 |
| オキナメジナ <i>Girella mezinga</i> | 3 | ハゼ科 <i>Gobiidae</i> | |
| イボダイ科 <i>Centrolophidae</i> | | ナンヨウボウズハゼ <i>Stiphodon percnopterygionus</i> | 1 |
| メダイ <i>Hyperoglyphe japonica</i> | 2 | サラサハゼ <i>Amblygobius phalaena</i> | 8 |
| ベラ科 <i>Labridae</i> | | キイロサンゴハゼ <i>Gobiodon okinawae</i> | 6 |
| クラカケベラ <i>Choerodon jordani</i> | 2 | コバンハゼ <i>Gobiodon</i> sp. | 5 |
| シロクラベラ <i>Choerodon schoenleinii</i> | 4 | クモハゼ <i>Bathygobius fuscus</i> | 10 |
| アカホシキツネベラ <i>Bodianus rubrisos</i> | 1 | ヒラヨシノボリ <i>Rhinogobius</i> sp. DL | 8 |
| ヒレグロベラ <i>Bodianus loxozonus</i> | 2 | ヒメカザリハゼ <i>Istigobius goldmanni</i> | 1 |
| キツネダイ <i>Bodianus oxycephalus</i> | 2 | アカハチハゼ <i>Valenciennea strigata</i> | 4 |
| タキベラ <i>Bodianus perditio</i> | 1 | クロユリハゼ科 <i>Ptereleotridae</i> | |
| キツネベラ <i>Bodianus bilunulatus</i> | 3 | イトマンクロユリハゼ <i>Ptereleotris microlepis</i> | 27 |
| シマタレクチベラ <i>Hemigymnus fasciatus</i> | 2 | マンジュウダイ科 <i>Ephippidae</i> | |
| ホンソメワケベラ <i>Labroides dimidiatus</i> | 58 | ナンヨウツバメウオ <i>Platax orbicularis</i> | 4 |
| ヤンセンニシキベラ <i>Thalassoma janssenii</i> | 32 | ツバメウオ <i>Platax teira</i> | 5 |
| セナスジベラ <i>Thalassoma hardwicke</i> | 25 | クロホシマンジュウダイ科 <i>Scatophagidae</i> | |
| ヤマブキベラ <i>Thalassoma lutescens</i> | 31 | クロホシマンジュウダイ <i>Scatophagus argus</i> | 4 |
| オトメベラ <i>Thalassoma lunare</i> | 7 | アイゴ科 <i>Siganidae</i> | |
| ミツボシキウセン <i>Halichoeres trimaculatus</i> | 1 | ヒフキアイゴ <i>Siganus unimaculatus</i> | 28 |
| ムナテンベラ <i>Halichoeres melanochir</i> | 1 | ゴマアイゴ <i>Siganus guttatus</i> | 1 |
| カンムリベラ <i>Coris aygula</i> | 5 | ヒメアイゴ <i>Siganus virgatus</i> | 4 |
| ツユベラ <i>Coris gaimard</i> | 5 | ツノダシ科 <i>Zanclidae</i> | |
| シロタスキベラ <i>Hologymnosus doliatus</i> | 16 | ツノダシ <i>Zanclus cornutus</i> | 12 |
| メガネモチノウオ <i>Cheilinus undulatus</i> | 7 | ニザダイ科 <i>Acanthuridae</i> | |
| アカテンモチノウオ <i>Cheilinus chlorourus</i> | 1 | テングハギ <i>Naso unicornis</i> | 4 |
| ホホスジモチノウオ <i>Oxycheilinus digramma</i> | 7 | ヒメテングハギ <i>Naso annulatus</i> | 3 |
| ホシテンス <i>Iniistius pavo</i> | 3 | トサカハギ <i>Naso tonganus</i> | 1 |
| ヒノマルテンス <i>Iniistius twistii</i> | 7 | サザナミトサカハギ <i>Naso vlamingii</i> | 4 |
| ブダイ科 <i>Scaridae</i> | | ミヤコテングハギ <i>Naso lituratus</i> | 1 |
| タイワンブダイ <i>Calotomus carolinus</i> | 3 | テングハギモドキ <i>Naso hexacanthus</i> | 44 |
| カンムリブダイ <i>Bolbometopon muricatum</i> | 3 | ヒレナガハギ <i>Zebrasoma veliferum</i> | 4 |
| イロブダイ <i>Cetoscarus bicolor</i> | 5 | ゴマハギ <i>Zebrasoma scopas</i> | 18 |
| オビブダイ <i>Scarus schlegelii</i> | 6 | キイロハギ <i>Zebrasoma flavescens</i> | 3 |
| オウムブダイ <i>Scarus psittacus</i> | 3 | ナンヨウハギ <i>Paracanthurus hepatus</i> | 12 |
| ハゲブダイ <i>Chlorurus sordidus</i> | 2 | サザナミハギ <i>Ctenochaetus striatus</i> | 10 |
| ナンヨウブダイ <i>Chlorurus microrhinos</i> | 8 | シマハギ <i>Acanthurus triostegus</i> | 2 |
| ツキノワブダイ <i>Scarus festivus</i> | 1 | ヒラニザ <i>Acanthurus mata</i> | 1 |
| アミメブダイ <i>Scarus frenatus</i> | 1 | アカツキハギ <i>Acanthurus achilles</i> | 2 |

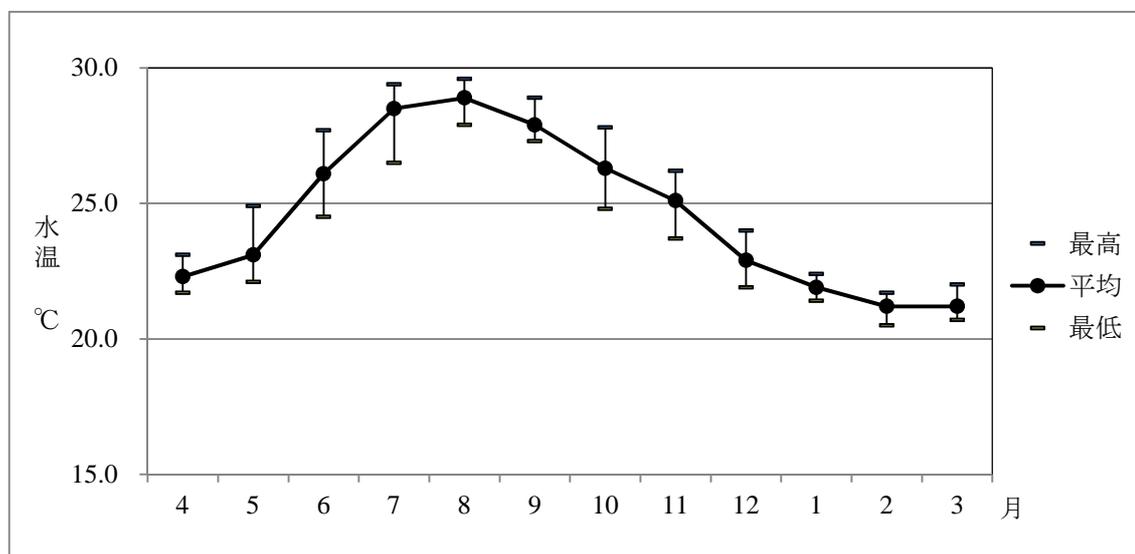
| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|---|-------|--|----|
| ナガニザ <i>Acanthurus nigrofuscus</i> | 25 | 有鱗目 Squamata | |
| ニジハギ <i>Acanthurus lineatus</i> | 4 | コブラ科 Elapidae | |
| モンツキハギ <i>Acanthurus olivaceus</i> | 21 | エラブウミヘビ <i>Laticauda semifasciata</i> | 3 |
| クロモンツキ <i>Acanthurus nigricauda</i> | 1 | 哺乳綱 Mammalia | |
| ニセカンランハギ <i>Acanthurus dussumieri</i> | 5 | 鯨目 Cetacea | |
| クロハギ <i>Acanthurus xanthopterus</i> | 1 | マイルカ科 Delphinidae | |
| カマス科 Sphyracidae | | マダライルカ <i>Stenella attenuata</i> | 2 |
| オオカマス <i>Sphyraena putnamae</i> | 1 | | |
| サバ科 Scombridae | | 苔虫動物門 Bryozoa | |
| グルクマ <i>Rastrelliger kanagurta</i> | 1,109 | 苔虫動物門の一種 Bryozoa sp. | 1 |
| ヒラソウダ <i>Auxis thazard thazard</i> | 1 | | |
| ニジョウサバ <i>Grammatorcynus bilineatus</i> | 3 | 軟体動物門 Mollusca | |
| イソマグロ <i>Gymnosarda unicolor</i> | 3 | 二枚貝綱 Bivalvia | |
| クロマグロ <i>Thunnus orientalis</i> | 12 | イタヤガイ目 Pectinoida | |
| キハダ <i>Thunnus albacares</i> | 85 | ウミギクガイ科 Spondylidae | |
| スマ <i>Euthynnus affinis</i> | 9 | ミズイリシヨウジョウ <i>Spondylus varius</i> | 1 |
| カツオ <i>Katsuwonus pelamis</i> | 42 | マルスダレガイ目 Veneroida | |
| ゴクラクギョ科 Belontiidae | | シャコガイ科 Tridacnidae | |
| タイワンキンギョ <i>Macropodus opercularis</i> | 20 | ヒメジヤコ <i>Tridacna crocea</i> | 20 |
| カレイ目 Pleuronectiformes | | ヒレジヤコ <i>Tridacna squamosa</i> | 1 |
| ダルマガレイ科 Bothidae | | シラナミ <i>Tridacna maxima</i> | 17 |
| トゲダルマガレイ <i>Bothus pantherinus</i> | 1 | シジミ科 Corbiculidae | |
| フグ目 Tetraodontiformes | | ヤエヤマヒルギシジミ <i>Geloina erosa</i> | 2 |
| モンガラカワハギ科 Balistidae | | リュウキュウヒルギシジミ <i>Geloina expansa</i> | 5 |
| アカモンガラ <i>Odonus niger</i> | 5 | 頭足綱 Cephalopoda | |
| クロモンガラ <i>Melichthys vidua</i> | 3 | ツツイカ目 Teuthoida | |
| ゴマモンガラ <i>Balistoides viridescens</i> | 1 | ヤリイカ科 Loliginidae | |
| クマドリ <i>Balistapus undulatus</i> | 2 | アオリイカ <i>Sepioteuthis lessoniana</i> | 1 |
| ムラサメモンガラ <i>Rhinecanthus aculeatus</i> | 1 | コウイカ目 Sepioida | |
| クラカケモンガラ <i>Rhinecanthus verrucosus</i> | 1 | コウイカ科 Sepiidae | |
| カワハギ科 Monacanthidae | | ハナイカ <i>Sepia (Metasepia) tullbergi</i> | 1 |
| テングカワハギ <i>Oxymonacanthus longirostris</i> | 22 | 腹足綱 Gastropoda | |
| フチドリカワハギ <i>Acreichthys tomentosus</i> | 1 | 古腹足目 Vetigastropoda | |
| ハコフグ科 Ostraciidae | | オキナエビス科 Pleurotomariidae | |
| コンゴウフグ <i>Lactoria cornuta</i> | 2 | テラマチオキナエビス | |
| ミナミハコフグ <i>Ostracion cubicus</i> | 5 | <i>Perotrochus africanus teramachii</i> | 1 |
| フグ科 Tetraodontidae | | ニシキウスガイ科 Trochidae | |
| シマキンチャクフグ <i>Canthigaster valentini</i> | 1 | サラサバテイ <i>Tectus niloticus</i> | 15 |
| サザナミフグ <i>Arothron hispidus</i> | 2 | サザエ科 Turbinidae | |
| ハリセンボン科 Diodontidae | | ヤコウガイ <i>Turbo (Turbo) marmoratus</i> | 1 |
| ハリセンボン <i>Diodon holocanthus</i> | 3 | 吸腔目 Sorbeoconcha | |
| ヒトヅラハリセンボン <i>Diodon liturosus</i> | 3 | フトヘナタリ科 Potamididae | |
| ネズミフグ <i>Diodon hystrix</i> | 1 | キバウミニナ <i>Telebralia palustris</i> | 40 |
| 両生綱 Amphibia | | ソデボラ科 Strombidae | |
| イモリ目 Caudata | | マガキガイ <i>Strombus (Conomurex) luhuanus</i> | 2 |
| イモリ科 Salamandridae | | クモガイ <i>Lambis lambis</i> | 2 |
| シリケンイモリ <i>Cynops ensicauda</i> | 4 | スイジガイ <i>Lambis (Harpago) chiragra</i> | 9 |
| カエル目 Anura | | クマサカガイ科 Xenophoridae | |
| アカガエル科 Ranirae | | ウスクマサカガイ <i>Xenophora tenuis</i> | 4 |
| ハナサキガエル <i>Rana narina</i> | 1 | セブチリメンクマサカガイ <i>Xenophora regularis</i> | 2 |
| アオガエル科 Rhacophoridae | | タカラガイ科 Cypraeidae | |
| オキナワアオガエル <i>Rhacophorus viridis viridis</i> | 4 | ホシダカラ <i>Cypraea tigris</i> | 1 |
| 竜弓綱 Sauropsida | | ハナビラダカラ <i>Erosaria annulus</i> | 10 |
| カメ目 Testudinata | | キイロダカラ <i>Cypraea moneta</i> | 4 |
| ヌマガメ科 Emydidae | | トウカムリ科 Cassidae | |
| ミシシッピーアカミミガメ <i>Trachemys scripta elegans</i> | 2 | トウカムリ <i>Cassia cornutus</i> | 3 |
| | | アッキガイ科 Muricidae | |
| | | オガサワラツブリ <i>Haustellum gallinago</i> | 16 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|--|----|---|----|
| ハッキガイ <i>Siratus pliciferoides</i> | 1 | アナエビ科 Axiidae | |
| イモガイ科 Conidae | | クミシヨウグンエビ <i>Enoplometopus chacei</i> | 1 |
| クロフモドキ <i>Conus (Lithoconus) leopardus</i> | 1 | イセエビ科 Palinuridae | |
| アンボイナ <i>Conus (Gastridium) geographus</i> | 1 | リョウマエビ <i>Justitia japonica</i> | 3 |
| タガヤサンミナシ <i>Conus textile</i> | 1 | カギテリョウマエビ <i>Justitia longimanus</i> | 1 |
| 後鰓目 Opisthobranchia | | オキナハコエビ <i>Linuparus sordidus</i> | 1 |
| チドリミドリガイ科 Plakobranchidae | | ハコエビ <i>Linuparus trigonus</i> | 1 |
| コノハミドリガイ <i>Elysia ornata</i> | 33 | ケブカイセエビ <i>Panulirus homarus homarus</i> | 1 |
| ハダカモウミウシ科 Limapontidae | | カノコイセエビ <i>Panulirus longipes</i> | 2 |
| タマミルウミウシ <i>Stiliger smaragdinus</i> | 6 | ニシキエビ <i>Panulirus ornatus</i> | 2 |
| ミカドウミウシ科 Hexabranchidae | | シマイセエビ <i>Panulirus penicillatus</i> | 1 |
| ミカドウミウシ <i>Hexabranchnus sanguineus</i> | 7 | ゴシキエビ <i>Panulirus versicolor</i> | 1 |
| イロウミウシ科 Chromodorididae | | ヨロンエビ <i>Palinurellus wieneckii</i> | 1 |
| ヒョウモンウミウシ <i>Chromodoris leopardus</i> | 1 | セミエビ科 Scyllaridae | |
| モンジャウミウシ <i>Glossodoris cincta</i> | 1 | ウチワエビ <i>Ibacus ciliatus</i> | 1 |
| メレンゲウミウシ <i>Ardeadoris egretta</i> | 8 | オオバウチワエビ <i>Ibacus novemdentatus</i> | 1 |
| イボウミウシ科 Phyllidiidae | | コブセミエビ <i>Scyllarides haani</i> | 1 |
| コイボウミウシ <i>Phyllidiella pustulosa</i> | 10 | セミエビ <i>Scyllarides squamosus</i> | 25 |
| ヨツスジミノウミウシ科 Facelinidae | | ツノガイヤドカリ科 Pomatochelidae | |
| ムカデミノウミウシ <i>Pteraeolidia ianthina</i> | 5 | ウキボリヤドカリ <i>Cancellocheles sculptipes</i> | 6 |
| 節足動物門 Arthropoda | | ヤドカリ科 Diogenidae | |
| 顎脚綱 Maxillopoda | | クロシマオニヤドカリ <i>Aniculus sibogae</i> | 1 |
| 有柄目 Pedunculata | | オオベニワモンヤドカリ <i>Ciliopagurus alcocki</i> | 8 |
| ミョウガガイ科 Scalpellidae | | トゲヒメヨコバサミ <i>Paguristes acanthomerus</i> | 2 |
| ミョウガガイ <i>Scalpellum stearnsi</i> | 5 | スナギンチャクヒメヨコバサミ <i>Paguristes albimaculata</i> | 2 |
| ハダカエボシ科 Heteralepadidae | | ユビナガワモンヤドカリ <i>Ciliopagurus krempfi</i> | 1 |
| ハダカエボシ <i>Heteralepas japonica</i> | 4 | ヤスリヤドカリ <i>Strigopagurus boreonotus</i> | 9 |
| 軟甲綱 Malacostraca | | オカヤドカリ科 Coenobitidae | |
| 口脚目 Stomatopoda | | ヤシガニ <i>Birgus latro</i> | 3 |
| ハナシヤコ科 Odontodactylidae | | オキヤドカリ科 Parapaguridae | |
| モンハナシヤコ <i>Odontodactylus scyllarus</i> | 2 | オキヤドカリ科の一種 Parapaguridae sp. | 3 |
| トラフシヤコ科 Lysiosquillidae | | ホンヤドカリ科 Paguridae | |
| トラフシヤコ <i>Lysiosquilla maculata</i> | 2 | ジンゴロウヤドカリ <i>Parapagurodes doederleini</i> | 1 |
| 等脚目 Isopoda | | ワラエビ科 Chirostylidae | |
| スナホリムシ科 Cirolanidae | | ミナミツノコシオリエビ <i>Eumunida pacifica</i> | 7 |
| オオグソクムシ <i>Bathynomus doederleini</i> | 80 | コシオリエビ科 Galatheididae | |
| 端脚目 Amphipoda | | オオコシオリエビ <i>Cervimunida princeps</i> | 6 |
| タルマワシ科 Phronimidae | | トウヨウコシオリエビ <i>Galathea orientalis</i> | 1 |
| オオタルマワシ <i>Phronima sedentaria</i> | 1 | コシオリエビ科の一種 Galatheididae sp. | 7 |
| 十脚目 Decapoda | | カイカムリ科 Dromiidae | |
| ドウケツエビ科 Spongecolidae | | オオカイカムリ <i>Dromia dormia</i> | 1 |
| ドウケツエビ <i>Spongiocola venusta</i> | 3 | ホモラ科 Homolidae | |
| オトヒメエビ科 Stenopodidae | | トウヨウホモラ <i>Homola orientalis</i> | 2 |
| オトヒメエビ <i>Stenopus hispidus</i> | 14 | オオホモラ <i>Paromola japonica</i> | 4 |
| サラサエビ科 Rhynchocinetidae | | アサヒガニ科 Raninidae | |
| ヤイトサラサエビ <i>Rhynchocinetes conspiciocellus</i> | 6 | ビワガニ <i>Lyreidus tridentatus</i> | 1 |
| スザクサラサエビ <i>Rhynchocinetes durbanensis</i> | 7 | カラッパ科 Calappidae | |
| オオサンゴサラサエビ <i>Cinetorhynchus striatus</i> | 3 | メガネカラッパ <i>Calappa philargius</i> | 2 |
| テナガエビ科 Palaemonidae | | ミツハキンセンモドキ <i>Mursia trispinosa</i> | 1 |
| フウライテナガエビ <i>Brachycarpus biunguiculatus</i> | 2 | コブシガニ科 Leucosiidae | |
| モエビ科 Hippolytidae | | ヤマトエバリア <i>Ebalia tuberculosa</i> | 3 |
| アカシマシラヒゲエビ <i>Lysmata amboinensis</i> | 30 | エバリア属の一種 <i>Ebalia</i> sp. | 2 |
| リュウグウモエビ <i>Parhyppolyte mistica</i> | 19 | シリケンコブシ <i>Randallia pustulosa</i> | 1 |
| アカザエビ科 Nephropidae | | ケモガニ科 Majidae | |
| サガミアアカザエビ <i>Metanephrops sagamiensis</i> | 7 | オーストンガニ <i>Cyrtomaia owstoni</i> | 1 |
| アカザエビ科の一種 Nephropidae sp. | 1 | タカアシガニ <i>Macrocheira kaempferi</i> | 4 |
| | | アシナガツノガニ <i>Phalangipus hystrix</i> | 1 |
| | | ハリツノガニ <i>Rochinia pulchra</i> | 2 |

| 和名 学名 | | 和名 学名 | |
|---------------------------------------|-----|---|-----|
| ヒシガニ科 Parthenopidae | | ヒメシオマネキ <i>Uca vocans</i> | 7 |
| メソコヒシガニ <i>Aethra scruposa</i> | 2 | イトアシガニ科 Palicidae | |
| ヒシガニ <i>Platylambrus validus</i> | 2 | アシブトイトアシガニ <i>Crossotonotus spinipes</i> | 7 |
| オオエンコウガニ科 Geryonidae | | 外顎綱 Ectognatha | |
| オオエンコウガニ <i>Chaceon granulatus</i> | 2 | カメムシ目 Hemiptera | |
| ワタリガニ科 Portunidae | | マツモムシ科 Notonectidae | |
| メナガガザミ <i>Podophthalmus vigil</i> | 2 | マツモムシ科の仲間 Notonectidae spp. | 100 |
| アカモンガニ科 Carpilidae | | コウチュウ目 Coleoptera | |
| アカモンガニ <i>Carpilius maculatus</i> | 1 | ゲンゴロウ科 Dytiscidae | |
| オウギガニ科 Xanthidae | | コガタノゲンゴロウ <i>Cybister tripunctatus orientalis</i> | 1 |
| ウロコオウギガニモドキ <i>Demania intermedia</i> | 1 | ウスイロシマゲンゴロウ <i>Hydaticus rhanoides</i> | 4 |
| マツバガニ <i>Hypothalassia armata</i> | 1 | | |
| イワガニ科 Grapsidae | | 植物界 Plantae | |
| モクズガニ <i>Eriocheir japonicus</i> | 3 | 維管束植物門 Tracheophyta | |
| スナガニ科 Ocypodidae | | 被子植物綱 Magnoliopsida | |
| ベニシオマネキ <i>Uca crassipes</i> | 59 | オモダカ目 Magnoliophyta | |
| ヤエヤマシオマネキ <i>Uca dussumieri</i> | 15 | トチカガミ科 Hydrocharitaceae | |
| オキナワハクセンシオマネキ <i>Uca perexa</i> | 137 | ウミシヨウブ <i>Enhalus acoroides</i> | 40 |

(2) 取水海水温 Annual water temperature

平成 25 年度



| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 最高 | 23.1 | 24.9 | 27.7 | 29.4 | 29.6 | 28.9 | 27.8 | 26.2 | 24.0 | 22.4 | 21.7 | 22.0 |
| 平均 | 22.3 | 23.1 | 26.1 | 28.5 | 28.9 | 27.9 | 26.3 | 25.1 | 22.9 | 21.9 | 21.2 | 21.2 |
| 最低 | 21.7 | 22.1 | 24.5 | 26.5 | 27.9 | 27.3 | 24.8 | 23.7 | 21.9 | 21.4 | 20.5 | 20.7 |

年平均 水温 : 24.7°C pH : 8.2 比重 : 26.53

(3) 水槽規格 Tank dimension

水族館

補給水：取水濾過海水 換水率：回/日

| 水槽 | 水槽寸法(m) | | | 水量(m ³) | | | 補給水 | | 濾過循環 | | 総換水 | |
|-----------|---------|------|-----------|---------------------|----|-------|-------------------|------|-------------------|-----|-------------------|------|
| | 幅 | 奥行 | 水深 | 水量 | 数 | 総水量 | m ³ /時 | 換水率 | m ³ /時 | 換水率 | m ³ /時 | 換水率 |
| サンゴ礁への旅 | | | | | | | | | | | | |
| タッチプール | 10 | 3.3 | 0.3 | 9.5 | 1 | 9.5 | 9.5 | 24 | | | 9.5 | 24 |
| サンゴの海 | 7.5 | 15 | 3 - 3.5 | 300 | 1 | 300 | 300 | 24 | | | 300 | 24 |
| 熱帯魚の海 | 10.5 | 16.5 | 2.5 - 6.6 | 700 | 1 | 700 | 300 | 10.2 | 350 | 12 | 650 | 22.2 |
| 個水槽 | 1.7 | 1.5 | 2.9 | 6.6 | 1 | 6.6 | 6.6 | 24 | | | 6.6 | 24 |
| 〃 | 5.5 | 2.8 | 1.9 | 35.6 | 1 | 35.6 | 0 | 0 | 35.6 | 24 | 35.6 | 24 |
| 〃 | 1.5 | 1.2 | 1.9 | 3.2 | 4 | 12.8 | 3.2 | 24 | | | 3.2 | 24 |
| 〃 | 1.4 | 1.5 | 1.9 | 3.9 | 6 | 23.4 | 3.9 | 24 | | | 3.9 | 24 |
| 〃 | 0.5 | 0.4 | 0.6 | 0.1 | 18 | 1.8 | 0.3 | 24 | | | 0.1 | 24 |
| サンゴの部屋 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.2 | 7 | 1.4 | 0.2 | 24 | | | 0.2 | 24 |
| 水辺の生き物 | 0.6 | 0.6 | 0.8 | 0.3 | 5 | 1.5 | 0.3 | 24 | | | 0.3 | 24 |
| 〃 | 0.6 | 0.9 | 0.2 | 0.1 | 3 | 0.3 | 0.1 | 24 | | | 0.1 | 24 |
| 〃 | 0.8 | 0.9 | 0.7 | 0.5 | 1 | 0.5 | 0.5 | 24 | | | 0.5 | 24 |
| 〃 | 1 | 0.9 | 1.1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 24 | | | 1 | 24 |
| 〃 | 1.6/1.1 | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 1 | 0.8 | 0.8 | 24 | | | 0.8 | 24 |
| 黒潮への旅 | | | | | | | | | | | | |
| 黒潮の海 | 35 | 27 | 10 | 7,500 | 1 | 7,500 | 1,250 | 4 | 3,750 | 12 | 5,000 | 16 |
| 危険ザメの海 | 15 | 15 | 4.2 | 800 | 1 | 800 | 130 | 4 | 400 | 12 | 530 | 16 |
| 深海への旅 | | | | | | | | | | | | |
| 個水槽 | 4.4 | 2.1 | 2.6 | 24 | 1 | 24 | 4 | 4 | 24 | 24 | 28 | 28 |
| 〃 | 1.3 | 1.4 | 1.9 | 3.4 | 4 | 13.6 | 2.3 | 4 | 13.52 | 24 | 16 | 28 |
| 〃 | 0.5 | 0.4 | 0.6 | 0.1 | 15 | 1.5 | 0.4 | 4 | 4.58 | 50 | 5 | 54 |
| 深層の海 | 10.3 | 8 | 3.6 | 230 | 1 | 230 | 38 | 4 | 300 | 24 | 338 | 28 |
| 海のプラネタリウム | 1.5 | 1.3 | 1.3 | 2.4 | 3 | 7.2 | 1.2 | 4 | 7.2 | 24 | 8 | 28 |
| 合計 | | | | | 77 | 9,672 | 2,052 | | | | | |

蓄養棟

予備槽スペース:約 400m² 補給水：取水未濾過海水 換水率：回/日

| 水槽 | 形状 | 水槽寸法(m) | | | 水量(m ³) | | | 補給水 | | 総換水 | |
|-------------|----|---------|----|-----|---------------------|---|-----|-------------------|-----|-------------------|-----|
| | | 幅 | 奥行 | 水深 | 水量 | 数 | 総水量 | m ³ /時 | 換水率 | m ³ /時 | 換水率 |
| 1F コンクリート水槽 | 方形 | 11 | 9 | 2.5 | 250 | 1 | 250 | 120 | 12 | 120 | 12 |
| | 円形 | 10 | | 3 | 240 | 1 | 240 | 120 | 12 | 120 | 12 |
| | 方形 | 5 | 5 | 1 | 25 | 3 | 75 | 25 | 24 | 25 | 24 |
| 2FFRP 水槽 | 方形 | 6 | 5 | 1 | 54 | 2 | 108 | 60 | 24 | 60 | 24 |
| | 方形 | 5 | 3 | 1.5 | 21 | 6 | 126 | 21 | 24 | 21 | 24 |
| | 方形 | 5 | 2 | 1 | 9 | 6 | 54 | 9 | 24 | 9 | 24 |

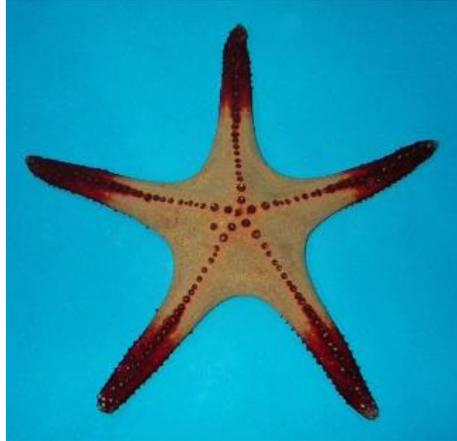
生け簀

| 網 | 形状 | 水量(m ³) | 長径(m) | 短径(m) | 水深(m) | 数 |
|---------|----|---------------------|-------|-------|-------|---|
| K-1 | 方形 | 9,000 | 20 | 30 | 15 | 1 |
| K-2 | 方形 | 2,475 | 15 | 22 | 7.5 | 1 |
| K-3 | 方形 | 4,950 | 15 | 22 | 15 | 1 |
| M-1 - 4 | 円形 | 1,325 | 15 | 15 | 7.5 | 4 |

総水量：21,725m³ 囲い網：106×38×20m

主な水槽の亚克力パネル

| 水槽 | 幅(m) | 高さ(m) | 厚さ(cm) |
|-----------------|--------|-------|--------|
| サンゴの海 曲面 | 18.136 | 2.95 | 18 |
| 熱帯魚の海 曲面 | 7.105 | 3.49 | 18 |
| 平面 | 6.5 | 3.45 | 18 |
| 黒潮の海 正面 | 22.5 | 8.2 | 60 |
| カフェ側 | 2.6 | 7.4 | 20 |
| アクアルーム 曲面 | 7.45 | 10.6 | 38 |
| コーナー | 3.3 | 2.87 | 10 |
| 美ら海シアター | 6.4 | 3.45 | 20 |
| 水上観覧デッキ (強化ガラス) | 3.75 | 3.75 | 3 |
| 危険ザメの海 | 4.3 | 3 | 15 |
| 深層の海 | 10.15 | 3.15 | 16 |



沖繩美ら海水族館
Okinawa Churaumi Aquarium



一般財団法人
沖繩美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation